

『愛媛県史 資料編 幕末維新』(愛媛県 1987.2)所収の資料の検索の便を図るための資料目録である。

掲載ページ、章節、資料番号、資料名、出典、所蔵者、年、月日、西暦、資料概観の項目を設けた。

資料番号については、同一番号内に複数の資料掲載があるものは、書籍に番号記入がなくても、掲載順に1,2,3の番号を振った。

出典、所蔵者の項目には、書籍の凡例にあるとおり、「基本史料のうち現文書の所蔵が確認できなかったり、文書所蔵者の都合で閲覧できなかった場合は、刊本より再録し引用書名を表示した。」ものがある。

年月日の項目には、複数の日付がある場合、最初のを記入した。

資料概観の項目には、冒頭解説中の資料概観の記述を記入しているが、複数の資料に及ぶ解説や資料名とほぼ同じ記述は省略した。

資料概観の解説中の資料番号に明らかな誤りがあったものは、訂正して記入している。

P	章	節	資料番号	出典	所蔵者	年	月	日	西暦	資料概観	
1	1	1	1	松平定毅、外交政策につき、幕府へ答申	「邊壘彙議」5	東京大学史料編纂所	嘉永6	7.18	1853		
1	1	2	2	藩主松平定毅(勝善)・若殿定成(勝成)、改名	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	嘉永6	11.23	1853	藩主松平定毅が勝善・養嗣子松平定成が勝成と改名した旨の布達	
2	1	3	3	米使ペリー一再来のため武蔵国大森付近の警固を拝命			嘉永7	1.13	1854	米使ペリーが再び来航して、江戸湾に滞船した時、幕命によって武蔵国大森付近、次いで神奈川地域の警備に当たった。	
2	1	4	4	松山城天守閣落成			嘉永7	2.8	1854	かねてから再建計画が進んでいた松山城本壇の城櫓が完成し、嘉永七年二月八日に落成の式典が催された。	
2	1	5	5	京都御所造営御用拝命			安政2	12.29	1855		
2	1	6	6	幕末松山藩役録(年代不詳—安政2年6月以降—)	「松山御役録幕末」	伊予史談会	安政2	6	1855		
4	1	7	7	松山藩へ武蔵国神奈川辺の警衛指令			安政4	4.28	1857	米使ペリーが再び来航して、江戸湾に滞船した時、幕命によって武蔵国大森付近、次いで神奈川地域の警備に当たった。	
4	1	8	8	西洋流砲隊訓練場設置			安政5	5.1	1858	藩では松山に西洋流砲術の訓練場を設置した。	
5	1	9	9	神奈川辺警衛の場所指令	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	安政5	2.26	1858	松山藩は、神奈川地域警備の内命を受けた。米使ペリーが再び来航して、江戸湾に滞船した時、幕命によって武蔵国大森付近、次いで神奈川地域の警備に当たった。	
5	1	10	10	異国船接近につき警戒	「藤井此蔵一生記」	上浦町 藤井宗子氏	安政6	4	1859	外国船が風早沖に、さらに三津浜に姿を現したので、庶民に動揺しないよう注意を喚起した。	
6	1	11	11	藩財政逼迫につき町郷へ出銀・出米令	「御触状控帳」	伊予史談会	安政6	12.27	1859		
7	1	12	12	江戸城本丸普請につき一両上納令			安政6	12.28	1859		
7	1	13	1	藩主松平勝成、神奈川台場築造の功につき昇進 勝成、少将昇進	「昭徳院殿御実紀」	続徳川実紀所収	万延元	10.9	1860		
7	1	13	2	藩主松平勝成、神奈川台場築造の功につき昇進 勝成、四品格・溜詰に昇進			「松山叢談14上」所収	万延元	10.9	1860	
8	1	13	3	藩主松平勝成、神奈川台場築造の功につき昇進 勝成家来へ銭札拝領			「松山叢談14上」所収	万延元	10.29	1860	
8	1	14	14	異国船、三津浜に来航、見物禁止	「御触状控帳」	伊予史談会	文久元	7.23	1861	外国船が風早沖に、さらに三津浜に姿を現したので、庶民に動揺しないよう注意を喚起した。	
9	1	15	15	桑村郷足軽、砲術稽古に召集	「郷足軽被仰出紀録」	東予市中央公民館	文久2	4.17	1862		
10	1	16	16	非常時につき倭約令を布達	「松山御触書」	伊予史談会	文久2	6.20	1862	幕末の動揺期における非常時に対処するものとして注目される倭約令が、文久二年に布達されている。	
13	1	17	17	参勤交代の制改定	「昭徳院殿御実紀」	続徳川実紀所収	文久2	閏8.22	1862		
14	1	18	18	領内庄屋に砲術修行を指令	「湯之山村賭博用記」	愛媛県編年史所収	文久3	1.16	1863	文久三年に入ると、庄屋に対し砲術を修業すべきことを令した。	
14	1	19	19	松山の町人に湯山村で硝石採取許可	「湯山村公用書2」	伊予史談会	文久3	2.4	1863		
15	1	20	20	大砲鑄造につき鋼鉄供出布告	「湯山村公用書2」	伊予史談会	文久3	2.12	1863	大砲を鑄造するために、鋼・鉄類の供出を命じた。	
15	1	21	21	硝石・合葉の他所売禁止	「湯山村公用書2」	伊予史談会	文久3	2.13	1863		
15	1	22	22	鎌・鋸・きせるなど古金買上げ指令	「湯山村公用書2」	伊予史談会	文久3	2.23	1863	鎌・鋸・煙管等の古金属の買上げを奨励した。	
15	1	23	23	今治沖に異国船碇泊につき、松山領島々警戒	「藤井此蔵一生記」	上浦町 藤井宗子氏	文久3	2	1863		
16	1	24	24	攘夷国策により防衛勤励を指令	「松山叢談14上」所収	伊予史談会	文久3	5.27	1863	国策に沿い海辺の防備に精励するよう指令した。	
16	1	25	25	非常に備え領内より臨時人夫徴発	「湯山村公用書2」	伊予史談会	文久3	8.10	1863		
16	1	26	26	松山城下入口に関門・柵門設営	「湯山村公用書2」	伊予史談会	文久3	9.23	1863	治安維持のために城下の入口に関門を設け、警備を厳重にした。	
17	1	27	27	松平勝成、京都警衛を拝命	「松山叢談14上」所収	伊予史談会	文久4	2.19	1864	京都三条通の警備にも就いた。	
17	1	28	28	松山城下入口の関門・柵門閉鎖	「湯山村公用書2」	伊予史談会	元治元	4.14	1864	治安維持のために城下の入口に関門を設け、警備を厳重にした。	
18	1	29	29	京都三条通辺警固を拝命	「松山叢談14上」所収	伊予史談会	元治元	6.27	1864	京都三条通の警備にも就いた。	
18	1	30	30	領内治安の厳重取締り指令	「湯山村公用書2」	伊予史談会	元治元	7.23	1864	治安維持のために城下の入口に関門を設け、警備を厳重にした。	
19	1	31	31	長州征伐につき、領内の百姓町人より米・金・銭札を調達	「湯山村公用書2」	伊予史談会	元治元	9.2	1864	第一次長州征伐のために農民・町人へ米穀・金銭の調達を布達	
20	1	32	1	第一次長州征伐 出兵指令	「松山叢談14上」所収	伊予史談会	元治元	7.24	1864	長州藩主毛利敬親父子が伏罪したので、征伐の中止ならびに兵卒の帰還を指示した。	
20	1	32	2	第一次長州征伐 城下より大三島へ防長追討書到来	「藤井此蔵一生記」	上浦町 藤井宗子氏	元治元	8.11	1864	長州藩主毛利敬親父子が伏罪したので、征伐の中止ならびに兵卒の帰還を指示した。	
21	1	32	3	第一次長州征伐 長防追討軍議により進発命	「松山叢談14上」所収	伊予史談会	元治元	10	1864	長州藩主毛利敬親父子が伏罪したので、征伐の中止ならびに兵卒の帰還を指示した。	
21	1	32	4	第一次長州征伐 長州征伐に出陣	「松山叢談14上」所収	伊予史談会	元治元	11.11	1864	長州藩主毛利敬親父子が伏罪したので、征伐の中止ならびに兵卒の帰還を指示した。	
21	1	32	5	第一次長州征伐 大三島の郷足軽・水主ら長州へ出征	「藤井此蔵一生記」	上浦町 藤井宗子氏	元治元	10	1864	長州藩主毛利敬親父子が伏罪したので、征伐の中止ならびに兵卒の帰還を指示した。	
22	1	32	6	第一次長州征伐 毛利敬親父子伏罪につき、一時中止指令	「松山叢談14上」所収	伊予史談会	元治元	11.14	1864	長州藩主毛利敬親父子が伏罪したので、征伐の中止ならびに兵卒の帰還を指示した。	
23	1	32	7	第一次長州征伐 帰陣指令	「松山叢談14上」所収	伊予史談会	元治元	12.28	1864	長州藩主毛利敬親父子が伏罪したので、征伐の中止ならびに兵卒の帰還を指示した。	
23	1	33	33	将軍上洛につき松平定昭、供奉拝命	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応元	9.20	1865	第二次長州征伐に当たって、将軍徳川家茂が上洛するため、藩主松平勝成の子定昭は供奉を命じられた。	
23	1	34	1	第二次長州征伐 長防進発命			「松山叢談14上」所収	慶応元	4.25	1865	藩兵が周防大島へ出征して敗戦に終わるまでの緊迫した様子。第二次長州征伐の勃発により、松山藩兵に対する進発命、藩内郷村の警備、四国勢を指揮するため若年寄寄極高富の松山来宿、周防国大島における長州藩との戦闘、松山藩敗北による長州藩逆襲に対する防備について、多数の指令が出された。
23	1	34	2	第二次長州征伐 松平定昭進発、新足軽へも出動命令	「軍用記」	大西町 井手温良氏	慶応元	5.5	1865	藩兵が周防大島へ出征して敗戦に終わるまでの緊迫した様子。第二次長州征伐の勃発により、松山藩兵に対する進発命、藩内郷村の警備、四国勢を指揮するため若年寄寄極高富の松山来宿、周防国大島における長州藩との戦闘、松山藩敗北による長州藩逆襲に対する防備について、多数の指令が出された。	
24	1	34	3	第二次長州征伐 非常時につき松山藩籍の船徴用布達	「軍用記」	大西町 井手温良氏	慶応元	5.10	1865	藩兵が周防大島へ出征して敗戦に終わるまでの緊迫した様子。第二次長州征伐の勃発により、松山藩兵に対する進発命、藩内郷村の警備、四国勢を指揮するため若年寄寄極高富の松山来宿、周防国大島における長州藩との戦闘、松山藩敗北による長州藩逆襲に対する防備について、多数の指令が出された。	

P	章	節	資料番号			出典	所蔵者	年	月	日	西暦	資料概観	
24	1	松山藩	1	34	4	第二次長州征伐 出陣の郷夫へ支度料など通達	「軍用記」	大西町 井手温良氏	慶応元	5.10	1865	藩兵が周防大島へ出征して敗戦に終わるまでの緊迫した様子。第二次長州征伐の勃発により、松山藩兵に対する進発令、藩内郷村の警備、四国勢を指揮するため若年寄京極高富の松山来宿、周防国大島における長州藩との戦闘、松山藩敗北による長州藩逆襲に対する防備について、多数の指令が出された。	
25	1	松山藩	1	34	5	第二次長州征伐 毛利大膳父子裁許につき、久松静馬報告	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応2	4.7	1866	藩兵が周防大島へ出征して敗戦に終わるまでの緊迫した様子。第二次長州征伐の勃発により、松山藩兵に対する進発令、藩内郷村の警備、四国勢を指揮するため若年寄京極高富の松山来宿、周防国大島における長州藩との戦闘、松山藩敗北による長州藩逆襲に対する防備について、多数の指令が出された。	
25	1	松山藩	1	34	6	1	第二次長州征伐 長州脱走者・浪士の立入り監視を村々に指令	「軍用記」	大西町 井手温良氏	慶応2	4.29	1866	藩兵が周防大島へ出征して敗戦に終わるまでの緊迫した様子。第二次長州征伐の勃発により、松山藩兵に対する進発令、藩内郷村の警備、四国勢を指揮するため若年寄京極高富の松山来宿、周防国大島における長州藩との戦闘、松山藩敗北による長州藩逆襲に対する防備について、多数の指令が出された。
26	1	松山藩	1	34	6	2	第二次長州征伐 長州脱走者・浪士の立入り監視を村々に指令	「湯山村公用書3」	伊予史談会	慶応2	4.29	1866	藩兵が周防大島へ出征して敗戦に終わるまでの緊迫した様子。第二次長州征伐の勃発により、松山藩兵に対する進発令、藩内郷村の警備、四国勢を指揮するため若年寄京極高富の松山来宿、周防国大島における長州藩との戦闘、松山藩敗北による長州藩逆襲に対する防備について、多数の指令が出された。
26	1	松山藩	1	34	6	3	第二次長州征伐 長州脱走者・浪士の立入り監視を村々に指令	「軍用記」	大西町 井手温良氏	慶応2	4.29	1866	藩兵が周防大島へ出征して敗戦に終わるまでの緊迫した様子。第二次長州征伐の勃発により、松山藩兵に対する進発令、藩内郷村の警備、四国勢を指揮するため若年寄京極高富の松山来宿、周防国大島における長州藩との戦闘、松山藩敗北による長州藩逆襲に対する防備について、多数の指令が出された。
27	1	松山藩	1	34	7	第二次長州征伐 幕府、毛利大膳父子の処分を伝達		「松山叢談14上」所収	慶応2	5.5	1866	藩兵が周防大島へ出征して敗戦に終わるまでの緊迫した様子。第二次長州征伐の勃発により、松山藩兵に対する進発令、藩内郷村の警備、四国勢を指揮するため若年寄京極高富の松山来宿、周防国大島における長州藩との戦闘、松山藩敗北による長州藩逆襲に対する防備について、多数の指令が出された。	
27	1	松山藩	1	34	8	第二次長州征伐 雇船割当て指令につき聞き取り実施	「軍用記」	大西町 井手温良氏	慶応2	5.20	1866	藩兵が周防大島へ出征して敗戦に終わるまでの緊迫した様子。第二次長州征伐の勃発により、松山藩兵に対する進発令、藩内郷村の警備、四国勢を指揮するため若年寄京極高富の松山来宿、周防国大島における長州藩との戦闘、松山藩敗北による長州藩逆襲に対する防備について、多数の指令が出された。	
27	1	松山藩	1	34	9	第二次長州征伐 一の手備渡郷夫の野間郡割当て人数を指令	「軍用記」	大西町 井手温良氏	慶応2	5.21	1866	藩兵が周防大島へ出征して敗戦に終わるまでの緊迫した様子。第二次長州征伐の勃発により、松山藩兵に対する進発令、藩内郷村の警備、四国勢を指揮するため若年寄京極高富の松山来宿、周防国大島における長州藩との戦闘、松山藩敗北による長州藩逆襲に対する防備について、多数の指令が出された。	
28	1	松山藩	1	34	10	第二次長州征伐 徳島藩兵、野間郡波止町宿陣につき諸藩方下検分	「軍用記」	大西町 井手温良氏	慶応2	5.22	1866	藩兵が周防大島へ出征して敗戦に終わるまでの緊迫した様子。第二次長州征伐の勃発により、松山藩兵に対する進発令、藩内郷村の警備、四国勢を指揮するため若年寄京極高富の松山来宿、周防国大島における長州藩との戦闘、松山藩敗北による長州藩逆襲に対する防備について、多数の指令が出された。	
30	1	松山藩	1	34	11	第二次長州征伐 征長使用の徴用船、三津廻漕を通達	「軍用記」	大西町 井手温良氏	慶応2	5.25	1866	藩兵が周防大島へ出征して敗戦に終わるまでの緊迫した様子。第二次長州征伐の勃発により、松山藩兵に対する進発令、藩内郷村の警備、四国勢を指揮するため若年寄京極高富の松山来宿、周防国大島における長州藩との戦闘、松山藩敗北による長州藩逆襲に対する防備について、多数の指令が出された。	
30	1	松山藩	1	34	12	第二次長州征伐 兵糧米揚方を指令	「軍用記」	大西町 井手温良氏	慶応2	5.25	1866	藩兵が周防大島へ出征して敗戦に終わるまでの緊迫した様子。第二次長州征伐の勃発により、松山藩兵に対する進発令、藩内郷村の警備、四国勢を指揮するため若年寄京極高富の松山来宿、周防国大島における長州藩との戦闘、松山藩敗北による長州藩逆襲に対する防備について、多数の指令が出された。	
31	1	松山藩	1	34	13	第二次長州征伐 長州征伐出陣指令	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応2	5.27	1866	藩兵が周防大島へ出征して敗戦に終わるまでの緊迫した様子。第二次長州征伐の勃発により、松山藩兵に対する進発令、藩内郷村の警備、四国勢を指揮するため若年寄京極高富の松山来宿、周防国大島における長州藩との戦闘、松山藩敗北による長州藩逆襲に対する防備について、多数の指令が出された。	
32	1	松山藩	1	34	14	第二次長州征伐 徴用船の徴用逃れ防止につき通達	「軍用記」	大西町 井手温良氏	慶応2	6.1	1866	藩兵が周防大島へ出征して敗戦に終わるまでの緊迫した様子。第二次長州征伐の勃発により、松山藩兵に対する進発令、藩内郷村の警備、四国勢を指揮するため若年寄京極高富の松山来宿、周防国大島における長州藩との戦闘、松山藩敗北による長州藩逆襲に対する防備について、多数の指令が出された。	
32	1	松山藩	1	34	15	第二次長州征伐 軍勢出征のため郡村に警備を指令	「湯山村公用書3」	伊予史談会	慶応2	6.5	1866	藩兵が周防大島へ出征して敗戦に終わるまでの緊迫した様子。第二次長州征伐の勃発により、松山藩兵に対する進発令、藩内郷村の警備、四国勢を指揮するため若年寄京極高富の松山来宿、周防国大島における長州藩との戦闘、松山藩敗北による長州藩逆襲に対する防備について、多数の指令が出された。	
32	1	松山藩	1	34	16	第二次長州征伐 若年寄京極高富、四国勢指揮のため大林寺に來宿		「松山叢談14上」所収	慶応2	6.6	1866	藩兵が周防大島へ出征して敗戦に終わるまでの緊迫した様子。第二次長州征伐の勃発により、松山藩兵に対する進発令、藩内郷村の警備、四国勢を指揮するため若年寄京極高富の松山来宿、周防国大島における長州藩との戦闘、松山藩敗北による長州藩逆襲に対する防備について、多数の指令が出された。	
32	1	松山藩	1	34	17	第二次長州征伐 征長参戦の水主記録	「藤井此蔵一生記」	上浦町 藤井宗子氏	慶応2	5	1866	藩兵が周防大島へ出征して敗戦に終わるまでの緊迫した様子。第二次長州征伐の勃発により、松山藩兵に対する進発令、藩内郷村の警備、四国勢を指揮するため若年寄京極高富の松山来宿、周防国大島における長州藩との戦闘、松山藩敗北による長州藩逆襲に対する防備について、多数の指令が出された。	
34	1	松山藩	1	34	18	第二次長州征伐 藩兵、周防大島へ上陸	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応2	6.8	1866	藩兵が周防大島へ出征して敗戦に終わるまでの緊迫した様子。第二次長州征伐の勃発により、松山藩兵に対する進発令、藩内郷村の警備、四国勢を指揮するため若年寄京極高富の松山来宿、周防国大島における長州藩との戦闘、松山藩敗北による長州藩逆襲に対する防備について、多数の指令が出された。	
34	1	松山藩	1	34	19	第二次長州征伐 周防大島で防長軍と戦闘		「松山叢談14上」所収	慶応2	6.8	1866	藩兵が周防大島へ出征して敗戦に終わるまでの緊迫した様子。第二次長州征伐の勃発により、松山藩兵に対する進発令、藩内郷村の警備、四国勢を指揮するため若年寄京極高富の松山来宿、周防国大島における長州藩との戦闘、松山藩敗北による長州藩逆襲に対する防備について、多数の指令が出された。	

P	章	節	資料番号	出典	所蔵者	年	月	日	西暦	資料概観
35	1	松山藩	1 34 20	第二次長州征伐 従軍郷夫の逃亡取締り布告	「湯山村公用書3」	伊予史談会	慶応2	6.10	1866	藩兵が周防大島へ出征して敗戦に終わるまでの緊迫した様子。第二次長州征伐の勃発により、松山藩兵に対する進発令、藩内郷村の警備、四国勢を指揮するため若年寄京極高富の松山来宿、周防国大島における長州藩との戦闘、松山藩敗北による長州藩逆襲に対する防備について、多数の指令が出された。
36	1	松山藩	1 34 21	第二次長州征伐 藩内軍事体制・非常時の手配	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応2	7.1	1866	藩兵が周防大島へ出征して敗戦に終わるまでの緊迫した様子。第二次長州征伐の勃発により、松山藩兵に対する進発令、藩内郷村の警備、四国勢を指揮するため若年寄京極高富の松山来宿、周防国大島における長州藩との戦闘、松山藩敗北による長州藩逆襲に対する防備について、多数の指令が出された。
36	1	松山藩	1 34 22	第二次長州征伐 藩兵、上ノ関口討入りの指令	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応2	7.4	1866	藩兵が周防大島へ出征して敗戦に終わるまでの緊迫した様子。第二次長州征伐の勃発により、松山藩兵に対する進発令、藩内郷村の警備、四国勢を指揮するため若年寄京極高富の松山来宿、周防国大島における長州藩との戦闘、松山藩敗北による長州藩逆襲に対する防備について、多数の指令が出された。
37	1	松山藩	1 34 23	第二次長州征伐 防長兵の侵入に備え配陣	「松山叢談14上」所収		慶応2	7.15	1866	藩兵が周防大島へ出征して敗戦に終わるまでの緊迫した様子。第二次長州征伐の勃発により、松山藩兵に対する進発令、藩内郷村の警備、四国勢を指揮するため若年寄京極高富の松山来宿、周防国大島における長州藩との戦闘、松山藩敗北による長州藩逆襲に対する防備について、多数の指令が出された。
37	1	松山藩	1 34 24	第二次長州征伐 世子松平定昭、温泉郡沢村に移陣	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応2	7.18	1866	藩兵が周防大島へ出征して敗戦に終わるまでの緊迫した様子。第二次長州征伐の勃発により、松山藩兵に対する進発令、藩内郷村の警備、四国勢を指揮するため若年寄京極高富の松山来宿、周防国大島における長州藩との戦闘、松山藩敗北による長州藩逆襲に対する防備について、多数の指令が出された。
37	1	松山藩	1 34 25	第二次長州征伐 徳島藩出陣延期につき先乗人馬引揚げ	「軍用記」	大西町 井手温良氏	慶応2	7.19	1866	藩兵が周防大島へ出征して敗戦に終わるまでの緊迫した様子。第二次長州征伐の勃発により、松山藩兵に対する進発令、藩内郷村の警備、四国勢を指揮するため若年寄京極高富の松山来宿、周防国大島における長州藩との戦闘、松山藩敗北による長州藩逆襲に対する防備について、多数の指令が出された。
37	1	松山藩	1 34 26	第二次長州征伐 松山近辺海岸より城下への非常時連絡方法を指令	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応2	7.20	1866	藩兵が周防大島へ出征して敗戦に終わるまでの緊迫した様子。第二次長州征伐の勃発により、松山藩兵に対する進発令、藩内郷村の警備、四国勢を指揮するため若年寄京極高富の松山来宿、周防国大島における長州藩との戦闘、松山藩敗北による長州藩逆襲に対する防備について、多数の指令が出された。
39	1	松山藩	1 34 27	第二次長州征伐 周防大島庄屋中より松山領島々庄屋へ書状到来	「藤井此蔵一生記」	上浦町 藤井宗子氏	慶応2	7.20	1866	藩兵が周防大島へ出征して敗戦に終わるまでの緊迫した様子。將軍徳川家茂の逝去による停戦、および藩兵の引き揚げ等についての指示がなされた。
39	1	松山藩	1 34 28	第二次長州征伐 征長失敗の浮説に動揺せぬよう諭告	「湯山村公用書3」	伊予史談会	慶応2	8.3	1866	藩兵が周防大島へ出征して敗戦に終わるまでの緊迫した様子。將軍徳川家茂の逝去による停戦、および藩兵の引き揚げ等についての指示がなされた。
40	1	松山藩	1 34 29	第二次長州征伐 征長奮戦・滞陣につき幕府より謝意	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応2	9.1	1866	藩兵が周防大島へ出征して敗戦に終わるまでの緊迫した様子。將軍徳川家茂の逝去による停戦、および藩兵の引き揚げ等についての指示がなされた。
40	1	松山藩	1 34 30	第二次長州征伐 徳川家茂死去につき停戦	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応2	9.1	1866	藩兵が周防大島へ出征して敗戦に終わるまでの緊迫した様子。將軍徳川家茂の逝去による停戦、および藩兵の引き揚げ等についての指示がなされた。
41	1	松山藩	1 34 31	第二次長州征伐 征長軍、引揚げを開始	「松山叢談14上」所収		慶応2	9.4	1866	藩兵が周防大島へ出征して敗戦に終わるまでの緊迫した様子。將軍徳川家茂の逝去による停戦、および藩兵の引き揚げ等についての指示がなされた。
41	1	松山藩	1 34 32	第二次長州征伐 引揚げ時の藩兵服制など指示	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応2	9.8	1866	藩兵が周防大島へ出征して敗戦に終わるまでの緊迫した様子。將軍徳川家茂の逝去による停戦、および藩兵の引き揚げ等についての指示がなされた。
41	1	松山藩	1 34 33	第二次長州征伐 戦闘休止、藩主へ上坂指令	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応2	9.10	1866	藩兵が周防大島へ出征して敗戦に終わるまでの緊迫した様子。將軍徳川家茂の逝去による停戦、および藩兵の引き揚げ等についての指示がなされた。
42	1	松山藩	1 34 34	第二次長州征伐 京極高富、松山逗留につき注意	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応2	9.28	1866	藩兵が周防大島へ出征して敗戦に終わるまでの緊迫した様子。將軍徳川家茂の逝去による停戦、および藩兵の引き揚げ等についての指示がなされた。
42	1	松山藩	1 35	神奈川表警衛免除	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応2	7.1	1866	
42	1	松山藩	1 36	和氣・伊予・久米各郡の大砲試発通達	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応2	8.24	1866	藩兵が周防大島へ出征して敗戦に終わるまでの緊迫した様子。藩内では、和氣・伊予・久米の各郡における大砲の発射実験、さらに三津浜における砲台の試発が実施された。
43	1	松山藩	1 37	三津砲台試発通達	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応2	8.24	1866	藩兵が周防大島へ出征して敗戦に終わるまでの緊迫した様子。藩内では、和氣・伊予・久米の各郡における大砲の発射実験、さらに三津浜における砲台の試発が実施された。
43	1	松山藩	1 38 1	人数扶持指令	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応2	9.26	1866	藩財政の困窮から、慶応二年九月二六日付で藩士に対する人数扶持断行を達達した。
50	1	松山藩	1 38 2	人数扶持指令	「松山叢談14上」所収		慶応2	9.26	1866	藩財政の困窮から、慶応二年九月二六日付で藩士に対する人数扶持断行を達達した。
50	1	松山藩	1 39 1	松山藩兵の周防大島での失律、処理	「松山叢談14上」所収		慶応2	11.9	1866	藩兵が周防大島へ出征して敗戦に終わるまでの緊迫した様子
51	1	松山藩	1 39 2	松山藩兵の周防大島での失律、処理	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応3	1.21	1866	藩兵が周防大島へ出征して敗戦に終わるまでの緊迫した様子
53	1	松山藩	1 40	松平勝成・定昭、出京見合せにつき弁明	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応2	12.11	1866	
53	1	松山藩	1 41	松平勝成・定昭、不例につき年始心得	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応2	12.20	1866	
54	1	松山藩	1 42	松平定昭帰国の通達	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応3	2.14	1867	
54	1	松山藩	1 43	対長州防備心得を達達	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応3	3.25	1867	長州兵の進入した場合の防備心得を布達した。
54	1	松山藩	1 44	非常時駆付け場所の指定	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応3	3.28	1867	長州征伐敗北に伴う非常時の駆付け場所の指定
55	1	松山藩	1 45	温泉郡村々へ長防脱走人の侵入警戒通達	「湯山村公用書3」	伊予史談会	慶応3	4.10	1867	長州脱走人の潜入警戒を布達した。
55	1	松山藩	1 46	藩主松平勝成隠居願提出	「松山叢談14上」所収		慶応3	7.8	1867	藩主勝成の隠退と定昭の家督相続
56	1	松山藩	1 47	財政窮迫につき質素節約を布達	「湯山村公用書3」	伊予史談会	慶応3	7.12	1867	
57	1	松山藩	1 48	財政窮迫につき米四万借入れ布達	「湯山村公用書3」	伊予史談会	慶応3	7.20	1867	
58	1	松山藩	1 49	金穀献納者へ扶持米下付通達	「湯山村公用書3」	伊予史談会	慶応3	7.24	1867	

P	章	節	資料番号	出典	所蔵者	年	月	日	西暦	資料概観
58	1	松山藩	1 50	松平勝成、定昭への家督相続を出願	「久松定諫家記」	東京大学史料編纂所	慶応3	9.7	1867	藩主勝成の隠退と定昭の家督相続
59	1	松山藩	1 51	松平定昭、家督相続	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応3	9.20	1867	藩主勝成の隠退と定昭の家督相続
60	1	松山藩	1 52	松平定昭、老中職拝命・伊予守と改称	「久松定諫家記」	東京大学史料編纂所	慶応3	9.23	1867	藩主定昭の老中職就任
60	1	松山藩	1 53	松平定昭、老中職辞意表明	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応3	9.23	1867	藩主定昭の老中職辞任
60	1	松山藩	1 54	1 松平定昭、老中職辞表提出、受理	「久松定諫家記」	東京大学史料編纂所	慶応3	9.24	1867	藩主定昭の老中職辞任
61	1	松山藩	1 54	2 松平定昭、老中職辞表提出、受理	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応3	10.19	1867	藩主定昭の老中職辞任
61	1	松山藩	1 54	3 松平定昭、老中職辞表提出、受理	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応3	10.25	1867	藩主定昭の老中職辞任
61	1	松山藩	1 55	1 徳川慶喜下坂につき、松平定昭供奉	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応3	12.12	1867	大政奉還の後、旧将軍徳川慶喜が大坂に赴く節、藩主松平定昭は供奉を命ぜられた。
62	1	松山藩	1 55	2 徳川慶喜下坂につき、松平定昭供奉	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応3	12.12	1867	大政奉還の後、旧将軍徳川慶喜が大坂に赴く節、藩主松平定昭は供奉を命ぜられた。
62	1	松山藩	1 56	1 鳥羽伏見の戦端開始、松山藩兵撰津梅田村警衛	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応4	1.3	1868	
62	1	松山藩	1 56	2 鳥羽伏見の戦端開始、松山藩兵撰津梅田村警衛	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応4	1.6	1868	
63	1	松山藩	1 57	前藩主松平勝成、京都警衛のため上京を出願	「池内家記-信夫私記-」	愛媛県立図書館	慶応4	1.6	1868	
63	1	松山藩	1 58	1 朝廷、松平定昭らの官位剥奪、邸宅没収	「復古外記」伏水口戦記2所収	慶応4	1.8	1868	維新政府は松平定昭らを朝敵として、その官位を剥奪し邸宅を没収することになった。	
63	1	松山藩	1 58	2 朝廷、松平定昭らの官位剥奪、邸宅没収	「復古記」18所収	慶応4	1.8	1868	維新政府は松平定昭らを朝敵として、その官位を剥奪し邸宅を没収することになった。	
64	1	松山藩	1 59	松平定昭、朝敵の名を蒙り帰国	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応4	1.10	1868	維新政府は松平定昭らを朝敵として、その官位を剥奪し邸宅を没収することになった。
64	1	松山藩	1 60	朝廷より土佐藩へ、松山藩追討指令	「復古記18」所収	慶応4	1.11	1868	土佐藩に対し松山藩討伐の指令があった。	
64	1	松山藩	1 61	1 朝廷より宇和島藩へ、松山藩追討援命	「復古記19」所収	慶応4	1.15	1868	土佐藩に対し松山藩討伐の指令があり、宇和島藩にその応援をするよう布告された。	
64	1	松山藩	1 61	2 朝廷より宇和島藩へ、松山藩追討援命	「復古外記」伏水口戦記3所収	慶応4	1.15	1868	土佐藩に対し松山藩討伐の指令があり、宇和島藩にその応援をするよう布告された。	
65	1	松山藩	1 62	領内村々へ動揺せぬよう布告	「湯山村公用書4」	伊予史談会	慶応4	1.15	1868	
65	1	松山藩	1 63	松平定昭、朝廷へ赦免嘆願書差出	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応4	1	1868	松山藩側では定昭が赦免の嘆願書を差し出した。
66	1	松山藩	1 64	松平定昭・同家来、重ねて嘆願書差出	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応4	1.20	1868	
67	1	松山藩	1 65	官軍に恭順することを領内へ布告	「湯山村公用書4」	伊予史談会	慶応4	1.21	1868	藩民に対し恭順であるべき旨を布達した。
67	1	松山藩	1 66	土佐藩、松山征討につき、朝命伝達	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応4	1.22	1868	土佐藩はまず松山藩に征討の朝命を伝達した。
67	1	松山藩	1 67	家中一統へ恭順の指示	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応4	1.24	1868	
68	1	松山藩	1 68	1 松平定昭・勝成、常信寺へ退去・謹慎	「久松定諫家記」	東京大学史料編纂所	慶応4	1.25	1868	定昭および勝成は藩庁を出て、菩提寺の常信寺に退去して謹慎した。
68	1	松山藩	1 68	2 松平定昭・勝成、常信寺へ退去・謹慎	「池内家記-信夫私記-」	愛媛県立図書館	慶応4	1.25	1868	定昭および勝成は藩庁を出て、菩提寺の常信寺に退去して謹慎した。
68	1	松山藩	1 68	3 松平定昭・勝成、常信寺へ退去・謹慎	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応4	1.25	1868	定昭および勝成は藩庁を出て、菩提寺の常信寺に退去して謹慎した。
68	1	松山藩	1 69	土佐藩兵久万へ滞陣につき、領内百姓町人へ謹慎布告	「湯山村公用書4」	伊予史談会	慶応4	1.25	1868	
69	1	松山藩	1 70	土佐藩兵、松山藩追討のため進軍	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	慶応4	1.26	1868	土佐藩は浮穴郡久万を経由して松山に入り、領内の統治に当たる旨を布達した。
69	1	松山藩	1 71	土佐藩兵、松山に入城、領内統治布告	「復古外記」伏水口戦記4所収	慶応4	1.27	1868	土佐藩は浮穴郡久万を経由して松山に入り、領内の統治に当たる旨を布達した。	
70	1	松山藩	1 72	松平定昭・同家来、謝罪嘆願書再出願	「池内家記-信夫私記-」	愛媛県立図書館	慶応4	1.27	1868	
71	1	松山藩	1 73	1 長州藩兵、松山領内へ進駐	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	慶応4	1.28	1868	長州藩兵も松山藩領内に進駐した。
71	1	松山藩	1 73	2 長州藩兵、松山領内へ進駐	「復古外記」伏水口戦記4所収	慶応4	1.28	1868	長州藩兵も松山藩領内に進駐した。	
73	1	松山藩	1 74	征討軍松山駐屯につき兵糧など調達	「湯山村公用書4」	伊予史談会	慶応4	2.2	1868	
73	1	松山藩	1 75	神職ら、松平定昭の処置につき嘆願	「藤井此蔵一生記」	上浦町 藤井宗子氏	慶応4	2.7	1868	
74	1	松山藩	1 76	土佐藩、朝廷直政につき領内取締りを通達	「湯山村公用書4」	伊予史談会	慶応4	2.8	1868	
75	1	松山藩	1 77	松山領島々に長州出張役所の高札	「藤井此蔵一生記」	上浦町 藤井宗子氏	慶応4	2.10	1868	
75	1	松山藩	1 78	1 朝廷、松山藩主父子の謝罪嘆願書不受理を通達	「復古記」35所収	慶応4	2.15	1868		
76	1	松山藩	1 78	2 朝廷、松山藩主父子の謝罪嘆願書不受理を通達	「八原家日記」写	東京都三鷹市 八原昌元氏	慶応4	2.15	1868	
76	1	松山藩	1 79	大洲・新谷藩兵、土橋・立花へ進駐	「復古外記」伏水口戦記4所収	慶応4	2.17	1868	大洲・新谷の両藩兵も松山領内に入り、土橋・立花等に進駐した。	
76	1	松山藩	1 80	土州総督・長州藩隊長、謹慎中の藩主父子に面会を申し出	「八原家日記」写	東京都三鷹市 八原昌元氏	慶応4	2.23	1868	土佐藩総督・長州藩隊長が謹慎中の藩主父子に面会を申し入れた。
77	1	松山藩	1 81	福山藩、松山藩地より撤兵出願	「復古記」39所収	慶応4	2.25	1868		
77	1	松山藩	1 82	温泉郡内庄屋百姓、藩主父子の免罪を土佐藩に嘆願	「湯山村公用書4」	伊予史談会	慶応4	2	1868	藩主父子をはじめ家臣・庄屋・農民から、朝廷に対し赦免嘆願書が提出された。
78	1	松山藩	1 83	松平定昭・同家来、謝罪嘆願書再々出願	「八原家日記」写	東京都三鷹市 八原昌元氏	慶応4	3.6	1868	藩主父子をはじめ家臣・庄屋・農民から、朝廷に対し赦免嘆願書が提出された。
78	1	松山藩	1 84	家中へ謹慎継続を通達	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応4	3.14	1868	
78	1	松山藩	1 85	官軍に対し不敬なきよう家中へ通達	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応4	3.28	1868	
79	1	松山藩	1 86	1 松平定昭家族、国元引越しを嘆願	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応4	4.12	1868	
80	1	松山藩	1 86	2 松平定昭家族、国元引越しを嘆願	「復古記」69所収	慶応4	4.12	1868		
80	1	松山藩	1 87	前藩主松平勝成、謹慎解除を再願	「八原家日記」写	東京都三鷹市 八原昌元氏	慶応4	4.25	1868	藩主父子をはじめ家臣・庄屋・農民から、朝廷に対し赦免嘆願書が提出された。
81	1	松山藩	1 88	土佐藩郡府所より諸役人止宿附・願書差出方法につき通達	「湯山村公用書4」	伊予史談会	慶応4	4.28	1868	
82	1	松山藩	1 89	長州出征の水主役増手当米下付	「藤井此蔵一生記」	上浦町 藤井宗子氏	慶応4	4	1868	
82	1	松山藩	1 90	領内諸郡の大庄屋、免罪嘆願書差出	「湯山村公用書4」	伊予史談会	慶応4	閏4.8	1868	藩主父子をはじめ家臣・庄屋・農民から、朝廷に対し赦免嘆願書が提出された。
82	1	松山藩	1 91	松平定昭家族、国元帰国許可	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応4	閏4.10	1868	やがて定昭に対し、江戸にいる家族の国元への帰省を許可した。
82	1	松山藩	1 92	領内の庄屋百姓、藩主の謝罪嘆願のための上京伺	「松城要集第15」	伊予史談会	慶応4	閏4.13	1868	
83	1	松山藩	1 93	1 謝罪嘆願書、土佐藩より朝廷へ差出	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応4	閏4.15	1868	藩主父子の謝罪嘆願書が正式に土佐藩を通じて朝廷へ差し出された。
83	1	松山藩	1 93	2 謝罪嘆願書、土佐藩より朝廷へ差出	「復古記」84所収	慶応4	閏4.15	1868	藩主父子の謝罪嘆願書が正式に土佐藩を通じて朝廷へ差し出された。	
84	1	松山藩	1 94	土佐藩郡府所、久米郡大庄屋らに諸事申達を指令	「湯山村公用書4」	伊予史談会	慶応4	閏4.22	1868	

P	章	節	資料番号	出典	所蔵者	年	月	日	西暦	資料概観
84	1	松山藩	1 95 1	松平定昭監居・勝成藩主復職・軍費献上・土佐藩兵引揚げ下命	「太政官日誌」第22所収	慶応4	5.13	1868		やがて定昭は監居、それに替わって養父勝成が藩主に復し、軍費を献上するよう命ぜられた。
85	1	松山藩	1 95 2	松平定昭監居・勝成藩主復職・軍費献上・土佐藩兵引揚げ下命	「復古記」84所収	慶応4	5.13	1868		やがて定昭は監居、それに替わって養父勝成が藩主に復し、軍費を献上するよう命ぜられた。
85	1	松山藩	1 96	土佐藩郡府所、領内村々へ官軍駐屯中の諸入費届出を指令	「湯山村公用書4」	慶応4	5.21	1868		
86	1	松山藩	1 97 1	土州総督、松平定昭へ監居伝達下命	「松山叢談15」所収	慶応4	5.22	1868		やがて定昭は監居、それに替わって養父勝成が藩主に復し、軍費を献上するよう命ぜられた。
86	1	松山藩	1 97 2	土州総督、松平定昭へ監居伝達下命	「湯山村公用書4」	慶応4	5.22	1868		やがて定昭は監居、それに替わって養父勝成が藩主に復し、軍費を献上するよう命ぜられた。
86	1	松山藩	1 98 1	土佐藩兵引揚げ、松平勝成帰城につき、領民心得を指令	「湯山村公用書4」	伊予史談会	慶応4	5.22	1868	やがて土佐藩の駐留軍が引き揚げ、勝成は帰城して政権を担当し、定昭は東野の別邸に移って謹慎した。
87	1	松山藩	1 98 2	土佐藩兵引揚げ、松平勝成帰城につき、領民心得を指令	「八原家日記」写	東京都三鷹市 八原昌元氏	慶応4	5.22	1868	やがて土佐藩の駐留軍が引き揚げ、勝成は帰城して政権を担当し、定昭は東野の別邸に移って謹慎した。
87	1	松山藩	1 99 1	松平勝成帰城、定昭東野で謹慎	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応4	5.25	1868	やがて土佐藩の駐留軍が引き揚げ、勝成は帰城して政権を担当し、定昭は東野の別邸に移って謹慎した。
88	1	松山藩	1 99 2	松平勝成帰城、定昭東野で謹慎	「松山叢談15」所収	慶応4	5.25	1868		やがて土佐藩の駐留軍が引き揚げ、勝成は帰城して政権を担当し、定昭は東野の別邸に移って謹慎した。
88	1	松山藩	1 100	松平勝成、朝廷へ出仕のため上京出願、受理	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応4	6.11	1868	
88	1	松山藩	1 101	朝政一新につき藩政改革を通過	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応4	6.15	1868	
89	1	松山藩	1 102	献上金一五万両調達につき藩内に質素倹約令	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応4	6.15	1868	藩は新政府から命じられた軍費一五万両の調達に苦慮した。
89	1	松山藩	1 103	献上金一五万両調達に苦慮	「湯山村公用書4」	伊予史談会	慶応4	6.23	1868	藩は新政府から命じられた軍費一五万両の調達に苦慮した。
89	1	松山藩	1 104	朝廷より堺警固指令	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応4	6.25	1868	
91	1	松山藩	1 105 1	松山藩主、松平姓を久松姓に改称	「松山叢談14中」所収	慶応4	7.6	1868		藩主は従来の松平姓を廃して久松姓に復するよう指令があり、勝成は京都の新政府に赴いて参内した。
91	1	松山藩	1 105 2	松山藩主、松平姓を久松姓に改称	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応4	7.6	1868	藩主は従来の松平姓を廃して久松姓に復するよう指令があり、勝成は京都の新政府に赴いて参内した。
91	1	松山藩	1 106	藩主久松勝成参内	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応4	7.12	1868	藩主は従来の松平姓を廃して久松姓に復するよう指令があり、勝成は京都の新政府に赴いて参内した。
91	1	松山藩	1 107	軍費一五万両献上	「復古記」84所収	慶応4	8.23	1868		八月になって献上の手続きを完了した。
92	1	松山藩	1 108	松山藩へ住吉表警衛指令	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応4	8.30	1868	松山藩は住吉地区の警備を命じられた。
92	1	松山藩	1 109	京都・大坂の松山藩邸還付	「復古記」125所収	慶応4	9.3	1868		
93	1	松山藩	1 110	東幸供奉に松山藩重臣差出し指令	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	明治元	9.10	1868	
93	1	松山藩	1 111	藩治職制改正、執政・参政・公儀人設置	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	明治元	11.20	1868	新政府から藩治職制の改正に伴い、執政・参政・公儀人を設置するよう伝達された。
94	1	松山藩	1 112	朝政一新につき、人倫の道告諭伝達	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	明治元	11.20	1868	
95	1	松山藩	1 113	永借銭礼差出町方へ下米停滞を声明	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	明治元	12.3	1868	
95	1	松山藩	1 114 1	藩政改革のため久松勝成帰国出願	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	明治元	12.28	1868	
96	1	松山藩	1 114 2	藩政改革のため久松勝成帰国出願	「松山叢談14中」所収	明治元	12.28	1868		
96	1	松山藩	1 115	藩治職制再改革実施	「松山叢談14中」所収	明治2	2.5	1869		執政・参政・公儀人を設置する体制を実施した。
97	1	松山藩	1 116	久松勝成、版籍奉還を上表	「公文録 版籍奉還之部1」	国立公文書館	明治2	2.5	1869	勝成は薩長土肥の四藩主の版籍奉還にない、同意の嘆願書を政府に提出した。
98	1	松山藩	1 117	松山藩士ら、久松定昭監居解除を嘆願	「松山叢談14中」所収	明治2	3.6	1869		
98	1	松山藩	1 118 1	久松定昭の監居解除	「松山叢談15」所収	明治2	3.6	1869		
98	1	松山藩	1 118 2	久松定昭の監居解除	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	明治2	3.6	1869	
99	1	松山藩	1 119	久松勝成、皇道復興・蝦夷地開拓などの詰問に答申	「松山叢談14中」所収	明治2	5.28	1869		
101	1	松山藩	1 120	久松勝成、国は基礎の詰問に答申	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	明治2	5	1869	
102	1	松山藩	1 121	久松勝成、藩知事拜命	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	明治2	6.17	1869	版籍奉還が断行され、勝成が一方官として松山藩知事に任ぜられた。
102	1	松山藩	1 122	菅但馬(良弼)・竹内九郎兵衛、大参事に任命	「松山叢談14中」所収	明治2	8.4	1869		藩政改革によって、菅良弼が大参事に任ぜられた。
103	1	松山藩	1 123	藩治職制・職掌・士族等級・役俸届	「松山藩進達留」	愛媛県立図書館	明治2	9.26	1869	藩政改革によって、菅良弼が大参事に任ぜられた。
106	1	松山藩	1 124	公入用・士族旧禄渡高予算案提出	「松山藩進達留」	愛媛県立図書館	明治2	10.29	1869	
108	1	松山藩	1 125	士族・准士・徒士の給禄報告	「松山藩進達留」	愛媛県立図書館	明治2	10.29	1869	
109	1	松山藩	1 126	禄制・役俸仮規定表	「松山叢談14中」所収	明治3	3.30	1870		
110	1	松山藩	1 127	松山藩職制・諸規則改定通達	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	明治3	閏10.16	1870	
115	1	松山藩	1 128	旧家老鈴木重遠ら大参事任官	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	明治3	閏10	1870	旧家老の鈴木重遠らが大参事となった。
116	1	松山藩	1 129	松山城三ノ丸焼失	「松山叢談14中」所収	明治3	閏10.25	1870		松山城三ノ丸が焼失した。
116	1	松山藩	1 130	仏式・英学教導到着、常備兵編成布告	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	明治3	11.15	1870	
117	1	松山藩	1 131	藩政改革、改正諸規則・職員令布告	「松山藩進達留」	愛媛県立図書館	明治3	12	1870	
120	1	松山藩	1 132	藩庁諸規則布達	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	明治4	1.4	1871	
120	1	松山藩	1 133	松山藩庁焼亡につき差控え出願	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	明治4	1.7	1871	
120	1	松山藩	1 134 1	久松勝成、藩知事辞職願提出・許可	「公文録 松山藩之部」	国立公文書館	明治4	1.8	1871	勝成は藩知事を辞任した。
121	1	松山藩	1 134 2	久松勝成、藩知事辞職願提出・許可	「松山叢談14中」所収	明治4	1.8	1871		勝成は藩知事を辞任した。
121	1	松山藩	1 135 1	久松定昭、家督相続、松山藩知事拜命	「公文録 松山藩之部」	国立公文書館	明治4	1.14	1871	定昭が再び家督を相続して藩知事となった。
122	1	松山藩	1 135 2	久松定昭、家督相続、松山藩知事拜命	「松山叢談15」所収	明治4	1.14	1871		定昭が再び家督を相続して藩知事となった。
122	1	松山藩	1 136	藩知事父子帰藩につき出迎え布令	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	明治4	1.25	1871	
123	1	松山藩	1 137	久松勝成上京	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	明治4	2.19	1871	
123	1	松山藩	1 138	士卒の帯刀・軍服着用改正布令	「松山叢談15」所収	明治4	3.5	1871		
123	1	松山藩	1 139	松山藩兵、東京府庁警衛を拜命	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	明治4	3.23	1871	
123	1	松山藩	1 140 1	廃藩置県につき久松定昭藩知事免官	「松山叢談15」所収	明治4	7.15	1871		廃藩置県が施行され、定昭は藩知事を辞任した。
124	1	松山藩	1 140 2	廃藩置県につき久松定昭藩知事免官	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	明治4	7.15	1871	廃藩置県が施行され、定昭は藩知事を辞任した。
124	1	松山藩	1 141	久松定昭、東京移住につき松山出発	「松山叢談15」所収	明治4	9.11	1871		東京へ移住のため、松山を出発した。

P	章	節	資料番号	出典	所蔵者	年	月	日	西暦	資料概観
125	1	松山藩	1 142	松山領里正鑑	伊予史談会	明治5			1872	
144	1	松山藩	1 143	伊予八藩紀（凡例）	「愛媛県史料41」					
145	1	松山藩	1 144	松山藩紀	「愛媛県史料41」					
156	1	松山藩	2 145	高機織座、松山本町一丁目に設置	伊予史談会	安政3	4.12		1856	安政三年四月に松山本町に高機織座が設置された。
156	1	松山藩	2 146	岩城島民、海外漂着後長崎へ送還	「藤井此蔵一生記」	上浦町 藤井宗子氏	安政5		1858	
157	1	松山藩	2 147	高機織職人らの他領出稼ぎ禁止	「御触状控帳」	伊予史談会	安政6	4.26	1859	藩は高機織職人らの他領出稼ぎを禁止し、技術の移出を抑圧した。
157	1	松山藩	2 148	他所者の永逗留取締り布達	「松山御触書」	伊予史談会	文久2	5.28	1862	幕末の動揺期における治安維持をはかる目的から、他所者の長期間逗留を禁止した。
158	1	松山藩	2 149	旅人廻路等の城下徘徊制限の布達	「松山御触書」	伊予史談会	文久2	6.17	1862	幕末の動揺期における治安維持をはかる目的から、旅人・廻路の城下町徘徊を制限した。
158	1	松山藩	2 150	城下の乞食物貰い等取締り布令	「松山御触書」	伊予史談会	文久2	6.27	1862	
158	1	松山藩	2 151	祭礼時の衣食等儉約を布令	「松山御触書」	伊予史談会	文久2	8.7	1862	時節柄、祭礼の節の衣食を特に質実にした。
160	1	松山藩	2 152	郡方へ諸事心得通達	「松山御触書」	伊予史談会	文久2		1862	
160	1	松山藩	2 153	開国交易により物価上昇	「藤井此蔵一生記」	上浦町 藤井宗子氏	元治元		1864	
161	1	松山藩	2 154	松山藩銀札通用延長指令	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応2	2.28	1866	藩内における銀札の通用延期を布達した。
161	1	松山藩	2 155	家中渡米、銀札渡しを布告	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	慶応2	6.1	1866	慶応二年六月に、家中に対し俵禄を銀札で渡すことにした。
161	1	松山藩	2 156	長州出征、非常時につき領内止宿禁止	「湯山村公用書3」	伊予史談会	慶応2	6.5	1866	
162	1	松山藩	2 157	長州出征の水主手当銀下付	「藤井此蔵一生記」	上浦町 藤井宗子氏	慶応2	12	1866	長州征伐に従軍した水主へ手当を支払った。
162	1	松山藩	2 158	越智郡大三島に守礼降下	「藤井此蔵一生記」	上浦町 藤井宗子氏	慶応3		1867	慶応三年に、政情の不安から大山祇神社の守礼が降ったとの流言が横行した。
163	1	松山藩	2 159	「ええじゃないか」流行、禁圧布達	「湯山村公用書3」	伊予史談会	慶応4	1.4	1868	松山藩は慶応四年一月に上方から流行したええじゃないかの踊りに狂うことを厳禁した。
163	1	松山藩	2 160	官軍に恭順につき、鳴物停止・旅人止宿禁止を布令	「湯山村公用書4」	伊予史談会	慶応4	1.22	1868	
163	1	松山藩	2 161	城下駐留の官軍へ薪炭・野菜出荷催促	「湯山村公用書4」	伊予史談会	慶応4	2.6	1868	土州兵の松山進駐に際し、彼らに薪炭・野菜の出荷を促すよう督促した。
164	1	松山藩	2 162	領民慰撫のため、米一万俵の下渡し	「湯山村公用書4」	伊予史談会	慶応4	6.16	1868	藩民の気分を慰撫するために、米一万俵を配給した。
164	1	松山藩	2 163	諸郡へ至急献金の布告	「湯山村公用書4」	伊予史談会	慶応4	6.25	1868	藩財政の逼迫から諸郡の富商農に献金するよう布達した。
164	1	松山藩	2 164	越智郡三島社本地堂・経石塔移転	「藤井此蔵一生記」	上浦町 藤井宗子氏	明治2		1869	
165	1	松山藩	2 165	士卒以下男女並びに社人僧侶等取調べ報告	「松山藩進達留」	愛媛県立図書館	明治3	5	1870	
167	1	松山藩	2 166	藩内の祭礼日を告示	「松山叢談14」所収		明治3	8.1	1870	
167	1	松山藩	2 167	帰農士族に手当支給等布告	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	明治4	1.2	1871	明治四年に入って帰農する士族を援助するために手当を支給することを指示した。
167	1	松山藩	2 168	士族帰農につき諸規則布達	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	明治4	1.25	1871	
169	1	松山藩	2 169	米仲買廃止布告	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	明治4	3.7	1871	
169	1	松山藩	2 170	座頭督女救助布告	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	明治4	4.20	1871	
170	1	松山藩	2 171	士族と出会いの節の旧習廃止布告	「松山叢談15」所収		明治4	6.3	1871	従来武士に出会った節に礼節を厳守した旧慣習を廃止し、四民平等の実をあげるよう告示した。
170	1	松山藩	2 172	新律布告につき、厳守すべき旨通達	「松山叢談15」所収		明治4	6.7	1871	
170	1	松山藩	2 173	農商就業の廃卒に銭札等下付通達	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	明治4	7.19	1871	農商業に就業する卒族に銭札を給与した。
171	1	松山藩	2 174	えた・非人の称廃止の布告伝達	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	明治4	10	1871	
171	1	松山藩	2 175	松山県、えた・非人の解放を告諭	「松山藩布告留」	愛媛県立図書館	明治4	10	1871	
172	1	松山藩	2 176	石鏡県庁、松山より今治へ移転	「藤井此蔵一生記」	上浦町 藤井宗子氏	明治5	11	1872	
172	1	松山藩	3 177 1	安政大地震、城下被害	「松山叢談13上」所収		嘉永7	11.5	1854	安政元年における大地震による松山における被害の状況
173	1	松山藩	3 177 2	安政大地震、城下被害	「藤井此蔵一生記」	上浦町 藤井宗子氏	嘉永7	11.5	1854	安政元年における大地震による松山における被害の状況
173	1	松山藩	3 178	松山領内大地震、施米実施	「松山叢談14上」所収		安政4	8.25	1857	安政四年も松山領内に地震があり、被災者に対し米穀による救援が行われた。
173	1	松山藩	3 179	コレラ流行につき予防法通達	「湯山村公用書1」	伊予史談会	安政5	8.28	1858	安政五年から六年にかけて、コレラが流行して各地に罹災者が続出し、東雲神社でも平癒の祈禱が実施された。
174	1	松山藩	3 180 1	コレラ流行につき東雲神社にて祈禱		「松山叢談14上」所収	安政6	7	1859	安政五年から六年にかけて、コレラが流行して各地に罹災者が続出し、東雲神社でも平癒の祈禱が実施された。
174	1	松山藩	3 180 2	コレラ流行につき東雲神社にて祈禱	「湯之山村諸御用記」	愛媛県編年史所収	安政6	9	1859	安政五年から六年にかけて、コレラが流行して各地に罹災者が続出し、東雲神社でも平癒の祈禱が実施された。
175	1	松山藩	3 181	越智郡大三島にもコレラ流行	「藤井此蔵一生記」	上浦町 藤井宗子氏	安政6		1859	安政五年から六年にかけて、コレラが流行して各地に罹災者が続出し、東雲神社でも平癒の祈禱が実施された。
175	1	松山藩	3 182	穀類高値につき救助米下付	「藤井此蔵一生記」	上浦町 藤井宗子氏	文久元		1861	文久元年には、穀類の価格が高騰し、藩庁では救助米を町方および郷村に支給した。
175	1	松山藩	3 183	松山城下町方細民へ救助米下付	「御触状控帳」	伊予史談会	文久元	3.11	1861	文久元年には、穀類の価格が高騰し、藩庁では救助米を町方および郷村に支給した。
175	1	松山藩	3 184	松山領内旱魃につき救済銀下付	「湯之山村諸御用記」	松山市役所湯山支所	慶応3	8.1	1867	慶応三年松山領内に旱魃があり、罹災者に救助金が給与された。
176	1	松山藩	3 185 1	久万山騒動につき久松定昭告諭		「松山叢談15」所収	明治4	8.16	1871	久万山百姓一揆に参加した農村の領域が拡大して大規模となったので、定昭は彼らに告諭を布達して帰村すべきことを要望した。
176	1	松山藩	3 185 2	久万山騒動につき久松定昭告諭	「久万山騒動関係文書」	久万町 小田慶孝氏	明治4	8.16	1871	久万山百姓一揆に参加した農村の領域が拡大して大規模となったので、定昭は彼らに告諭を布達して帰村すべきことを要望した。
177	1	松山藩	3 186	野間郡庄屋ら旧藩主の留任嘆願のため松山出張	「井手家文書」	大西町 井手温良氏	明治4	8.17	1871	久万山百姓一揆とは別に、野間郡の庄屋らも定昭の留任を嘆願した。
178	1	松山藩	3 187	旧藩知事留任を求める農民騒擾伝聞	「藤井此蔵一生記」	上浦町 藤井宗子氏	明治4	9	1871	文明開化の政策に反感を懐いていた浮穴郡久万地域の農民たちが、政変による環境の推移を恐れるのあまり、定昭の留任を強訴した。これを久万山百姓一揆と呼ぶ。
178	1	松山藩	3 188	久万山騒動につき、久松定昭、進退伺提出		「松山叢談15」所収	明治4	9.20	1871	定昭は一揆勃発の責任をとって、新政府に進退伺書を提出した。

P	章	節	資料番号	出典	所蔵者	年	月日	西暦	資料概観	
179	1	松山藩	3 189	領民代表、旧藩知事留任を上京嘆願	「松城要集第15」	伊予史談会	明治4	10	1871	
181	2	今治藩	1 1	藩士の武器・馬具を調査	「今治拾遺」巻13	今治城管理事務所	嘉永6	7.29	1853	藩ではペリー来航後直ちに藩士の武器の状態を調査し、不備者には資金を与えて修補させた。
181	2	今治藩	1 2	異国船渡来につき対応を指示	「椋名村柳原家史料」	吉海町 柳原滋毅氏	嘉永6	10.21	1853	領民に対しては異国船渡来時の対応を指示した。
181	2	今治藩	1 3	非常の時勢につき、武器補修のため藩士に手当金を貸与	「今治拾遺」巻13	今治城管理事務所	嘉永7	2.6	1854	藩ではペリー来航後直ちに藩士の武器の状態を調査し、不備者には資金を与えて修補させた。
182	2	今治藩	1 4	今治城内外で甲冑訓練につき幕府に伺	「今治拾遺」巻13	今治城管理事務所	嘉永7	3.29	1854	盛んに訓練を行った。
182	2	今治藩	1 5 1	海岸防御のため江戸下屋敷を上知、代替地拝領	「今治拾遺」巻13	今治城管理事務所	嘉永7	5.23	1854	
182	2	今治藩	1 5 2	海岸防御のため江戸下屋敷を上知、代替地拝領	「江戸御屋敷之旧記」	今治史談会	嘉永7	5.23	1854	
183	2	今治藩	1 6	今治船頭町下浜で甲冑訓練実施	「今治拾遺」巻13	今治城管理事務所	安政2	3.16	1855	盛んに訓練を行った。
183	2	今治藩	1 7	諸寺の梵鐘、大砲小銃に改鑄布告	「椋名村柳原家史料」	吉海町 柳原滋毅氏	安政2	4.14	1855	
184	2	今治藩	1 8	今治湊山で砲術訓練実施	「今治拾遺」巻13	今治城管理事務所	安政2	4.20	1855	盛んに訓練を行った。
184	2	今治藩	1 9	西洋書籍、武器購入等につき通達	「椋名村柳原家史料」	吉海町 柳原滋毅氏	安政6	8.2	1859	
184	2	今治藩	1 10	大船所持の許可および英国人測量につき布告	「大浜村柳原家文書」	今治市 大浜八幡大神社	文久元	8.2	1861	
185	2	今治藩	1 11	英国測量船、大島の椋名村に着船	「井手家文書」	大西町 井手温良氏	文久元	10.9	1861	領内に島嶼部や来島海峡があって外国船の航行や停泊が頻繁であった。
185	2	今治藩	1 12	異国船渡来、世上不穏につき取締り方布告	「大浜村柳原家文書」	今治市 大浜八幡大神社	文久元	12.19	1861	領内に島嶼部や来島海峡があって外国船の航行や停泊が頻繁であった。
186	2	今治藩	1 13	異国船渡来の節の出陣配置	「異国船渡来ニ付蒙上意出陣之節人数配」	今治史談会	文久2	1	1862	文久頃にはいよいよ世上不穏となり、非常の際の綿密な藩士の出陣配置を決定した。
190	2	今治藩	1 14	富国強兵の主意を領内に布告	「大浜村柳原家文書」	今治市 大浜八幡大神社	文久2	10.7	1862	
190	2	今治藩	1 15	海防策につき藩士富田金太郎上申	「今治藩史」5(国府叢書)	今治市 加藤セツ氏	文久3	1	1863	軽輩にも海防策を上申させて士気を煽った。
193	2	今治藩	1 16 1	幕府内命により海岸防御見分役津山藩士植原正方来今	「村上家譜」	今治史談会	文久3	2.5	1863	
193	2	今治藩	1 16 2	幕府内命により海岸防御見分役津山藩士植原正方来今	「日用簿」池上忠古手記	今治史談会	文久3	2.5	1863	
193	2	今治藩	1 17	砲台築造につき金属類供出布告	「今治拾遺」巻14	今治城管理事務所	文久3	3	1863	文久三年領内から金属類を供出させて四か所に砲台を築いた。
194	2	今治藩	1 18	久松彦兵衛に命じ、洋式兵制に改革	「今治拾遺」巻14	今治城管理事務所	文久3	3	1863	兵制を洋式に改革して訓練を行った。
194	2	今治藩	1 19 1	越智郡鈍川村に今治城移城地を決定	「今治拾遺」巻14	今治城管理事務所	文久3	4.12	1863	海上からの砲撃の危険に対しては今治城を越智郡鈍川村の神子ノ森に移す計画を立て測量を行った。
194	2	今治藩	1 19 2	越智郡鈍川村に今治城移城地を決定	「久松家譜」	今治史談会	文久3	4.12	1863	海上からの砲撃の危険に対しては今治城を越智郡鈍川村の神子ノ森に移す計画を立て測量を行った。
195	2	今治藩	1 20	城所主税、国事探索のため上京	「城所家譜」	今治史談会	文久3	9.15	1863	
195	2	今治藩	1 21	農事精励等につき布告	「浮穴家文書」	玉川町 浮穴峯俊氏	元治元	4	1864	
196	2	今治藩	1 22 1	豪商ト部(樽屋)宗左衛門・八木(丹波屋)実太、各千両を献上	「ト部家譜」	今治史談会	元治元	8.7	1864	度々御用金や献金を命じた。
196	2	今治藩	1 22 2	豪商ト部(樽屋)宗左衛門・八木(丹波屋)実太、各千両を献上	「八木家譜」	今治史談会	元治元	8.7	1864	度々御用金や献金を命じた。
197	2	今治藩	1 23 1	第一次長州征伐 徳山へ出陣指令	「今治拾遺」巻14	今治城管理事務所	元治元	8.13	1864	第一次長州征伐では、徳島藩の指揮下に入り、徳山への出陣命を受けて藩主自らも出船したが、余り積極的ではなく風早郡忽那島栗井村に滞船中に停止となった。
198	2	今治藩	1 23 2	第一次長州征伐 家老久松彦兵衛、江戸より帰国	「今治拾遺」巻14	今治城管理事務所	元治元	8.24	1864	第一次長州征伐では、徳島藩の指揮下に入り、徳山への出陣命を受けて藩主自らも出船したが、余り積極的ではなく風早郡忽那島栗井村に滞船中に停止となった。
198	2	今治藩	1 23 3	第一次長州征伐 徳島藩の指揮下に入る旨通達	「今治拾遺」巻14	今治城管理事務所	元治元	10.18	1864	第一次長州征伐では、徳島藩の指揮下に入り、徳山への出陣命を受けて藩主自らも出船したが、余り積極的ではなく風早郡忽那島栗井村に滞船中に停止となった。
198	2	今治藩	1 23 4	第一次長州征伐 郷夫割当・賞銭等につき通達	「今治藩史」5(国府叢書)	今治市 加藤セツ氏	元治元	11.5	1864	第一次長州征伐では、徳島藩の指揮下に入り、徳山への出陣命を受けて藩主自らも出船したが、余り積極的ではなく風早郡忽那島栗井村に滞船中に停止となった。
199	2	今治藩	1 23 5 1	第一次長州征伐 征長応援のため藩主ら出陣	「服部家譜」	今治史談会	元治元	11.10	1864	第一次長州征伐では、徳島藩の指揮下に入り、徳山への出陣命を受けて藩主自らも出船したが、余り積極的ではなく風早郡忽那島栗井村に滞船中に停止となった。
199	2	今治藩	1 23 5 2	第一次長州征伐 征長応援のため藩主ら出陣	「鈴木家譜」	今治史談会	元治元	11.10	1864	第一次長州征伐では、徳島藩の指揮下に入り、徳山への出陣命を受けて藩主自らも出船したが、余り積極的ではなく風早郡忽那島栗井村に滞船中に停止となった。
199	2	今治藩	1 23 6	第一次長州征伐 今治藩の兵船、中島大泊港に碇泊	「今治拾遺」巻14	今治城管理事務所	元治元	11.12	1864	第一次長州征伐では、徳島藩の指揮下に入り、徳山への出陣命を受けて藩主自らも出船したが、余り積極的ではなく風早郡忽那島栗井村に滞船中に停止となった。
200	2	今治藩	1 23 7	第一次長州征伐 征伐一時停止指令	「今治拾遺」巻14	今治城管理事務所	元治元	11.14	1864	第一次長州征伐では、徳島藩の指揮下に入り、徳山への出陣命を受けて藩主自らも出船したが、余り積極的ではなく風早郡忽那島栗井村に滞船中に停止となった。
200	2	今治藩	1 23 8	第一次長州征伐 征長陣払い下命	「今治拾遺」巻14	今治城管理事務所	元治元	12.27	1864	第一次長州征伐では、徳島藩の指揮下に入り、徳山への出陣命を受けて藩主自らも出船したが、余り積極的ではなく風早郡忽那島栗井村に滞船中に停止となった。
200	2	今治藩	1 23 9	第一次長州征伐 陣払いを明年元旦と決定	「今治拾遺」巻14	今治城管理事務所	元治元	12.29	1864	第一次長州征伐では、徳島藩の指揮下に入り、徳山への出陣命を受けて藩主自らも出船したが、余り積極的ではなく風早郡忽那島栗井村に滞船中に停止となった。
201	2	今治藩	1 23 10	第一次長州征伐 今治藩兵凱旋	「今治拾遺」巻14	今治城管理事務所	元治2	1.1	1865	第一次長州征伐では、徳島藩の指揮下に入り、徳山への出陣命を受けて藩主自らも出船したが、余り積極的ではなく風早郡忽那島栗井村に滞船中に停止となった。
201	2	今治藩	1 24	出費多端につき、切米削減を通達	「今治拾遺」巻14	今治城管理事務所	慶応元	5.3	1865	領内へは藩士・庶民共に厳重な儉約令を布告した。
202	2	今治藩	1 25 1	第二次長州征伐 長州再征布令につき準備	「今治拾遺」巻14	今治城管理事務所	慶応元	5.11	1865	第二次征長でも上ノ関口出陣を命じられたが、兵船はなかなか動かさず、むしろ家老らを出張させて征長の中止を申し入れた。
202	2	今治藩	1 25 2	第二次長州征伐 周防上ノ関口応援を拝命	「今治拾遺」巻14	今治城管理事務所	慶応元	11.7	1865	第二次征長でも上ノ関口出陣を命じられたが、兵船はなかなか動かさず、むしろ家老らを出張させて征長の中止を申し入れた。
203	2	今治藩	1 25 3	第二次長州征伐 一番手船隊、越智郡大浜村を出船	「今治拾遺」巻14	今治城管理事務所	慶応2	6.12	1866	第二次征長でも上ノ関口出陣を命じられたが、兵船はなかなか動かさず、むしろ家老らを出張させて征長の中止を申し入れた。



P	章	節	資料番号	出典	所蔵者	年	月日	西暦	資料概観	
204	2	今治藩	1 25 4	第二次長州征伐 若年寄京極高富、今治藩兵の三津浜出張催促	「今治拾遺」巻14	今治城管理事務所	慶応2	6.18	1866	第二次征長でも上ノ関口出陣を命じられたが、兵船はなかなか動かさず、むしろ家老らを出張させて征長の中止を申し入れた。
204	2	今治藩	1 25 5	第二次長州征伐 家老久松長世ら、意見上申のため広島出張	「今治拾遺」巻14	今治城管理事務所	慶応2	6.21	1866	第二次征長でも上ノ関口出陣を命じられたが、兵船はなかなか動かさず、むしろ家老らを出張させて征長の中止を申し入れた。
205	2	今治藩	1 25 6	第二次長州征伐 征長軍の帰藩を通過	「今治拾遺」巻14	今治城管理事務所	慶応2	9.14	1866	第二次征長でも上ノ関口出陣を命じられたが、兵船はなかなか動かさず、むしろ家老らを出張させて征長の中止を申し入れた。
205	2	今治藩	1 25 7	第二次長州征伐 征長軍の解兵を通過	「今治拾遺」巻14	今治城管理事務所	慶応3	2.5	1867	第二次征長でも上ノ関口出陣を命じられたが、兵船はなかなか動かさず、むしろ家老らを出張させて征長の中止を申し入れた。
205	2	今治藩	1 26	異国船碇泊時等の守兵待機合図制定	「今治藩武具方記録」	今治史談会	慶応2	8.2	1866	
205	2	今治藩	1 27	英国軍艦、越智郡大浜村中に碇泊	「今治拾遺」巻14	今治城管理事務所	慶応2	10.2	1866	
206	2	今治藩	1 28	幕府、大政奉還の公示により藩主に上京を指示	「今治拾遺」巻15	今治城管理事務所	慶応3	10.17	1867	
207	2	今治藩	1 29	外夷一件につき答申	「西京役所御届書控」	今治史談会	慶応3	12.9	1867	
207	2	今治藩	1 30	薩摩藩邸襲撃の通知に久松彦兵衛江戸を出発	「今治拾遺」巻15	今治城管理事務所	慶応3	12.25	1867	
207	2	今治藩	1 31	家老服部外記(正弘)ら藩主名代として入京	「今治拾遺」巻15	今治城管理事務所	慶応3	12.28	1867	藩主の名代を入京させて新政府の側に立つ旨の態度を明瞭にした。
208	2	今治藩	1 32 1	鳥羽伏見の戦端開始、藩兵上京指令	「今治拾遺」巻15	今治城管理事務所	慶応4	1.4	1868	戊辰戦争ではたまたま滞京対談中の家老らが戦端の開始を知って直ちに帰国した。
208	2	今治藩	1 32 2	鳥羽伏見の戦端開始、藩兵上京指令	「西京役所御届書控」	今治史談会	慶応4	1.4	1868	戊辰戦争ではたまたま滞京対談中の家老らが戦端の開始を知って直ちに帰国した。
208	2	今治藩	1 33	徳川慶喜征討につき藩主召命	「今治拾遺」巻15	今治城管理事務所	慶応4	1.8	1868	
209	2	今治藩	1 34	財政窮乏につき郷中へも献金依頼	「大浜村柳原家文書」	今治市 大浜八幡大神社	慶応4	1.11	1868	度々御用金や献金を命じた。
210	2	今治藩	1 35	池内重華、大坂で一万二千兩調達	「今治拾遺」巻15	今治城管理事務所	慶応4	1.18	1868	海防や進軍の軍費は、大坂で銀主方から一万二千兩を借用した。
210	2	今治藩	1 36	国事一新につき藩士の節儉など布告	「今治藩武具方記録」	今治史談会	慶応4	1.26	1868	領内へは藩士・庶民共に厳重な検約令を布告した。
211	2	今治藩	1 37	藩主松平勝吉(定法)、久松姓に改称	「今治拾遺」巻15	今治城管理事務所	慶応4	2.4	1868	
212	2	今治藩	1 38 1	鈴木永弼、天応隊を率いて入京	「今治拾遺」巻15	今治城管理事務所	慶応4	2.5	1868	天応隊を送って華頂宮を警護した。
212	2	今治藩	1 38 2	鈴木永弼、天応隊を率いて入京	「西京役所御届書控」	今治史談会	慶応4	2.5	1868	天応隊を送って華頂宮を警護した。
212	2	今治藩	1 39	大政官へ在京の兵員数届出	「久松定弘家記」	東京大学史料編纂所	慶応4	2.9	1868	
212	2	今治藩	1 40	大政官より貢士人選・報告の通過	「今治拾遺」巻15	今治城管理事務所	慶応4	2.13	1868	
213	2	今治藩	1 41	庶政一新につき禄制を改革	「今治拾遺」巻15	今治城管理事務所	慶応4	2.27	1868	慶応四年二月には家中を総登城させて禄制の大改革が発表され、重臣らも連署して協力する旨を約束した。
214	2	今治藩	1 42	外国公使上京につき京内警固拜命	「久松定弘家記」	東京大学史料編纂所	慶応4	2.29	1868	
215	2	今治藩	1 43	藩主久松勝吉、松山藩主および家臣の寛大措置嘆願	「久松定弘家記」	東京大学史料編纂所	慶応4	2	1868	
215	2	今治藩	1 44	家老以下、庶政一新への協力を誓約	「今治拾遺」巻15	今治城管理事務所	慶応4	3.3	1868	慶応四年二月には家中を総登城させて禄制の大改革が発表され、重臣らも連署して協力する旨を約束した。
216	2	今治藩	1 45 1	久松勝吉(定法)、上京参内	「西京役所御届書控」	今治史談会	慶応4	3.19	1868	
216	2	今治藩	1 45 2	久松勝吉(定法)、上京参内	「久松定弘家記」	東京大学史料編纂所	慶応4	3.19	1868	
216	2	今治藩	1 46	華頂宮警衛を拜命	「西京役所御届書控」	今治史談会	慶応4	3.23	1868	
217	2	今治藩	1 47	庶政一新につき郷村取締り法改正	「国府叢書」	今治市 加藤セツ氏	慶応4	3	1868	領内には触書を発して、取り締まりを厳しくし、村々を数か村ずつ組み合わせて組内を作り、頭領取締方を置いてさらに徹底させた。
219	2	今治藩	1 48	大政官へ在藩の兵員数を報告	「西京役所御届書控」	今治史談会	慶応4	4.4	1868	
219	2	今治藩	1 49	久松勝吉(定法)家族、江戸引払い届出	「久松定弘家記」	東京大学史料編纂所	慶応4	4.4	1868	
219	2	今治藩	1 50	藩主久松勝吉、定法と改名出願	「久松定弘家記」	東京大学史料編纂所	慶応4	4.8	1868	
219	2	今治藩	1 51	京内警固兵員を削減、員数届出	「久松定弘家記」	東京大学史料編纂所	慶応4	4.22	1868	
220	2	今治藩	1 52	貢士井上豊龍、慶喜処分等につき上申	「総裁局記」	今治史談会	慶応4	4.28	1868	
220	2	今治藩	1 53	政事一新につき、村方支配を改正	「浮穴家文書」	玉川町 浮穴峯俊氏	慶応4	4	1868	領内には触書を発して、取り締まりを厳しくし、村々を数か村ずつ組み合わせて組内を作り、頭領取締方を置いてさらに徹底させた。
222	2	今治藩	1 54	藩主久松定法、帰国出願	「久松定弘家記」	東京大学史料編纂所	慶応4	閏4.14	1868	
222	2	今治藩	1 55	軍船・蒸気船・帆船所持調、届出	「久松定弘家記」	東京大学史料編纂所	慶応4	5.8	1868	
223	2	今治藩	1 56 1	今治藩、甲府城警備を拜命	「今治拾遺」巻15	今治城管理事務所	慶応4	5.14	1868	今治藩兵三番隊は慶応四年五月に甲府城警衛の命を受けて進軍し、次いで江戸へ転進し、日光今市から会津追討にも従軍した。
223	2	今治藩	1 56 2	今治藩、甲府城警備を拜命	「西京役所御届書控」	今治史談会	慶応4	5.14	1868	今治藩兵三番隊は慶応四年五月に甲府城警衛の命を受けて進軍し、次いで江戸へ転進し、日光今市から会津追討にも従軍した。
223	2	今治藩	1 57	今治藩より徴兵、山下又三郎ら上京	「今治拾遺」巻15	今治城管理事務所	慶応4	5.28	1868	
224	2	今治藩	1 58 1	戊辰戦争 藩士木村滝三郎、会津追討従軍日記	「木村滝三郎日記」(国府叢書)	今治市 加藤セツ氏	慶応4	5.25	1868	今治藩兵三番隊は慶応四年五月に甲府城警衛の命を受けて進軍し、次いで江戸へ転進し、日光今市から会津追討にも従軍した。
227	2	今治藩	1 58 2	戊辰戦争 三番手隊、甲府城に向かい出発	「久松定弘家記」	今治史談会	慶応4	6.11	1868	今治藩兵三番隊は慶応四年五月に甲府城警衛の命を受けて進軍し、次いで江戸へ転進し、日光今市から会津追討にも従軍した。
228	2	今治藩	1 58 3 1	戊辰戦争 三番手隊、甲府城へ到着	「今治拾遺」巻15	今治城管理事務所	慶応4	7.2	1868	今治藩兵三番隊は慶応四年五月に甲府城警衛の命を受けて進軍し、次いで江戸へ転進し、日光今市から会津追討にも従軍した。

P	章	節	資料番号	出典	所蔵者	年	月	日	西暦	資料概観
228	2	今治藩	1 58 3 2	戊辰戦争 三番手隊、甲府城へ到着	「西京役所御届書控」	今治史談会	慶応4	7.2	1868	今治藩兵三番隊は慶応四年五月に甲府城警衛の命を受けて進軍し、次いで江戸へ転進し、日光今市から会津追討にも従軍した。
228	2	今治藩	1 58 4	戊辰戦争 新政府より金札四両拝借	「西京役所御届書控」	今治史談会	慶応4	7.12	1868	今治藩兵三番隊は慶応四年五月に甲府城警衛の命を受けて進軍し、次いで江戸へ転進し、日光今市から会津追討にも従軍した。
229	2	今治藩	1 58 5	戊辰戦争 今治藩兵ら日光警備を拝命	「鎮将府日誌」	今治史談会	慶応4	8.19	1868	今治藩兵三番隊は慶応四年五月に甲府城警衛の命を受けて進軍し、次いで江戸へ転進し、日光今市から会津追討にも従軍した。
229	2	今治藩	1 58 6	戊辰戦争 会津城進軍を拝命	「今治拾遺」巻15	今治城管理事務所	慶応4	8.21	1868	今治藩兵三番隊は慶応四年五月に甲府城警衛の命を受けて進軍し、次いで江戸へ転進し、日光今市から会津追討にも従軍した。
229	2	今治藩	1 58 7 1	戊辰戦争 藩兵、関山村(会津)で戦闘	「久松定弘家記」	今治史談会	慶応4	9.4	1868	今治藩兵三番隊は慶応四年五月に甲府城警衛の命を受けて進軍し、次いで江戸へ転進し、日光今市から会津追討にも従軍した。
229	2	今治藩	1 58 7 2	戊辰戦争 藩兵、関山村(会津)で戦闘	「奥平昌邁家記」	今治史談会	慶応4	9.4	1868	今治藩兵三番隊は慶応四年五月に甲府城警衛の命を受けて進軍し、次いで江戸へ転進し、日光今市から会津追討にも従軍した。
230	2	今治藩	1 58 8	戊辰戦争 藩兵、飯寺村(会津)で戦闘	「鎮将府日誌」	今治史談会	明治元	9.8	1868	今治藩兵三番隊は慶応四年五月に甲府城警衛の命を受けて進軍し、次いで江戸へ転進し、日光今市から会津追討にも従軍した。
230	2	今治藩	1 58 9	戊辰戦争 今治藩隊長戸塚求馬、会津若松の戦況を報告	「鎮将府日誌」	今治史談会	明治元	9	1868	今治藩兵三番隊は慶応四年五月に甲府城警衛の命を受けて進軍し、次いで江戸へ転進し、日光今市から会津追討にも従軍した。
231	2	今治藩	1 59	家老久松長世(堅物)、鎮将府へ出仕	「久松定弘家記」	東京大学史料編纂所	明治元	9.20	1868	
231	2	今治藩	1 60	兵制を英国式に改革	「今治拾遺」巻15	今治城管理事務所	明治元	10	1868	
231	2	今治藩	1 61	奥州出陣の慰労金など拝領	「西京役所御届書控」	今治史談会	明治元	11	1868	
232	2	今治藩	1 62	朝政一新につき職制を改革	「今治拾遺」巻15	今治城管理事務所	明治元	12.3	1868	中央政府の御一新に伴って再び職制改革が行われた。
233	2	今治藩	1 63	役所名改称、島方へも通達	「大浜村柳原家文書」	今治市 大浜八幡大神社	明治元	12.6	1868	
234	2	今治藩	1 64	財政窮乏につき二万七千両の拝借を出願	「西京役所御届書控」	今治史談会	明治2	1.17	1869	
234	2	今治藩	1 65	今治藩主久松定法、版籍奉還を上表	「今治拾遺」巻15	今治城管理事務所	明治2	2.7	1869	版籍が奉還されて藩主定法は知藩事となった。
234	2	今治藩	1 66	田畑売買につき布告	「浮穴家文書」	玉川町 浮穴峯俊氏	明治2	2	1869	領民に対しては職分を守って家業に精を出すこと、節儉に努め時勢の変化に動じぬよう命じた。
235	2	今治藩	1 67 1	久松家、家祭を神式に改め松源院を廃止	「松源院記録」	今治史談会	明治2	3.11	1869	
235	2	今治藩	1 67 2	久松家、家祭を神式に改め松源院を廃止	「今治拾遺」巻15	今治城管理事務所	明治2	3.11	1869	
236	2	今治藩	1 68 1	英国測量船、波方沖に碇泊	「今治拾遺」巻15	今治城管理事務所	明治2	3.17	1869	松平定法が英国船に乗り込んで医師の診察を受けた。
236	2	今治藩	1 68 2	英国測量船、波方沖に碇泊	「森家譜」	今治史談会	明治2	3.17	1869	松平定法が英国船に乗り込んで医師の診察を受けた。
236	2	今治藩	1 69	久松定法、東京へ出発	「今治拾遺」巻15	今治城管理事務所	明治2	3.27	1869	
236	2	今治藩	1 70	藩主(定法)参内、戊辰の役の慰労金拝領	「今治拾遺」巻15	今治城管理事務所	明治2	6.2	1869	
237	2	今治藩	1 71	久松定法、今治藩知事に任命	「今治拾遺」巻15	今治城管理事務所	明治2	6.20	1869	版籍が奉還されて藩主定法は知藩事となった。
237	2	今治藩	1 72	今治城内の大樹伐採、城郭破却	「今治拾遺」巻15	今治城管理事務所	明治2	10	1869	士卒の帰農や卒族の整理も進められ、ついには今治城の城郭も破却され、城内外の松なども伐採された。
237	2	今治藩	1 73	朝廷へ土族卒人数を報告	「今治拾遺」巻15	今治城管理事務所	明治2	10	1869	
237	2	今治藩	1 74	執政・参政の称を廃し、職員を更迭	「今治拾遺」巻15	今治城管理事務所	明治2	11.8	1869	役職では家老・用人は執政・参政となり、次いで大参事・少参事に改称されるとともに人員も削減されていった。
238	2	今治藩	1 75 1	藩政改革の主意告諭、藩庁官吏任命	「今治拾遺」巻15	今治城管理事務所	明治2	11.11	1869	役職では家老・用人は執政・参政となり、次いで大参事・少参事に改称されるとともに人員も削減されていった。
239	2	今治藩	1 75 2	藩政改革の主意告諭、藩庁官吏任命	「今治藩庁日誌」	今治史談会	明治2	11.11	1869	役職では家老・用人は執政・参政となり、次いで大参事・少参事に改称されるとともに人員も削減されていった。
241	2	今治藩	1 76	執政久松長世(堅物)を大参事に任命	「今治藩庁日誌」	今治史談会	明治2	12.7	1869	
242	2	今治藩	1 77	領内の庄屋を招集、郡中規則等布告	「大浜村柳原家文書」	今治市 大浜八幡大神社	明治2	12.12	1869	村役人層を集めてますます村内取り締まりを命じた。
242	2	今治藩	1 78 1	秩禄改定の主意を告諭	「今治藩庁日誌」	今治史談会	明治3	2.17	1870	秩禄も改定の度に減額された。
243	2	今治藩	1 78 2	秩禄改定の主意を告諭	「今治拾遺」巻15	今治城管理事務所	明治3	2.17	1870	秩禄も改定の度に減額された。
245	2	今治藩	1 79	卒の秩禄を改定	「今治拾遺」巻15	今治城管理事務所	明治3	2.20	1870	秩禄も改定の度に減額された。
246	2	今治藩	1 80	藩知事久松定法、宇摩郡を廻領	「今治拾遺」巻15	今治城管理事務所	明治3	4.4	1870	
247	2	今治藩	1 81 1	久松長世没し、久松修理、大参事就任	「今治藩庁日誌」	今治史談会	明治3	5.8	1870	
247	2	今治藩	1 81 2	久松長世没し、久松修理、大参事就任	「今治拾遺」巻15	今治城管理事務所	明治3	5.8	1870	
247	2	今治藩	1 81 3	久松長世没し、久松修理、大参事就任	「今治藩庁日誌」	今治史談会	明治3	5.8	1870	
247	2	今治藩	1 82	藩政館より土族の処遇につき布告	「今治拾遺」巻15	今治城管理事務所	明治3	5.15	1870	
248	2	今治藩	1 83	領民に職分を守り出精の旨を布告	「大浜村柳原家文書」	今治市 大浜八幡大神社	明治3	5.24	1870	領民に対しては職分を守って家業に精を出すこと、節儉に努め時勢の変化に動じぬよう命じた。
249	2	今治藩	1 84 1	金陵会議出席の少参事池上忠古自刃	「今治拾遺」巻15	今治城管理事務所	明治3	9.21	1870	
249	2	今治藩	1 84 2	金陵会議出席の少参事池上忠古自刃	「今治藩庁日誌」	今治史談会	明治3	9.21	1870	
249	2	今治藩	1 84 3	金陵会議出席の少参事池上忠古自刃	「玉井修興年譜」	今治史談会	明治3	9.21	1870	
249	2	今治藩	1 85 1	朝命により藩政を改革	「今治拾遺」巻15	今治城管理事務所	明治3	閏10.25	1870	
249	2	今治藩	1 85 2	朝命により藩政を改革	「今治藩政■革規則並職員令」	今治史談会	明治3	閏10.25	1870	
252	2	今治藩	1 86	兵制を仏式に改革	「今治拾遺」巻15	今治城管理事務所	明治3	閏10.25	1870	兵制改革では陸軍はフランス式となり、銃隊組織として常備兵・予備兵と二分し、兵員を減らした。
252	2	今治藩	1 87	藩政改革の概要を弁官へ上申	「今治拾遺」巻15	今治城管理事務所	明治3	閏10.25	1870	秩禄も改定の度に減額された。

P	章	節	資料番号	出典	所蔵者	年	月	日	西暦	資料概観
254	2	今治藩	1 88	今治藩、官禄・家禄を改革	「国府叢書」	今治市 加藤セツ氏	明治3	12.14	1870	秩禄も改定の度に減額された。
259	2	今治藩	1 89	海軍は英式、陸軍は仏式に兵制改革	「今治藩庁日誌」	今治史談会	明治4	4.28	1871	兵制改革では陸軍はフランス式となり、銃隊組織として常備兵・予備兵と二分し、兵員を減らした。
259	2	今治藩	1 90	廃藩置県につき、久松定法藩知事免官	「今治拾遺」巻15	今治城管理事務所	明治4	7.14	1871	廃藩置県によって知藩事定法も東京へ移住した。
260	2	今治藩	1 91	久松定法、東京移住につき、見送り心得など通達	「大浜村柳原家文書」	今治市 大浜八幡大神社	明治4	8.8	1871	廃藩置県によって知藩事定法も東京へ移住した。
261	2	今治藩	1 92	今治城兵器櫓焼失、死傷者七名	「今治藩庁日誌」	今治史談会	明治4	8.21	1871	
261	2	今治藩	1 93	久松定法、船頭町下浜より乗船、帰京	「今治拾遺」巻15	今治城管理事務所	明治4	9.14	1871	
262	2	今治藩	1 93	久松定法、船頭町下浜より乗船、帰京	「大浜村柳原家文書」	今治市 大浜八幡大神社	明治4	9.14	1871	
262	2	今治藩	1 94	士族一同に解藩令を示達	「今治藩庁日誌」	今治史談会	明治4	9.23	1871	明治四年九月には解藩令が藩士一同に示達されて家臣らも住みなれた屋敷を出なければならなかった。
262	2	今治藩	1 95	今治県、藩債を大蔵省へ報告	「藩債取調帳」	今治史談会	明治4	9	1871	今治県から石鏡県に至る明治四～五年は藩債の整理や旧藩有兵器の引き渡し、戸籍の作成や藩札と新貨との引き換え事務などにおわれた。
263	2	今治藩	1 96	分課取扱項目を大蔵省へ報告	「分課取扱箇条」	今治史談会	明治4	10	1871	
264	2	今治藩	1 97	石鏡県新県庁、今治移転につき布告	「大浜村柳原家文書」	今治市 大浜八幡大神社	明治5	2	1872	
264	2	今治藩	1 98	旧藩の兵器を大坂鎮台へ引渡し	「服部家譜」	今治史談会	明治5	3.17	1872	今治県から石鏡県に至る明治四～五年は藩債の整理や旧藩有兵器の引き渡し、戸籍の作成や藩札と新貨との引き換え事務などにおわれた。
265	2	今治藩	1 99	事務引継遅延の旧今治県へ石鏡県より諸事布達	「国府叢書」	今治市 加藤セツ氏	明治5	3.17	1872	
266	2	今治藩	1 99	事務引継遅延の旧今治県へ石鏡県より諸事布達	「大浜村柳原家文書」	今治市 大浜八幡大神社	明治5	3.17	1872	
268	2	今治藩	1 100	石鏡県、里正・組頭等廃止通達	「鈍川村庄屋森家文書」	広島県瀬戸田町 森佑三郎氏	明治5	6.10	1872	
268	2	今治藩	1 101	石鏡県、小区長の取締事務概略を通達	「大浜村柳原家文書」	今治市 大浜八幡大神社	明治5	7.3	1872	
268	2	今治藩	1 102	八大区戸長へ取扱事務などを布告	「大浜村柳原家文書」	今治市 大浜八幡大神社	明治5	7.7	1872	今治県から石鏡県に至る明治四～五年は藩債の整理や旧藩有兵器の引き渡し、戸籍の作成や藩札と新貨との引き換え事務などにおわれた。
269	2	今治藩	1 103	今治藩紀	「愛媛県史料41」	内閣文庫				
276	2	今治藩	2 104	越智郡木浦村古江塩田落成	「国府叢書」巻5	今治市 加藤セツ氏	文久元	12.15	1861	
276	2	今治藩	2 105	木綿を国産とし織元に精製・増産を指令	「国府叢書」巻5	今治市 加藤セツ氏	文久3	6	1863	最大の国産品であった木綿には、軍備費ねん出の一端として文久頃から特に力を入れ、領内全婦人に三か月に一反以上の織立を義務づけた。
276	2	今治藩	2 106	海岸防衛入費のため、木綿増産を布令	「大浜村柳原家文書」	今治市 大浜八幡大神社	文久3	7.29	1863	最大の国産品であった木綿には、軍備費ねん出の一端として文久頃から特に力を入れ、領内全婦人に三か月に一反以上の織立を義務づけた。
277	2	今治藩	2 107	榎実専売につき布告	「大浜村柳原家文書」	今治市 大浜八幡大神社	元治2	2.29	1865	榎・紙についても専売制を実施した。
278	2	今治藩	2 108	市中の徒党の取締り強化を命令	「今治藩武具方記録」	今治史談会	慶応2	11.1	1866	不穏の動きの厳しい取り締まり
278	2	今治藩	2 109	商家への乱暴停止・外出差控えを指令	「国府叢書」巻5	今治市 加藤セツ氏	慶応2	11	1866	商家への乱暴事件
278	2	今治藩	2 110	越智郡木浦村に御札が降り酒宴流行	「予州越智郡木浦村年代記」	伯方町 三島神社	慶応4	1.10	1868	ええじゃないか運動の波及
278	2	今治藩	2 111	庶政一新につき、博奕等の取締りを布告	「大浜村柳原家文書」	今治市 大浜八幡大神社	慶応4	4	1868	不穏の動きの厳しい取り締まり
279	2	今治藩	2 112	船賃・水主賃銭等改正	「大浜村柳原家文書」	今治市 大浜八幡大神社	慶応4	閏4	1868	
280	2	今治藩	2 113	産業資金として四千両拝借	「西京役所御届書控」	今治史談会	明治元	10.22	1868	
280	2	今治藩	2 114	灯台築造地選定のため、英国人技師来藩の通知	「久松定家私記」	東京大学史料編纂所	明治元	10.28	1868	
281	2	今治藩	2 115	来島海峡測量の英国人、越智郡鈍川村で狩猟	「鈍川村庄屋森家文書」	広島県瀬戸田町 森佑三郎氏	明治2	3.19	1869	英国人、南京人と共に越智郡鈍川村で鹿狩りを楽しんだりする。
282	2	今治藩	2 116	領内の小社を取除き、社木を入札	「大浜村柳原家文書」	今治市 大浜八幡大神社	明治3	6	1870	
283	2	今治藩	2 117	柔術の二派合一を布告	「今治藩庁日誌」	今治史談会	明治2	11.27	1870	
283	2	今治藩	2 118	飢扶持受給の者へ渡世心得布告	「大浜村柳原家文書」	今治市 大浜八幡大神社	明治3	3.18	1870	
283	2	今治藩	2 119	士族郷居につき布告	「今治藩庁日誌」	今治史談会	明治3	6.17	1870	
284	2	今治藩	2 120	木綿製織の丈幅につき注意	「大浜村柳原家文書」	今治市 大浜八幡大神社	明治3	11.29	1870	木綿は丈幅を一定とし、国産役所で藩印を押し、藩有船によって大坂へ出荷した。
284	2	今治藩	2 121	漁法および漁区遵守につき布告	「大浜村柳原家文書」	今治市 大浜八幡大神社	明治4	2.17	1871	漁業は従来の釣り漁業保護の方針を改めて、漁獲増のため網漁を増したため、漁業紛争が数多く起こった。
284	2	今治藩	2 122	松山県、郷社守礼・養老米・盲人の官職などにつき布告	「大浜村柳原家文書」	今治市 大浜八幡大神社	明治4	11	1871	
285	2	今治藩	2 123	旧今治藩藩札の新貨交換価値を布告	「大浜村柳原家文書」	今治市 大浜八幡大神社	明治5	6	1872	今治県から石鏡県に至る明治四～五年は藩債の整理や旧藩有兵器の引き渡し、戸籍の作成や藩札と新貨との引き換え事務などにおわれた。
286	2	今治藩	3 124	大地震により今治城郭所々破損	「今治拾遺」巻15	今治城管理事務所	嘉永7	11.5	1854	嘉永七年の地震
286	2	今治藩	3 125	大地震につき寺社に祈禱命	「国府叢書」巻4	今治市 加藤セツ氏	嘉永7	11	1854	嘉永七年の地震
286	2	今治藩	3 126	郡奉行出張し浮塵子狩り実施	「国府叢書」巻4	今治市 加藤セツ氏	安政5	9.10	1858	
286	2	今治藩	3 127	コレラ流行につき各所で送り祈禱	「予州越智郡木浦村年代記」	伯方町 三島神社	安政5	9	1858	安政五年のコレラ流行
286	2	今治藩	3 128	郷方細民の町方での飯米買入を庄屋の証明により許可	「国府叢書」巻4	今治市 加藤セツ氏	万延2	1	1861	
287	2	今治藩	3 129	島方村々の窮民を助救の旨通達	「国府叢書」巻4	今治市 加藤セツ氏	万延2	10	1861	
287	2	今治藩	3 130	悪病流行により嚴敷八幡で祈禱	「大浜村柳原家文書」	今治市 大浜八幡大神社	文久2	8.27	1862	文久二年のコレラ流行
287	2	今治藩	3 131	数十年來の凶作につき藁を食用	「国府叢書」巻5	今治市 加藤セツ氏	明治2		1869	明治二、三年の凶作による飢饉では、藩は粥の炊き出しをして救助したが、細民は麦糠や藁まで食し、他郷に袖乞に出かける者も多かった。
287	2	今治藩	3 132	飢饉につき粥を給し、袖乞を禁止	「大浜村柳原家文書」	今治市 大浜八幡大神社	明治3	2.8	1870	明治二、三年の凶作による飢饉では、藩は粥の炊き出しをして救助したが、細民は麦糠や藁まで食し、他郷に袖乞に出かける者も多かった。
289	3	小松藩	1	異国船浦賀渡来につき国元へ伝達	「小松藩会所日記」	小松町立温芳図書館	嘉永6	6.28	1853	嘉永六年のペリー来航の知らせは早速国元に伝えられたが、国元でもその後の情報収集に当たった。

P	章	節	資料番号	出典	所蔵者	年	月	日	西暦	資料概観
289	3	小松藩	2	一柳頼紹、外交政策につき幕府へ答申	「邊蠻彙議」	東京大学史料編纂所	嘉永6	9.16	1853	黒船渡来に関する幕府からの諮問に対しては、「通商之儀ハ今日断然許容無御座」との意見を答申した。
290	3	小松藩	3	領内旱損不作調査	「小松藩会所日記」	小松町立温芳図書館	嘉永6	10.30	1853	
291	3	小松藩	4	異国船渡来時の出陣割	「小松藩会所日記」	小松町立温芳図書館	嘉永6	12.19	1853	非常時における藩士の出陣割、領内の鉄砲調査など、開国及び政局の混乱の中で、藩の全力を挙げて防備の強化を図っている状況を知ることができる。
293	3	小松藩	5	村方より夷狄退撫祈禱のため上京願	「小松藩会所日記」	小松町立温芳図書館	嘉永7	1.23	1854	非常時における藩士の出陣割、領内の鉄砲調査など、開国及び政局の混乱の中で、藩の全力を挙げて防備の強化を図っている状況を知ることができる。
294	3	小松藩	6	異国船渡来、非常時につき町方より献金出願	「小松藩会所日記」	小松町立温芳図書館	嘉永7	3.14	1854	非常時における藩士の出陣割、領内の鉄砲調査など、開国及び政局の混乱の中で、藩の全力を挙げて防備の強化を図っている状況を知ることができる。
296	3	小松藩	7	異国船接近に備え近海防衛下検分	「小松藩会所日記」	小松町立温芳図書館	嘉永7	4.29	1854	非常時における藩士の出陣割、領内の鉄砲調査など、開国及び政局の混乱の中で、藩の全力を挙げて防備の強化を図っている状況を知ることができる。
296	3	小松藩	8	異国船近海接近時の出張人数・役割につき布告	「小松藩会所日記」	小松町立温芳図書館	嘉永7	7.13	1854	非常時における藩士の出陣割、領内の鉄砲調査など、開国及び政局の混乱の中で、藩の全力を挙げて防備の強化を図っている状況を知ることができる。
297	3	小松藩	9	領内の鉄砲数調査	「小松藩会所日記」	小松町立温芳図書館	嘉永7	7.30	1854	非常時における藩士の出陣割、領内の鉄砲調査など、開国及び政局の混乱の中で、藩の全力を挙げて防備の強化を図っている状況を知ることができる。
298	3	小松藩	10	高島流ホーイッスル砲鑄造遅延	「小松藩会所日記」	小松町立温芳図書館	嘉永7	9.28	1854	非常時における藩士の出陣割、領内の鉄砲調査など、開国及び政局の混乱の中で、藩の全力を挙げて防備の強化を図っている状況を知ることができる。
299	3	小松藩	11	大地震により小松陣屋内外破損	「小松藩会所日記」	小松町立温芳図書館	嘉永7	11.5	1854	嘉永七年の南海道における大地震(安政大地震)は、藩内にも多大の被害を及ぼした。
300	3	小松藩	12	領内大地震被害状況	「小松藩会所日記」	小松町立温芳図書館	嘉永7	11.8	1854	嘉永七年の南海道における大地震(安政大地震)は、藩内にも多大の被害を及ぼした。
304	3	小松藩	13	西洋流鉄砲、大坂より入手	「小松藩会所日記」	小松町立温芳図書館	安政2	1.11	1855	非常時における藩士の出陣割、領内の鉄砲調査など、開国及び政局の混乱の中で、藩の全力を挙げて防備の強化を図っている状況を知ることができる。
305	3	小松藩	14	西洋流大筒試射	「小松藩会所日記」	小松町立温芳図書館	安政2	5.6	1855	非常時における藩士の出陣割、領内の鉄砲調査など、開国及び政局の混乱の中で、藩の全力を挙げて防備の強化を図っている状況を知ることができる。
305	3	小松藩	15	海岸防衛のため、寺院の梵鐘有無調査	「小松藩会所日記」	小松町立温芳図書館	安政2	5.7	1855	非常時における藩士の出陣割、領内の鉄砲調査など、開国及び政局の混乱の中で、藩の全力を挙げて防備の強化を図っている状況を知ることができる。
305	3	小松藩	16	地震被害の冲手石垣普請入用	「小松藩会所日記」	小松町立温芳図書館	安政2	9.30	1855	
305	3	小松藩	17	固粉五百石を示達	「小松藩会所日記」	小松町立温芳図書館	安政2	10.6	1855	
306	3	小松藩	18	御用船造営につき入札	「小松藩会所日記」	小松町立温芳図書館	安政2	10.29	1855	
306	3	小松藩	19	参府旅中役割	「小松藩会所日記」	小松町立温芳図書館	安政3	2.16	1856	
307	3	小松藩	20	紙一条規定覚	「小松藩会所日記」	小松町立温芳図書館	安政3	6.26	1856	
308	3	小松藩	21	領内に大地震	「小松藩会所日記」	小松町立温芳図書館	安政4	8.25	1857	
308	3	小松藩	22	大山祇神社へ「清良記」返却の件	「小松藩会所日記」	小松町立温芳図書館	安政6	5.16	1859	
308	3	小松藩	23	コレラ流行につき病人数調査	「小松藩会所日記」	小松町立温芳図書館	安政6	8.28	1859	安政六年のコレラ大流行は、藩内に大きな被害をもたらした。
308	3	小松藩	24	コレラによる死亡人数調査	「小松藩会所日記」	小松町立温芳図書館	安政6	10.28	1859	安政六年のコレラ大流行は、藩内に大きな被害をもたらした。
311	3	小松藩	25	周布郡村々、難波につき、救助米を出願	「小松藩会所日記」	小松町立温芳図書館	文久元	2.20	1861	
313	3	小松藩	26	町方の非常手当米銭高調査	「小松藩会所日記」	小松町立温芳図書館	文久2	閏8.6	1862	
313	3	小松藩	27	海岸風波の節、防ぎ方心得布達	「小松藩会所日記」	小松町立温芳図書館	文久2	9.17	1862	
314	3	小松藩	28	非常出陣の際の役割通達	「小松藩会所日記」	小松町立温芳図書館	文久3	8.11	1863	非常時における藩士の出陣割、領内の鉄砲調査など、開国及び政局の混乱の中で、藩の全力を挙げて防備の強化を図っている状況を知ることができる。
316	3	小松藩	29	1 田岡表蔵、倅俊三郎の勤当出願	「小松藩会所日記」	小松町立温芳図書館	文久3	11.5	1863	藩士田岡俊三郎は、禁門の裏において長州軍の一員として戦死した。
316	3	小松藩	29	2 田岡表蔵、倅俊三郎の勤当出願	「田岡俊三郎君遺事略記」	伊予史談会	文久3	11.5	1863	藩士田岡俊三郎は、禁門の裏において長州軍の一員として戦死した。
317	3	小松藩	30	鉄砲手馴れの者へ鉄砲貸出	「小松藩会所日記」	小松町立温芳図書館	元治2	2.13	1865	非常時における藩士の出陣割、領内の鉄砲調査など、開国及び政局の混乱の中で、藩の全力を挙げて防備の強化を図っている状況を知ることができる。
318	3	小松藩	31	銭札場移転、百目札など発行	「小松藩会所日記」	小松町立温芳図書館	元治2	3.21	1865	
318	3	小松藩	32	会所詰方につき示達	「小松藩会所日記」	小松町立温芳図書館	慶応元	4.7	1865	
319	3	小松藩	33	家中衣服取締り示達	「小松藩会所日記」	小松町立温芳図書館	慶応元	閏5.25	1865	
319	3	小松藩	34	米価高騰につき他所売り禁止	「小松藩会所日記」	小松町立温芳図書館	慶応2	3.25	1866	
320	3	小松藩	35	長州征伐につき領内要路警固を通達	「小松藩会所日記」	小松町立温芳図書館	慶応2	6.9	1866	長州征伐に際して、小松藩は出兵の命を受けなかったが、幕府より領内警固を厳重にすることを命じられた。
320	3	小松藩	36	長州征伐、藩兵兵糧等の申合せ	「小松藩会所日記」	小松町立温芳図書館	慶応2	6.14	1866	兵糧運送に際して他藩との申し合わせを行った。
320	3	小松藩	37	藩主一柳頼紹、病氣につき上京猶予を出願	「一柳頼明家記」	東京大学史料編纂所	慶応3	11.16	1867	
320	3	小松藩	38	徳川慶喜追討につき、忠戦を尽くすべきこと拝命	「一柳頼明家記」	東京大学史料編纂所	慶応4	2.4	1868	戊辰戦争に際しては、藩主一柳頼紹病中のため嗣子弦次郎を名代として上京させ、藩兵の参加を願い出た。
321	3	小松藩	39	東征軍に小松藩兵参加の嘆願	「一柳頼明家記」	東京大学史料編纂所	慶応4	3.3	1868	戊辰戦争に際しては、藩主一柳頼紹病中のため嗣子弦次郎を名代として上京させ、藩兵の参加を願い出た。
321	3	小松藩	40	一柳頼紹の家族ら江戸引払い届出	「一柳頼明家記」	東京大学史料編纂所	慶応4	4	1868	
322	3	小松藩	41	藩主の嫡子・庶子名届出	「一柳頼明家記」	東京大学史料編纂所	慶応4	5.20	1868	
322	3	小松藩	42	一柳頼紹、版籍奉還上表	「公文録 版籍奉還之部」	国立公文書館	明治2	2.8	1869	

P	章	節	資料番号	出典	所蔵者	年	月	日	西暦	資料概観
323	3	小松藩	43	一柳頼紹、小松藩知事拜命	「公文録 版籍奉還之部」	国立公文書館	明治2	6.24	1869	
323	3	小松藩	44	弁官へ風雨被害状況届出	「明治三年午諸記録」	小松町立温芳図書館	明治3	9.21	1870	
323	3	小松藩	45	軍資金献上猶予を出願	「明治三年午諸記録」	小松町立温芳図書館	明治3	9.30	1870	
324	3	小松藩	46	権大参事一柳寿静、焔藩につき届出	「明治三年午諸記録」	小松町立温芳図書館	明治3	10.23	1870	
324	3	小松藩	47	貢進生の人選遅延、届出猶予を出願	「明治三年午諸記録」	小松町立温芳図書館	明治3	10.25	1870	
325	3	小松藩	48	海軍資金上納の覚	「諸願伺届書控」	小松町立温芳図書館	明治4	1.30	1871	
325	3	小松藩	49	黒田重繩、小松藩権大参事就任届出	「小松藩官省進達留」	愛媛県立図書館	明治4	2.23	1871	
325	3	小松藩	50	藩知事家族の藩地滞留を出願	「小松藩官省進達留」	愛媛県立図書館	明治4	2.23	1871	
326	3	小松藩	51	各種の藩札を大蔵省へ提出	「諸願伺届書控」	小松町立温芳図書館	明治4	3.29	1871	
326	3	小松藩	52	一柳頼明、家督明細書提出	「小松藩官省進達留」	愛媛県立図書館	明治4	6.2	1871	
326	3	小松藩	53	壬申戸籍編成につき戸籍調査の件	「小松藩布告留」	愛媛県立図書館	明治4	6.17	1871	
327	3	小松藩	54	竊問使青山操の小松県権大風復帰願出	「諸願伺届書控」	小松町立温芳図書館	明治4	8	1871	
327	3	小松藩	55	大蔵省へ紙幣製造器械を納入	「諸願伺届書控」	小松町立温芳図書館	明治4	11.7	1871	
327	3	小松藩	56	委任官の姓名年令等届出	「小松藩官省進達留」	愛媛県立図書館	明治4	11.8	1871	廃藩置県直後の小松県の陣容を知ることができる。
327	3	小松藩	57	元小松県の兵員・兵器数および軍資金高届出	「小松藩官省進達留」	愛媛県立図書館	明治4	12	1871	
328	3	小松藩	58	明治四年時士族家禄高	「明治四年禄高帳」	愛媛県立図書館				
329	3	小松藩	59	小松藩紀	「愛媛県史料41」	内閣文庫				
335	3	小松藩		参考 士族卒禄高表(明治4年9月)	明治四年小松藩卒禄高表(愛媛県立図書館蔵)より作成					
339	4	西条藩	1	大筒町打につき通達	「嘉永六年諸御用留帳」	西条市 近藤勝志氏	嘉永6	5.8	1853	国元においては、内外情勢の緊迫に対応する動きがみられた。
339	4	西条藩	2	藩主松平頼学、外交政策につき幕府へ答申	「邊壺叢議」	東京大学史料編纂所	嘉永6	8.27	1853	幕府よりの外交政策諮問に対し、藩主松平頼学が領国の順守と武備の充実を内容とする意見書を提出した。
340	4	西条藩	3	西条領漁師、安芸国能地の漁師と争論	「小松藩会所日記」	小松町立温芳図書館	嘉永6	9.6	1853	
341	4	西条藩	4	硝石製造用土の採取につき通達	「嘉永六年諸御用留帳」	西条市 近藤勝志氏	嘉永6	11.13	1853	国元においては、内外情勢の緊迫に対応する動きがみられた。
341	4	西条藩	5	鉄砲所持者数調査	「嘉永六年諸御用留帳」	西条市 近藤勝志氏	嘉永6	11	1853	国元においては、内外情勢の緊迫に対応する動きがみられた。
342	4	西条藩	6	時節柄武備第一につき儉約励行	「嘉永七年諸御用留帳」	西条市 近藤勝志氏	嘉永7	2.25	1854	国元においては、内外情勢の緊迫に対応する動きがみられた。
345	4	西条藩	7	村方より鉄砲・焔硝献上願出、許可	「嘉永七年諸御用留帳」	西条市 近藤勝志氏	嘉永7	2	1854	国元においては、内外情勢の緊迫に対応する動きがみられた。
345	4	西条藩	8	訓練時の諸世話方を指名	「嘉永七年諸御用留帳」	西条市 近藤勝志氏	嘉永7	3.7	1854	国元においては、内外情勢の緊迫に対応する動きがみられた。
345	4	西条藩	9	異国船渡来の節、村方出動志願	「嘉永七年諸御用留帳」	西条市 近藤勝志氏	嘉永7	2	1854	国元においては、内外情勢の緊迫に対応する動きがみられた。
346	4	西条藩	10	村方より鉄砲献上申出	「嘉永七年諸御用留帳」	西条市 近藤勝志氏	嘉永7	3	1854	国元においては、内外情勢の緊迫に対応する動きがみられた。
346	4	西条藩	11	村方戸口出稼など取締り強化通達	「嘉永七年諸御用留帳」	西条市 近藤勝志氏	嘉永7	7.18	1854	国元においては、内外情勢の緊迫に対応する動きがみられた。
347	4	西条藩	12	大地震被害報告	「安政四年諸御用留帳」	西条市 近藤勝志氏	安政4	8.27	1857	
347	4	西条藩	13	松山侯通行の節、往来筋村々心得	「安政五年諸御用留帳」	西条市 近藤勝志氏	安政5	2.10	1858	
348	4	西条藩	14	竹札幌につき取引制限通達	「安政六年諸御用留帳」	西条市 近藤勝志氏	安政6	5.28	1859	
349	4	西条藩	15	妻作不熟につき儉約心得を布告	「安政七年諸御用留帳」	西条市 近藤勝志氏	万延元	5.18	1860	
349	4	西条藩	16	凶作につき、儉約心得並びに米価基準を示達	「安政七年諸御用留帳」	西条市 近藤勝志氏	万延元	5.25	1860	
350	4	西条藩	17	藩主松平頼英入部時、進物等遠慮の旨通達	「文久三年諸御用留帳」	西条市 近藤勝志氏	文久3	4.17	1863	藩主松平頼英は、三浦五助ら攘夷派の希望を入れ、文久三年入国した。
351	4	西条藩	18	諸事多端の折柄、領内静謐の松平頼英直書写	「文久三年諸御用留帳」	西条市 近藤勝志氏	文久3	7	1863	三浦らの望んだ定府をやめることについては、西条藩が特別の家柄であることを理由として認めなかった。
352	4	西条藩	19	西条藩重役解任につき復職嘆願	「文久三年諸御用留帳」	西条市 近藤勝志氏	文久3	9	1863	
353	4	西条藩	20	長州征伐、軍馬飼料調達を指令	「慶応二年諸御用留帳」	西条市 近藤勝志氏	慶応2	1.14	1866	長州出兵に際しての国元での動きを示すもの
353	4	西条藩	21	長州征伐につき、村内の見廻りを強化	「慶応二年諸御用留帳」	西条市 近藤勝志氏	慶応2	6.13	1866	長州出兵に際しての国元での動きを示すもの
353	4	西条藩	22	長州征伐につき、海岸取締りを通達	「慶応二年諸御用留帳」	西条市 近藤勝志氏	慶応2	6.14	1866	長州出兵に際しての国元での動きを示すもの
354	4	西条藩	23	芸州行の畑夫割当および手当料通達	「慶応二年諸御用留帳」	西条市 近藤勝志氏	慶応2	6.23	1866	長州出兵に際しての国元での動きを示すもの
355	4	西条藩	24	諸藩所の日中巡回を中止	「慶応二年諸御用留帳」	西条市 近藤勝志氏	慶応2	7.7	1866	
355	4	西条藩	25	藩主名代片野長左衛門参内し、朝政一新の主意拝聴	「松平頼英家記」	東京大学史料編纂所	慶応3	10.22	1867	西条藩は、藩主名代として家老片野長左衛門を上洛させた。
357	4	西条藩	26	土佐藩兵の西条領内通行、許可通達	「慶応四年諸御用留帳」	西条市 近藤勝志氏	慶応4	1.15	1868	
358	4	西条藩	27	進撃隊士出張時、家族扶持を通達	「慶応四年諸御用留帳」	西条市 近藤勝志氏	慶応4	1.16	1868	
358	4	西条藩	28	鳥羽・伏見の戦端開始につき、漸次謹慎の通達	「慶応四年諸御用留帳」	西条市 近藤勝志氏	慶応4	1.21	1868	
358	4	西条藩	29	借入金未納者へ皆納を督促	「慶応四年諸御用留帳」	西条市 近藤勝志氏	慶応4	2.15	1868	維新の政治的変更に伴う庶民統制に関するもの
359	4	西条藩	30	土佐藩預り村々との親和を布告	「慶応四年諸御用留帳」	西条市 近藤勝志氏	慶応4	2.18	1868	
359	4	西条藩	31	二条城北猪熊口柵門警衛拜命	「松平頼英家記」	東京大学史料編纂所	慶応4	3.23	1868	京都二条城北猪熊口柵門警備を拜命、藩主頼英も上京した。
360	4	西条藩	32	西条藩在府者の国元移住遅延	「松平頼英家記」	東京大学史料編纂所	慶応4	4.12	1868	成立間もない維新政府は、諸藩の江戸詰藩士の帰国を命令した。定府であるため江戸詰藩士を多く持つ西条藩では、国元の受け入れ態勢も充分ではなく、帰国ははかどらなかった。
361	4	西条藩	33	藩主松平頼英、太政官へ履歴提出	「松平頼英家記」	東京大学史料編纂所	慶応4	4	1868	
361	4	西条藩	34	西条藩の京内警固罷免	「松平頼英家記」	東京大学史料編纂所	慶応4	閏4.2	1868	京都二条城北猪熊口柵門警備を拜命、藩主頼英も上京した。
362	4	西条藩	35	家中人数を宗家(紀州徳川家)へ届出	「松平頼英家記」	東京大学史料編纂所	慶応4	閏4.11	1868	家中人数の届け出が和歌山藩を通じて行われており、和歌山・西条両藩が通常の自家・分家関係以上の緊密な関係にあったことがわかる。
362	4	西条藩	36	家中の兵隊人数届出	「松平頼英家記」	東京大学史料編纂所	慶応4	5.12	1868	

P	章	節	資料番号	出典	所蔵者	年	月	日	西暦	資料概観
362	4	西条藩	37	庶政一新につき、衣服華美等の戒め	「慶応四年諸御用留帳」	西条市 近藤勝志氏	慶応4	5.13	1868	維新の政治的改変に伴う庶民統制に関するもの 華美を禁ずるもの
363	4	西条藩	38	松平頼英、帰国を一時留保	「松平頼英家記」	東京大学史料編纂所	慶応4	5.25	1868	
363	4	西条藩	39	庶政一新につき在中諸取扱いを改革	「慶応四年諸御用留帳」	西条市 近藤勝志氏	慶応4	5	1868	維新の政治的改変に伴う庶民統制に関するもの 在中取り扱いについての詳細な規定
365	4	西条藩	40	松平頼英帰国につき、郷中心得通達	「慶応四年諸御用留帳」	西条市 近藤勝志氏	慶応4	6.4	1868	維新の政治的改変に伴う庶民統制に関するもの
366	4	西条藩	41	松平頼英・同母、帰国願提出	「松平頼英家記」	東京大学史料編纂所	慶応4	6.13	1868	
367	4	西条藩	42	天皇、東京到着につき、天機伺	「松平頼英家記」	東京大学史料編纂所	明治元	10.14	1868	
367	4	西条藩	43	藩主松平頼英、版籍奉還を上表	「公文録 版籍奉還之部」	国立公文書館	明治2	4.17	1869	頼英は明治二年版籍を奉還し、知藩事に任命された。
368	4	西条藩	44	松平頼英、西条藩知事拝命	「公文録 版籍奉還之部」	国立公文書館	明治2	6.20	1869	頼英は明治二年版籍を奉還し、知藩事に任命された。
368	4	西条藩	44	参考 西条藩官吏一覧(明治二・三年時)	「官吏履歴 旧西条藩」(愛媛県立図書館蔵)より作成					藩の職制及び軍制についての内容をうかがうことができる。
375	4	西条藩	45	村方諸入用の取扱いにつき通達	「明治四年諸御用留帳」	西条市 近藤勝志氏	明治4	4.12	1871	維新の政治的改変に伴う庶民統制に関するもの
377	4	西条藩	46	献金未納者へ皆納を督促	「明治四年諸御用留帳」	西条市 近藤勝志氏	明治4	4	1871	維新の政治的改変に伴う庶民統制に関するもの
377	4	西条藩	47	櫛・栗など軍艦用材伐採禁止を布告	「明治四年諸御用留帳」	西条市 近藤勝志氏	明治4	6.10	1871	維新の政治的改変に伴う庶民統制に関するもの
378	4	西条藩	48	組頭・郡手代等の再置を出願	「明治四年諸御用留帳」	西条市 近藤勝志氏	明治4	9	1871	維新の政治的改変に伴う庶民統制に関するもの
380	4	西条藩	49	幕末期諸役員職務の概要	「治藩の餘波」	西条市 久門範政氏				幕末期における藩の職制を示すもの。藩制全般を網羅して、各役職ごとの職務内容を具体的に知ることができる。
385	4	西条藩	50	西条藩紀	「愛媛県史料41」	内閣文庫				
393	5	天領	1	海防献金、幕領各村へ割当て覚	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	嘉永6	9	1853	異国船の接近に伴う領内警戒防衛策は他領同様、台場構築などを軸に進められた。
394	5	天領	2	川之江村海岸台場用掛任命	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	安政2	5.6	1855	異国船の接近に伴う領内警戒防衛策は他領同様、台場構築などを軸に進められた。
394	5	天領	3	村々へ海防心得を布達	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	文久3	9.7	1863	異国船の接近に伴う領内警戒防衛策は他領同様、非常時心得の通達などを軸に進められた。
397	5	天領	4	海岸防御のため村々へ撰夫割当	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	文久3	10	1863	異国船の接近に伴う領内警戒防衛策は他領同様、武備拡充などを軸に進められた。
397	5	天領	5	硝石採取許可の件、村役人へ通達	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	文久3	10.4	1863	異国船の接近に伴う領内警戒防衛策は他領同様、武備拡充などを軸に進められた。
398	5	天領	6	浪人者の領内徘徊警戒指令	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	文久3	10.29	1863	異国船の接近に伴う領内警戒防衛策は他領同様、非常時心得の通達などを軸に進められた。
398	5	天領	7	川之江陣屋武装仕構見積書	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	文久3	10	1863	異国船の接近に伴う領内警戒防衛策は他領同様、武備拡充などを軸に進められた。
398	5	天領	8	川之江大庄屋に砲台構築場所を諮問	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	文久3	11.24	1863	異国船の接近に伴う領内警戒防衛策は他領同様、台場構築などを軸に進められた。
399	5	天領	9	異国船渡来の際の防衛心得を布達	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	文久4	4.2	1864	異国船の接近に伴う領内警戒防衛策は他領同様、非常時心得の通達などを軸に進められた。
399	5	天領	10	天領二郡へ葵紋付の軍旗を下付	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	元治元	6.20	1864	
400	5	天領	11	宇摩・新居郡村々に非常時心得を通達	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	元治元	7.30	1864	非常時体制は長州征伐に際して強化され、祭礼時の俄狂言や若者組の禁止を通して緊迫感を高めた。
401	5	天領	12	越智・桑村郡村々へ非常時心得示達	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	元治元	8	1864	非常時体制は長州征伐に際して強化され、祭礼時の俄狂言や若者組の禁止を通して緊迫感を高めた。
403	5	天領	13	祭礼時の俄狂言など禁止通達	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	元治元	8.3	1864	非常時体制は長州征伐に際して強化され、祭礼時の俄狂言や若者組の禁止を通して緊迫感を高めた。
403	5	天領	14	宇摩・新居郡村々の若者組禁止布令	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	元治元	8.6	1864	非常時体制は長州征伐に際して強化され、祭礼時の俄狂言や若者組の禁止を通して緊迫感を高めた。
404	5	天領	15	天領内庄屋など集会、長州出兵につき申合せ	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	元治元	8.17	1864	非常時体制は長州征伐に際して強化され、祭礼時の俄狂言や若者組の禁止を通して緊迫感を高めた。
405	5	天領	16	松山藩主へ武運長久の守礼を献上	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	元治元	8.27	1864	非常時体制は長州征伐に際して強化され、祭礼時の俄狂言や若者組の禁止を通して緊迫感を高めた。
405	5	天領	17	領内の平庄屋に苗字帯刀を許可	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	元治元	8	1864	
406	5	天領	18	領内村々に非常時手配案を示達	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	元治元	8	1864	非常時体制は長州征伐に際して強化され、祭礼時の俄狂言や若者組の禁止を通して緊迫感を高めた。
408	5	天領	19	村々役人へ村治心得を告諭	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	元治元	8	1864	非常時体制は長州征伐に際して強化され、祭礼時の俄狂言や若者組の禁止を通して緊迫感を高めた。
410	5	天領	20	長州征伐派遣幕府軍目付の領内上陸時応援心得を通達	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	元治元	9.29	1864	
411	5	天領	21	長州派遣の郷友、忠心尽力の誓紙提出	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	元治元	9	1864	非常時体制は長州征伐に際して強化され、祭礼時の俄狂言や若者組の禁止を通して緊迫感を高めた。
412	5	天領	22	長州征伐凱旋につき褒賞金を下付	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	元治2	3.29	1865	
414	5	天領	23	領内異変の際の心得を通達	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	慶応元	5.6	1865	
414	5	天領	24	住友、松山藩主へ御用銀調達	「垂裕明鑑 巻之23」	神戸市 住友修史室	慶応元	5	1865	住友から農民町人にいたるまで軍費を献納させた。幕末期における軍用金献納
414	5	天領	25	將軍の長州再征進発を領内に通達	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	慶応元	閏5.9	1865	
415	5	天領	26	第二次長州征伐の軍費献納を指令	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	慶応元	閏5.22	1865	住友から農民町人にいたるまで軍費を献納させた。
418	5	天領	27	長州征伐につき、祭礼心得を通達	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	慶応元	7.25	1865	
419	5	天領	28	長州征伐につき別子銅山詰合中へ献金を指令	「垂裕明鑑 巻之23」	神戸市 住友修史室	慶応元	9	1865	住友から農民町人にいたるまで軍費を献納させた。
419	5	天領	29	領内村々及び別子銅山方に献金の褒賞を下付	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	慶応元	10.9	1865	住友から農民町人にいたるまで軍費を献納させた。
420	5	天領	30	長州征伐派遣幕府軍目付の上陸時の応援心得を通達	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	慶応元	11.24	1865	
421	5	天領	31	松山藩川之江陣屋警備の役人派遣を通達	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	慶応2	5.18	1866	
422	5	天領	32	川之江村に民兵銃隊を編成	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	慶応2	6.24	1866	陣屋警備増強を進め、慶応二年六月川之江村に編成した民兵銃隊は翌年宇摩郡内に拡大された。
424	5	天領	33	物価騰貴による騒動防止方布告	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	慶応2	7.26	1866	
424	5	天領	34	銅山買受米減少につき、住友より増石を嘆願	「垂裕明鑑 巻之23」	神戸市 住友修史室	慶応2	8	1866	住友で稼いだ米の飯米を確保するため嘆願を繰り返して、慶応三年一月、買受米の一部が復活された。
425	5	天領	35	宇摩郡諸村の銃隊、砲術稽古実施	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	慶応2	10.16	1866	陣屋警備増強を進め、慶応二年六月川之江村に編成した民兵銃隊は翌年宇摩郡内に拡大された。
426	5	天領	36	銃隊規則布令	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	慶応3	2	1867	陣屋警備増強を進め、慶応二年六月川之江村に編成した民兵銃隊は翌年宇摩郡内に拡大された。
426	5	天領	37	西洋流銃隊訓練規則改正布達	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	慶応3	8.1	1867	陣屋警備増強を進め、慶応二年六月川之江村に編成した民兵銃隊は翌年宇摩郡内に拡大された。
427	5	天領	38	宇摩郡内庄屋・百姓による銃隊編成	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	慶応3	8	1867	陣屋警備増強を進め、慶応二年六月川之江村に編成した民兵銃隊は翌年宇摩郡内に拡大された。
428	5	天領	39	住友、長州征伐御用金献納を受諾	「垂裕明鑑 巻之23」	神戸市 住友修史室	慶応3	8	1867	住友から農民町人にいたるまで軍費を献納させた。
428	5	天領	40	川之江村にええじやないか踊り	長野家文書「希賢堂日記」	川之江市立郷土館	慶応4	1.1	1868	
428	5	天領	41	土佐藩へ天領征討・没収の布告	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	慶応4	1.11	1868	長州征伐の敗北により慶応四年一月、土佐藩へ天領征討・没収が下命された。

P	章	節	資料番号	出典	所蔵者	年	月日	西暦	資料概観	
429	5	天領	42	土佐藩迅衝隊、川之江着陣		「復古外記」伏水口戦記3	慶応4	1.16	1868	土佐藩兵が進駐した。
430	5	天領	43	土佐藩、天領預り支配の掲札建立	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	慶応4	1.18	1868	天領四郡は土佐藩預り支配に入った。
431	5	天領	44	川之江陣屋詰役人、松山へ引揚げ	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	慶応4	1.20	1868	天領四郡は土佐藩預り支配に入った。
431	5	天領	45	松山藩側役、土佐藩軍監に松山追討回避を嘆願	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	慶応4	1.25	1868	
432	5	天領	46	土佐藩、川之江陣屋詰役人を派遣	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	慶応4	1.26	1868	天領四郡は土佐藩預り支配に入った。
432	5	天領	47	桑村郡百姓、庄屋と紛争(桑村騒動)	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	慶応4	2.17	1868	桑村郡を中心に庄屋と農民間の紛争が起こった。
433	5	天領	48	住友、別子銅山稼行継続を出願	「垂裕明鑑 卷之23」	神戸市 住友修史室	慶応4	2	1868	土佐藩支配に入った際に請負稼行継続を出願
435	5	天領	49	土州鎮撫所より御一新につき布告	「預所布告留」	愛媛県立図書館	慶応4	2	1868	
435	5	天領	50	住友、銅山稼行永続を出願し、朝廷へ冥加銅献上	「垂裕明鑑 卷之23」	神戸市 住友修史室	慶応4	3	1868	土佐藩支配に入った際に請負稼行継続を出願 維新期の諸方面への献金
435	5	天領	51	宇摩郡諸村、西洋流銃隊訓練を再開	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	慶応4	4.5	1868	
436	5	天領	52	大坂銅会所設立につき、銅取扱い法を調達	「預所布告留」	愛媛県立図書館	慶応4	4	1868	大坂銅会所設立後、朝廷より請負稼行と買受米の継続が許された。
437	5	天領	53	強盗取締りにつき布告	「預所布告留」	愛媛県立図書館	慶応4	5.7	1868	治安対策
437	5	天領	54	村役人へ諸詰の順達を指令	「預所布告留」	愛媛県立図書館	慶応4	5.26	1868	
437	5	天領	55	總會所開設につき嘆願	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	慶応4	7	1868	總會所の設立
438	5	天領	56	新銀札引替えにつき布告	「預所布告留」	愛媛県立図書館	慶応4	7	1868	新藩札を発行して維新期の貨幣流通を促進させようとした。
439	5	天領	57	学問講義会開始の通達	「預所布告留」	愛媛県立図書館	慶応4	7.17	1868	
439	5	天領	58	天領諸村、川之江陣屋役頭の留任を嘆願	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	慶応4	8	1868	
440	5	天領	59	住友、銅山買受米代銀支払いの繰延べを嘆願	「垂裕明鑑 卷之23」	神戸市 住友修史室	慶応4	8	1868	
440	5	天領	60	無宗門の者調査指令	「預所布告留」	愛媛県立図書館	慶応4	8	1868	
441	5	天領	61	土佐藩領所村々の民兵、訓練実施	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	慶応4	9.4	1868	
441	5	天領	62	民兵隊規則を改正	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	明治元	9.27	1868	
442	5	天領	63	米商人の不法取締りを布告	「預所布告留」	愛媛県立図書館	明治元	10.2	1868	米価の暴騰
442	5	天領	64	諸産物売買方につき布告	「預所布告留」	愛媛県立図書館	明治元	11.7	1868	米価の暴騰
443	5	天領	65	無宗門者の取扱いにつき布告	「預所布告留」	愛媛県立図書館	明治元	11.8	1868	
443	5	天領	66	領内収納米の銅山売渡し延期を出願	「預所官省留」	愛媛県立図書館	明治元	11	1868	米取り引きへの統制を実施 旧天領の凶作のため飯米の買い付けが思うにまかせなかった。
444	5	天領	67	川之江總會所役人任命	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	明治元	11.8	1868	總會所の設立
444	5	天領	68	郡中銀札両替御用掛りの任命	「預所布告留」	愛媛県立図書館	明治元	11	1868	新藩札を発行して維新期の貨幣流通を促進させようとした。
444	5	天領	69	庄屋へ、庄屋役任命年月日届出指令	「預所布告留」	愛媛県立図書館	明治元	12.13	1868	
444	5	天領	70	住友、銅山運上銀上納、炭木採取場所開拓を出願	「垂裕明鑑 卷之24」	神戸市 住友修史室	明治2	1	1869	維新期の諸方面への献金
445	5	天領	71	預所物成米の銅山売渡し価格調達	「預所官省留」	愛媛県立図書館	明治2	2	1869	旧天領の凶作のため飯米の買い付けが思うにまかせなかった。
445	5	天領	72	物成米免定・新田開発・買物米算用等につき伺	「預所官省留」	愛媛県立図書館	明治2	2	1869	
446	5	天領	73	公用出張の旅籠代・飯料につき伺	「預所官省留」	愛媛県立図書館	明治2	2	1869	
447	5	天領	74	預所物成米、別子銅山へ売渡し	「預所官省留」	愛媛県立図書館	明治2	2	1869	旧天領の凶作のため飯米の買い付けが思うにまかせなかった。
447	5	天領	75	窮民救助のため伐木売却を出願	「預所官省留」	愛媛県立図書館	明治2	2	1869	
447	5	天領	76	土佐藩預所辰年分諸入用	「預所官省留」	愛媛県立図書館	明治2	2	1869	
449	5	天領	77	普請時の村役・人足給米など布告	「預所布告留」	愛媛県立図書館	明治2	3	1869	
449	5	天領	78	他所米買入れ・出張人馬賃につき伺	「預所官省留」	愛媛県立図書館	明治2	3	1869	土佐藩川之江陣屋では新政府へ救助資金借用を願った。
450	5	天領	79	住友、西条藩へ御用金を調達	「垂裕明鑑 卷之24」	神戸市 住友修史室	明治2	5	1869	維新期の諸方面への献金
450	5	天領	80	住友、松山藩へ御用金を調達	「垂裕明鑑 卷之24」	神戸市 住友修史室	明治2	6	1869	維新期の諸方面への献金
451	5	天領	81	兵籍免除者の身分につき布告	「預所布告留」	愛媛県立図書館	明治2	8.6	1869	
451	5	天領	82	私売買の米麦、村役場で買上げを布告	「預所布告留」	愛媛県立図書館	明治2	8.6	1869	米取り引きへの統制を実施
451	5	天領	83	書学祭講義式日の布告	「預所布告留」	愛媛県立図書館	明治2	8.13	1869	
451	5	天領	84	米穀津留の布告	「預所布告留」	愛媛県立図書館	明治2	10.29	1869	米取り引きへの統制を実施
452	5	天領	85	租税上納不足につき完納督促	「預所布告留」	愛媛県立図書館	明治2	11	1869	
452	5	天領	86	支配地境界に境木建立の指令	「預所布告留」	愛媛県立図書館	明治2	12.9	1869	
452	5	天領	87	文武奨励規則布告	「預所布告留」	愛媛県立図書館	明治2	12.28	1869	
453	5	天領	88	土佐藩預所災害復旧費見積	「預所布告留」	愛媛県立図書館	明治2	12	1869	明治二年の水害・二〜三年の大凶作により領内四郡で数千の窮民が生じた。
454	5	天領	89	土佐藩預所村々普請所入用米見積	「預所布告留」	愛媛県立図書館	明治2	12	1869	
454	5	天領	90	常備隊・予備隊服制につき布告	「預所布告留」	愛媛県立図書館	明治3	1.28	1870	
454	5	天領	91	行政区画、東組・西組に改編の布告	「預所布告留」	愛媛県立図書館	明治3	3.26	1870	
455	5	天領	92	銅山運上金納入法などにつき伺	「預所官省留」	愛媛県立図書館	明治3	3	1870	飯米代金としての運上金の停滞
456	5	天領	93	住友、松山藩へ御用金を調達	「垂裕明鑑 卷之24」	神戸市 住友修史室	明治3	4	1870	維新期の諸方面への献金
456	5	天領	94	棄兒嚴禁の告諭	「預所布告留」	愛媛県立図書館	明治3	4	1870	棄兒嚴禁の告諭を発して、困窮者の子弟を育院で世話することを令した。
457	5	天領	95	定免検見正相録提出延期出願	「預所官省留」	愛媛県立図書館	明治3	4	1870	貢租減額と救助米下付を実施
457	5	天領	96	銅山売渡し米代金取立法につき伺	「預所官省留」	愛媛県立図書館	明治3	4	1870	飯米代金としての運上金の停滞
458	5	天領	97	津和野山村免率引下げの伺	「預所官省留」	愛媛県立図書館	明治3	4	1870	貢租減額と救助米下付を実施
459	5	天領	98	別子銅山に火薬使用の件	「垂裕明鑑 卷之24」	神戸市 住友修史室	明治3	5	1870	坑内での火薬の使用 産業近代化の一端をも知ることができる。

P	章	節	資料番号	出典	所蔵者	年	月	日	西暦	資料概観
459	5	天領	99	凶作備蓄米代金の年賦返済変更願	「預所布告留」	愛媛県立図書館	明治3	7.29	1870	
459	5	天領	100	凶作救助米緊急支給と事後承認出願	「預所官省伺留」	愛媛県立図書館	明治3	7	1870	貢租減額と救助米下付を実施 飯米代金としての運上金の停滯
461	5	天領	101	凶作につき引米の伺	「預所官省伺留」	愛媛県立図書館	明治3	7	1870	貢租減額と救助米下付を実施
463	5	天領	102	救助米下付につき伺	「預所官省伺留」	愛媛県立図書館	明治3	8.9	1870	貢租減額と救助米下付を実施
463	5	天領	103	土佐藩川之江役頭の留任を嘆願	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	明治3	8.13	1870	
464	5	天領	104	前年度雑税過納につき払戻し願伺	「預所官省伺留」	愛媛県立図書館	明治3	8	1870	貢租減額と救助米下付を実施
465	5	天領	105	川之江役頭の留任を再嘆願	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	明治3	9	1870	
465	5	天領	106	住友、別子銅山資金拝借を出願	「垂裕明鑑 巻之24」	神戸市 住友修史室	明治3	閏10	1870	土佐藩を介して朝廷に経営資金一六万両拝借を願い出た。この拝借金中一〇万両は西洋器械導入資金である。産業近代化の一端をも知ることができる。
466	5	天領	107	住友、松山藩へ御用金を調達	「垂裕明鑑 巻之24」	神戸市 住友修史室	明治3	11	1870	維新期の諸方面への献金
466	5	天領	108	脱籍無産者の戸籍作成要領通達	「預所布告留」	愛媛県立図書館	明治3	12.20	1870	
467	5	天領	109	銅山売渡し米代金決済法につき伺	「預所官省伺留」	愛媛県立図書館	明治3	12	1870	
468	5	天領	110	租税米の別子銅山へ売渡しを出願	「預所官省伺留」	愛媛県立図書館	明治3	12	1870	
468	5	天領	111	陣屋移転新築につき敷地高削減の願	「預所官省伺留」	愛媛県立図書館	明治3	12	1870	
469	5	天領	112	旧天領庄屋ら、倉敷県編入反対を嘆願	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	明治4	1.19	1871	
470	5	天領	113	旧天領の倉敷県編入・地所引渡し布令	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	明治4	1.19	1871	明治四年一月、旧天領が倉敷県管轄となり地所引き渡しが布令された。
471	5	天領	113	参考 旧天領の倉敷県編入遅延始末書	「土佐史談 60号 128頁」		明治4	2	1871	慶応四年以来、土佐藩の仁恤厚い善政を慕う領民は、倉敷県編入引渡事務取り扱いのため川之江に止宿した役人に強く嘆願した結果、編入は延期された。
471	5	天領	114	別子・立川両銅山運上の件	「預所布告留」	愛媛県立図書館	明治4	1	1871	維新期の諸方面への献金
471	5	天領	115	住友、御用金調達につき松山藩より褒美下付	「垂裕明鑑 巻之24」	神戸市 住友修史室	明治4	4	1871	維新期の諸方面への献金
472	5	天領	116	預所村々の洪水被害報告	「預所官省伺留」	愛媛県立図書館	明治4	6	1871	
472	5	天領	117	高知県預り旧天領四郡の丸亀県管轄編入を布告	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	明治4	9.14	1871	明治四年九月、丸亀県管轄の布令が出された。
472	5	天領	117	参考 丸亀県へ、旧天領財務引継書提出	「土佐史談 60号 132頁」		明治4	9	1871	
473	5	天領	118	領内村々里正嫡子に帯刀など許可	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	明治4	9.18	1871	
473	5	天領	119	高知県預り旧天領四郡の土地・人民を丸亀県に編入	「預所布告留」	愛媛県立図書館	明治4	10.4	1871	土地人民が移管された。
474	5	天領	120	農業精勤・博愛取締りの布告	「預所布告留」	愛媛県立図書館	明治4	10.9	1871	
474	5	天領	121	丸亀県川之江出張所、浮浪者の取締りを布令	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	明治4	10.18	1871	
475	5	天領	122	丸亀県川之江官庁、徒党禁止を布令	宇摩郡大庄屋「役用記」	川之江市立図書館	明治4	10.22	1871	
475	5	天領	123	旧天領への下渡し金の年賦返納報告	「預所布告留」	愛媛県立図書館	明治4	11	1871	
475	5	天領	124	旧天領、松山県編入布令	「預所布告留」	愛媛県立図書館	明治4	11.15	1871	丸亀県管轄はわずか一月間で、その後は松山県に編入された。
476	5	天領	125	住友、別子銅山の稼業継続を出願	「垂裕明鑑 巻之24」	神戸市 住友修史室	明治5	6	1872	
476	5	天領	126	幕領記	「愛媛県史料41」	内閣文庫				
479	6	大洲・新谷藩	1 1	大洲より江戸へ鉄砲送付につき、浦賀奉行へ通関出願	「大洲藩記録」第11帙	京都大学文学部	嘉永7	9.3	1854	江戸防備増強のための動き
481	6	大洲・新谷藩	1 2	加藤泰社家族書	「大洲藩記録」第11帙	京都大学文学部	安政元	12.21	1854	
482	6	大洲・新谷藩	1 3	大洲藩家老・奉行等姓名	「大洲藩記録」第11帙	京都大学文学部	安政元	12.21	1854	
482	6	大洲・新谷藩	1 4	大洲藩、家中に儉約令布告	「大洲藩記録」第11帙	京都大学文学部	安政3	4.25	1856	安政三年四月から先七か年間の格外儉約が家中に対して発令された。
483	6	大洲・新谷藩	1 5	大洲藩、郷町へ儉約を指令	「塩屋記録抄」	伊予市教育委員会刊	安政3	6	1856	郷町に対しても儉約を指令した。
484	6	大洲・新谷藩	1 6	大洲藩士武田斐三郎、箱館奉行諸術調所教授役を拝命	「大洲藩記録」第11帙	京都大学文学部	安政3	8.22	1856	
485	6	大洲・新谷藩	1 6	参考 武田成章紀功碑	「竹塘武田先生伝」	伊予史談会	明治14	3	1881	
486	6	大洲・新谷藩	1 7	大洲藩主加藤於菟三郎(泰社)、出羽守と改称	「大洲藩記録」第12帙	京都大学文学部	安政4	12.16	1857	
488	6	大洲・新谷藩	1 8	大洲藩、異国船長浜沖通過につき報告	「大洲藩記録」第13帙	京都大学文学部	安政6	4.8	1859	
488	6	大洲・新谷藩	1 9	大洲藩、異国船警備のため、郡中各村へ壮丁の待機を指令	「塩屋記録抄」	伊予市教育委員会刊	安政6	6.18	1859	郷村に対して壮丁の待機を指令した。
488	6	大洲・新谷藩	1 10	加藤泰社、帰国願を提出	「大洲藩記録」第13帙	京都大学文学部	安政6	11.9	1859	
489	6	大洲・新谷藩	1 11	大洲藩主出府経路と船中・道中泊割	「大洲藩記録」第14帙	京都大学文学部	文久元	4.1	1861	
490	6	大洲・新谷藩	1 12	加藤泰社、和宮降嫁につき勅使饗応役を拝命	「大洲藩記録」第2帙	京都大学文学部	文久元	8.17	1861	
495	6	大洲・新谷藩	1 13	大洲藩、借財の儀につき布告	大洲藩「御触書」	大洲市 岡田重則氏	文久2	7.18	1862	
496	6	大洲・新谷藩	1 14	加藤泰社、勅使馳走贈金五千五百余両上納を拝命	「大洲藩記録」第15帙	京都大学文学部	文久2	11.29	1862	
497	6	大洲・新谷藩	1 15	加藤泰社、京都警備の内勅拝受	「力石本加藤家譜」	「愛媛県編年史」第9所収	文久2	12.27	1862	
497	6	大洲・新谷藩	1 16	大洲藩、長浜に台場新設出願、許可	「大洲藩史料」天	大洲市 加藤家「愛媛県編年史」第9所収	文久3	2.29	1863	長浜に台場を設置
498	6	大洲・新谷藩	1 17	1 新谷藩、領内防御のため農兵徴用	「久保家文書」	喜多郡長浜町 久保純康氏	文久3	3	1863	農兵を徴用した。
498	6	大洲・新谷藩	1 17	2 新谷藩、領内防御のため農兵徴用	「加藤家文書」下	大洲市 加藤家「愛媛県編年史」第9所収	文久3	3	1863	農兵を徴用した。
498	6	大洲・新谷藩	1 18	大洲藩、海岸防御のため郡中郷村へ鉄砲交付	「塩屋記録抄」	伊予市教育委員会刊	文久3	4.3	1863	郷村へ鉄砲を交付した。
499	6	大洲・新谷藩	1 19	1 新谷藩、京都守衛の親兵差出しを出願、許可	「加藤泰令履歴書」	大洲市 加藤家「愛媛県編年史」第9所収	文久3	4.23	1863	大洲・新谷両藩の勤王活動は、新谷藩が文久三年の京都守衛親兵差出しから始まる。
499	6	大洲・新谷藩	1 19	2 新谷藩、京都守衛の親兵差出しを出願、許可	「旧新谷藩御事並時勢二間スル事項」	大洲市 加藤家「愛媛県編年史」第9所収	文久3	4.23	1863	大洲・新谷両藩の勤王活動は、新谷藩が文久三年の京都守衛親兵差出しから始まる。
499	6	大洲・新谷藩	1 20	大洲藩、家中へ軍役強化を布告	大洲藩「御触書」	大洲市 岡田重則氏	文久3	4	1863	藩士に対する軍備強化
500	6	大洲・新谷藩	1 21	仏船、大洲領長浜沖に碇泊	「大洲藩史料」	大洲市 加藤家「愛媛県編年史」第9所収	文久3	6.6	1863	
500	6	大洲・新谷藩	1 22	新谷藩、海岸防備のため、出海・今坊両村に郷組鉄砲隊組織	「久保家文書」	喜多郡長浜町 久保純康氏	文久3	6	1863	郷組の鉄砲隊を組織させた。



P	章	節	資料番号	出典	所蔵者	年	月日	西暦	資料概観
501	6	大洲・新谷藩	1 23 1	加藤泰社(大洲藩主)・加藤泰令(新谷藩主)、領内防御の内勅を受け、参内	「泰社公御履歴調概略」 大洲市 加藤家「愛媛県編年史」第9所収	文久3	8.17	1863	大洲・新谷両藩主が領内防禦の内勅を受けた。
501	6	大洲・新谷藩	1 23 2	加藤泰社(大洲藩主)・加藤泰令(新谷藩主)、領内防御の内勅を受け、参内	「力石本加藤家譜」 「愛媛県編年史」第9所収	文久3	8.17	1863	大洲・新谷両藩主が領内防禦の内勅を受けた。
501	6	大洲・新谷藩	1 24 1	政変に際し、大洲・新谷両藩主参内、御所守衛	「泰社公御滞京日記」 大洲市 加藤家「愛媛県編年史」第9所収	文久3	8.18	1863	文久三年八月両藩主参内・御所の守衛に当たった。
502	6	大洲・新谷藩	1 24 2	政変に際し、大洲・新谷両藩主参内、御所守衛	「旧新谷藩国事並時勢二開スル事蹟」 大洲市 加藤家「愛媛県編年史」第9所収	文久3	8.18	1863	文久三年八月両藩主参内・御所の守衛に当たった。
503	6	大洲・新谷藩	1 25	大洲・新谷両藩主、長州・七卿の扱いにつき朝廷の詰問に答申	「旧新谷藩国事並時勢二開スル事蹟」 大洲市 加藤家「愛媛県編年史」第9所収	文久3	8	1863	
504	6	大洲・新谷藩	1 26	大洲如法寺河原に大砲鑄造所設置	「大洲藩史料」 大洲市 加藤家「愛媛県編年史」第9所収	文久3	9	1863	如法寺河原に大砲鑄造所を設置
504	6	大洲・新谷藩	1 27	大洲藩、異国船渡来時の藩士の配置を傳達	大洲藩「御触書」 大洲市 岡田重則氏	文久4	2	1864	異国船渡来時の藩士の配置
505	6	大洲・新谷藩	1 28	大洲藩、内外情勢緊迫につき土道昌隆を布告	大洲藩「御触書」 大洲市 岡田重則氏	元治元	2.27	1864	土道昌隆を令した。
506	6	大洲・新谷藩	1 29	大洲藩へ長州征伐出兵の沙汰	「加藤家年譜」 大洲市 加藤家「愛媛県編年史」第9所収	元治元	8.17	1864	長州征伐・長州再征関係兵事史料
506	6	大洲・新谷藩	1 30	大洲藩主加藤泰社病状悪化につき、藩士へ心得を布告	大洲藩「御触書」 大洲市 岡田重則氏	元治元	8	1864	元治元年一月加藤泰社が逝去し、弟泰秋が大洲藩主となった。
506	6	大洲・新谷藩	1 31	加藤泰社、急養子願を提出	「大洲藩記録」第15帙 京都大学文学部	元治元	9.19	1864	元治元年一月加藤泰社が逝去し、弟泰秋が大洲藩主となった。
508	6	大洲・新谷藩	1 32	加藤泰社逝去につき、弟康之進(泰秋)家督相続	「大洲藩記録」第15帙 京都大学文学部	元治元	11.26	1864	元治元年一月加藤泰社が逝去し、弟泰秋が大洲藩主となった。
508	6	大洲・新谷藩	1 33	加藤泰秋、家督相続・改名を布達	大洲藩「御触書」 大洲市 岡田重則氏	元治元	12	1864	元治元年一月加藤泰社が逝去し、弟泰秋が大洲藩主となった。
509	6	大洲・新谷藩	1 34	大洲藩、諸事俟約・旅費手当などにつき布達	大洲藩「御触書」 大洲市 岡田重則氏	慶応元	7	1865	財政難を切り抜けるため、借上令と俟約令を主とする藩財政改革令が発せられる。
513	6	大洲・新谷藩	1 35	大洲藩、長州再征につき、藩士心得を布告	大洲藩「御触書」 大洲市 岡田重則氏	慶応元	9	1865	長州征伐・長州再征関係兵事史料
513	6	大洲・新谷藩	1 36	大洲藩、京都御所警備を拝命	「加藤家年譜」 大洲市 加藤家「愛媛県編年史」第9所収	慶応元	10.17	1865	
514	6	大洲・新谷藩	1 37	大洲藩、家計不振の庄屋支配基準を布達	「大洲手鑑」下 伊予史談会「愛媛県編年史」第9所収	慶応元	10	1865	
514	6	大洲・新谷藩	1 38	大洲藩、長州再征につき、人数手配を指示	大洲藩「御触書」 大洲市 岡田重則氏	慶応2	4.14	1866	長州征伐・長州再征関係兵事史料
515	6	大洲・新谷藩	1 39	松山駐在の新谷藩士、長州再征諸藩の動向を報告	「旧新谷藩国事並時勢二開スル事蹟」 大洲市 加藤家「愛媛県編年史」第9所収	慶応2	6	1866	長州征伐・長州再征関係兵事史料
515	6	大洲・新谷藩	1 40	大洲藩、長州藩兵の侵入防備を傳達	「大洲藩史料」天 大洲市 加藤家「愛媛県編年史」第9所収	慶応2	7.17	1866	長州征伐・長州再征関係兵事史料
515	6	大洲・新谷藩	1 41 1	大洲藩兵、摂津兵庫の警衛に出兵	「大洲藩史料」天 大洲市 加藤家「愛媛県編年史」第9所収	慶応2	10.11	1866	
516	6	大洲・新谷藩	1 41 2	大洲藩兵、摂津兵庫の警衛に出兵	「旧藩之節諸所御役出兵之儀御下下書類」 大洲市 加藤家「愛媛県編年史」第9所収	慶応2	10.11	1866	
516	6	大洲・新谷藩	1 42	大洲藩、蒸気船いろは丸購入を届出	「大洲藩史料」天 大洲市 加藤家「愛媛県編年史」第9所収	慶応2	12.16	1866	
517	6	大洲・新谷藩	1 43 1	坂本龍馬に貸出し中のいろは丸、沈没	「玉井家譜」 大洲市 立原宗徳「愛媛県編年史」第9所収	慶応3	4.23	1867	
517	6	大洲・新谷藩	1 43 2	坂本龍馬に貸出し中のいろは丸、沈没	「才谷梅太郎記伊蒸氣船明光丸応接書」 伊予史談会「愛媛県編年史」第9所収	慶応3	4.23	1867	
518	6	大洲・新谷藩	1 44 1	大洲藩、長州藩兵の上京を援助	「力石本加藤家譜」4 「愛媛県編年史」第9所収	慶応3	11.29	1867	勤王活動を続けた。
518	6	大洲・新谷藩	1 44 2	大洲藩、長州藩兵の上京を援助	「大洲藩史料 京都府周方窪田省吾覚書」人 大洲市 加藤家「愛媛県編年史」第9所収	慶応3	11.29	1867	勤王活動を続けた。
518	6	大洲・新谷藩	1 45	大洲藩兵、御所警衛に従事	「大洲藩史料 京都府周方窪田省吾覚書」人 大洲市 加藤家「愛媛県編年史」第9所収	慶応3	12.10	1867	王政復古の大号令発換前後の御所を警衛した。
519	6	大洲・新谷藩	1 46	大洲藩士窪田省吾、伏見で幕府勢を偵察	「大洲藩史料 京都府周方窪田省吾覚書」人 大洲市 加藤家「愛媛県編年史」第9所収	慶応4	1.3	1868	
520	6	大洲・新谷藩	1 47	新谷藩、鳥羽・伏見の戦に出陣	「旧新谷藩国事並時勢二開スル事蹟」 大洲市 加藤家「愛媛県編年史」第9所収	慶応4	1.3	1868	新谷藩は慶応四年一月の鳥羽・伏見の陣に出陣
520	6	大洲・新谷藩	1 48	加藤泰令、京内警衛を拝命	「加藤泰令家記」 東京大学史料編纂所	慶応4	1.9	1868	新谷藩は慶応四年一月の鳥羽・伏見の陣に出陣
521	6	大洲・新谷藩	1 49	加藤泰令、松山藩に恭順を勧告	「旧新谷藩国事並時勢二開スル事蹟」 大洲市 加藤家「愛媛県編年史」第9所収	慶応4	1.10	1868	朝敵松山城下に滞陣
521	6	大洲・新谷藩	1 50 1	松山藩追討の沙汰につき、大洲・新谷両藩、松山城下に滞陣	「旧新谷藩国事並時勢二開スル事蹟」 大洲市 加藤家「愛媛県編年史」第9所収	慶応4	1.26	1868	朝敵松山城下に滞陣
521	6	大洲・新谷藩	1 50 2	松山藩追討の沙汰につき、大洲・新谷両藩、松山城下に滞陣	「加藤家年譜」 大洲市 加藤家「愛媛県編年史」第9所収	慶応4	1.26	1868	朝敵松山城下に滞陣
522	6	大洲・新谷藩	1 50 3	松山藩追討の沙汰につき、大洲・新谷両藩、松山城下に滞陣	「塩屋記録抄」 伊予市教育委員会刊	慶応4	1.26	1868	朝敵松山城下に滞陣
522	6	大洲・新谷藩	1 50 4	松山藩追討の沙汰につき、大洲・新谷両藩、松山城下に滞陣	「復古古記」伏水口戦記4所収 大洲市 加藤家「愛媛県編年史」第9所収	慶応4	1.26	1868	朝敵松山城下に滞陣
522	6	大洲・新谷藩	1 51	加藤泰秋、朝廷より旧幕領取締役を拝命	「加藤泰秋家記」 東京大学史料編纂所	慶応4	2.7	1868	
522	6	大洲・新谷藩	1 52	加藤泰秋、大坂行幸供奉を内願、許可	大洲藩「御触書」 大洲市 岡田重則氏	慶応4	2.12	1868	
524	6	大洲・新谷藩	1 53 1	大洲・新谷両藩、在京兵員数を届出	「加藤泰秋家記」 東京大学史料編纂所	慶応4	3.24	1868	
525	6	大洲・新谷藩	1 53 2	大洲・新谷両藩、在京兵員数を届出	「加藤泰秋家記」 東京大学史料編纂所	慶応4	3.24	1868	
525	6	大洲・新谷藩	1 54 1	新谷藩兵、松山領三津浜に駐兵	「旧新谷藩国事並時勢二開スル事蹟」 大洲市 加藤家「愛媛県編年史」第9所収	慶応4	3	1868	
525	6	大洲・新谷藩	1 54 2	新谷藩兵、松山領三津浜に駐兵	「旧新谷藩国事並時勢二開スル事蹟」 大洲市 加藤家「愛媛県編年史」第9所収	慶応4	3	1868	
526	6	大洲・新谷藩	1 54 3	新谷藩兵、松山領三津浜に駐兵	「塩屋記録抄」 伊予市教育委員会刊	慶応4	3	1868	
526	6	大洲・新谷藩	1 55	行幸供奉の大洲藩兵、軍防局指揮下で訓練	「加藤泰秋家記」 東京大学史料編纂所	慶応4	4.16	1868	
526	6	大洲・新谷藩	1 56	郡中守備のため郷町民を徴用、西洋隊組織	「玉井家文書(保国隊諸控)」 国立史料館「愛媛県編年史」第9所収	慶応4	4.28	1868	郡中守備のため郷町民を徴用、西洋隊を組織した。
527	6	大洲・新谷藩	1 57 1	大洲藩、甲府城警衛の兵員を派遣	「甲府城警衛軍中隊印札及隊出候御申書等」 大洲市 加藤家「愛媛県編年史」第9所収	慶応4	5.14	1868	大洲藩は奥州へ出陣、各地で奮戦した。
528	6	大洲・新谷藩	1 57 2	大洲藩、甲府城警衛の兵員を派遣	「力石本加藤家譜」 大洲市 加藤家「愛媛県編年史」第9所収	慶応4	5.14	1868	大洲藩は奥州へ出陣、各地で奮戦した。
528	6	大洲・新谷藩	1 57 3	大洲藩、甲府城警衛の兵員を派遣	「加藤泰秋家記」 東京大学史料編纂所	慶応4	5.14	1868	大洲藩は奥州へ出陣、各地で奮戦した。
528	6	大洲・新谷藩	1 58	新谷藩、銃隊人数を軍務官へ届出	「加藤泰秋家記」 東京大学史料編纂所	慶応4	5.18	1868	
528	6	大洲・新谷藩	1 59	新谷藩、京都市中警備を拝命	「旧新谷藩国事並時勢二開スル事蹟」 大洲市 加藤家「愛媛県編年史」第9所収	慶応4	5.22	1868	慶応四年五月京都市中警備を拝命した。
529	6	大洲・新谷藩	1 60	大洲新撰隊上京	「大村家文書」 内子町 大村博氏	慶応4	5.29	1868	慶応四年五月大洲藩は、新撰隊を上京させている。大洲藩は奥州へ出陣、各地で奮戦した。
530	6	大洲・新谷藩	1 61	大洲預り旧幕領内年貢残殺・高附帳を届出	「加藤泰秋家記」 東京大学史料編纂所	慶応4	5	1868	
530	6	大洲・新谷藩	1 61	大洲預り旧幕領内年貢残殺・高附帳を届出	「加藤泰秋家記」 東京大学史料編纂所	明治8	4	1875	
531	6	大洲・新谷藩	1 62	新谷藩、軍資金を上納	「加藤泰秋家記」 東京大学史料編纂所	慶応4	6.2	1868	新谷藩は戊辰の役の軍資金を上納
531	6	大洲・新谷藩	1 63	大洲藩、小田原・川浦両関を警固	「大洲藩史料(御届書)」人 大洲市 加藤家「愛媛県編年史」第9所収	慶応4	7.4	1868	大洲藩は奥州へ出陣、各地で奮戦した。
531	6	大洲・新谷藩	1 64	甲府警衛の大洲藩兵、東京へ転進拝命	「大洲藩史料(御届書)」人 大洲市 加藤家「愛媛県編年史」第9所収	慶応4	7.16	1868	大洲藩は奥州へ出陣、各地で奮戦した。
531	6	大洲・新谷藩	1 65	大洲藩兵、奥州出陣、磐城国今泉・駒崎で戦闘	「復古記」鎮府日記2所収 大洲市 加藤家「愛媛県編年史」第9所収	慶応4	8.7	1868	大洲藩は奥州へ出陣、各地で奮戦した。

P	章	節	資料番号	出典	所蔵者	年	月日	西暦	資料概観	
531	6	大洲・新谷藩	1 65 2	大洲藩兵、奥州出陣、磐城国今泉・駒峰で戦闘	「奥州戦争并見聞録」	伊予史談会「愛媛県編年史」第9所収	慶応4	8.7	1868	大洲藩は奥州へ出陣、各地で奮戦した。
532	6	大洲・新谷藩	1 65 3	大洲藩兵、奥州出陣、磐城国今泉・駒峰で戦闘	「大洲藩史料」	大洲市 加藤家「愛媛県編年史」第9所収	慶応4	8.7	1868	大洲藩は奥州へ出陣、各地で奮戦した。
533	6	大洲・新谷藩	1 66	大洲藩船洪福丸、東北遊撃軍用に徴用	「加藤泰秋家記」	東京大学史料編纂所	明治元	9.8	1868	大洲藩は奥州へ出陣、各地で奮戦した。
534	6	大洲・新谷藩	1 67	加藤泰秋、東京行幸の前駆を拝命	「加藤泰秋家記」	東京大学史料編纂所	明治元	9.10	1868	加藤泰秋は、天皇東京行幸の際供奉を拝命した。
535	6	大洲・新谷藩	1 68	大洲藩、奥州出征の死傷者など届出	「加藤泰秋家記」	東京大学史料編纂所	明治元	9.10	1868	大洲藩は奥州へ出陣、各地で奮戦した。
536	6	大洲・新谷藩	1 69	大洲藩、職制改革につき、執政・参政等の選出基準を通過	大洲藩「御触書」	大洲市 岡田重則氏	明治2	2	1869	明治二年の版籍奉還の前後に、大洲藩政の大改革が行われた。職制改革
537	6	大洲・新谷藩	1 70	大洲藩主、東京再行幸の供奉心得を拝受	大洲藩「御触書」	大洲市 岡田重則氏	明治2	2	1869	加藤泰秋は、天皇東京行幸の際供奉を拝命した。
538	6	大洲・新谷藩	1 71	大洲藩、版籍奉還を内願	大洲藩「御触書」	大洲市 岡田重則氏	明治2	3	1869	加藤泰秋は、版籍奉還を内願した。
539	6	大洲・新谷藩	1 72	加藤泰秋・加藤泰令、版籍奉還を上表	「公文録」版籍奉還之部	国立公文書館	明治2	4.22	1869	加藤泰秋は、新谷藩主加藤泰令と共に、版籍奉還を上表した。
537	6	大洲・新谷藩	1 73	大洲藩、軍制改革につき、一五歳以上の子弟入隊などを通過	大洲藩「御触書」	大洲市 岡田重則氏	明治2	5	1869	明治二年の版籍奉還の前後に、大洲藩政の大改革が行われた。軍制改革を実施し、一五歳以上の子弟の入隊を通過した。
537	6	大洲・新谷藩	1 74	加藤泰秋、国是の大綱につき意見上申	大洲藩「御触書」	大洲市 岡田重則氏	明治2	5	1869	
538	6	大洲・新谷藩	1 75	加藤泰秋・加藤泰令、藩知事拝命	「公文録」版籍奉還之部	国立公文書館	明治2	6.19	1869	加藤泰秋・泰令はそれぞれ大洲・新谷両藩知事に任命された。
538	6	大洲・新谷藩	1 76	大洲藩へ戊辰戦争出兵の慰労金下賜	大洲藩「御触書」	大洲市 岡田重則氏	明治2	6	1869	戊辰の役の戦功により慰労金を下賜された。
538	6	大洲・新谷藩	1 77	新谷藩、藩債莫大につき藩札整理難渋	「新谷藩日誌」	愛媛県立図書館	明治2	8.11	1869	
539	6	大洲・新谷藩	1 78	新谷藩給人、俸禄減額を建言	「新谷藩日誌」	愛媛県立図書館	明治2	8.14	1869	給人たちが俸禄減額を建言し、執政参政の出仕規制を告示した。
539	6	大洲・新谷藩	1 79	新谷藩、執政参政出仕規則・評議役員名を告示	「新谷藩日誌」	愛媛県立図書館	明治2	8.14	1869	給人たちが俸禄減額を建言し、執政参政の出仕規制を告示した。
540	6	大洲・新谷藩	1 80	新谷藩、分階職制を改定	「新谷藩日誌」	愛媛県立図書館	明治2	9.9	1869	分階職制を改定した。
541	6	大洲・新谷藩	1 81	大洲藩、分階職制を改定	大洲藩「御触書」	大洲市 岡田重則氏	明治2	9	1869	明治二年の版籍奉還の前後に、大洲藩政の大改革が行われた。分階職制を改定した。
542	6	大洲・新谷藩	1 82	大洲藩、大参事以下の重職を任命	大洲藩「御触書」	大洲市 岡田重則氏	明治2	12	1869	明治二年の版籍奉還の前後に、大洲藩政の大改革が行われた。大参事以下の重職を任命した。
542	6	大洲・新谷藩	1 83	大洲藩、藩士への元立銀借渡し額を布達	大洲藩「御触書」	大洲市 岡田重則氏	明治3	1	1870	
543	6	大洲・新谷藩	1 84	大洲藩知事、領内廻村・高齢者慰労を通過	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治3	4	1870	
545	6	大洲・新谷藩	1 85	新谷藩借銀返済仕法	「新谷藩日誌」	愛媛県立図書館	明治3	5.25	1870	
545	6	大洲・新谷藩	1 86	大洲藩民政局の機構を改正	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治3	6.23	1870	明治二年の版籍奉還の前後に、大洲藩政の大改革が行われた。民政局の機構を改正した。
545	6	大洲・新谷藩	1 87	大洲藩知事の東京移住引止めを嘆願	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治3	6	1870	
546	6	大洲・新谷藩	1 88	新谷藩、諸役員役料高を布達	「新谷藩日誌」	愛媛県立図書館	明治3	7.6	1870	諸役員の役料高を布達した。
547	6	大洲・新谷藩	1 89	惣政局の呼称を大洲藩庁に改称	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治3	7	1870	明治二年の版籍奉還の前後に、大洲藩政の大改革が行われた。惣政局の呼称を大洲藩庁に改称した。
547	6	大洲・新谷藩	1 90	新谷藩知事、藩吏削減と廃藩心得布告	「新谷藩日誌」	愛媛県立図書館	明治3	8.23	1870	藩知事加藤泰令が藩吏の削減と廃藩の心得を布告した。
548	6	大洲・新谷藩	1 91	大洲藩、異国船防衛のため任命の郷簡廃止	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治3	9.20	1870	
548	6	大洲・新谷藩	1 92	加藤泰秋、勤王の功より陸叙	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治3	10	1870	勤王の功により正四位に陸叙された。
548	6	大洲・新谷藩	1 93	新谷藩、藩吏任命・兵員削減を通過	「新谷藩日誌」	愛媛県立図書館	明治3	閏10.7	1870	藩吏任命、兵員削減を通過した。
549	6	大洲・新谷藩	1 94	新谷藩、官禄改正	「新谷藩日誌」	愛媛県立図書館	明治3	11.26	1870	官禄の改正などを断行した。
549	6	大洲・新谷藩	1 95	大洲藩、士卒の座列・座次等布告	大洲藩「御触書」	大洲市 岡田重則氏	明治3	12	1870	明治二年の版籍奉還の前後に、大洲藩政の大改革が行われた。士卒の座列・席次・官禄・役席順序等を布告した。
549	6	大洲・新谷藩	1 96	大洲藩、官禄・役席順序等布告	大洲藩「御触書」	大洲市 岡田重則氏	明治3	12	1870	明治二年の版籍奉還の前後に、大洲藩政の大改革が行われた。士卒の座列・席次・官禄・役席順序等を布告した。
550	6	大洲・新谷藩	1 97	大洲藩、一八歳以上の士卒の子弟へ兵籍編入通過	大洲藩「御触書」	大洲市 岡田重則氏	明治4	1.10	1871	明治二年の版籍奉還の前後に、大洲藩政の大改革が行われた。軍制改革、一八歳以上となる。
551	6	大洲・新谷藩	1 98	新谷藩、藩吏制服につき布告	「新谷藩日誌」	愛媛県立図書館	明治4	1.15	1871	
551	6	大洲・新谷藩	1 99	大洲藩、士卒へ門標掲札・雇人の員数等を指示	大洲藩「御触書」	大洲市 岡田重則氏	明治4	1	1871	
552	6	大洲・新谷藩	1 100	大洲藩、郷中治方掛を任命	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治4	1	1871	
552	6	大洲・新谷藩	1 101	大洲藩、徴兵人選を各村に布達	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治4	2.27	1871	
552	6	大洲・新谷藩	1 102	大洲藩、官位相当表を制定	大洲藩「御触書」	大洲市 岡田重則氏	明治4	2	1871	
553	6	大洲・新谷藩	1 103	大洲藩、神武天皇祭典実施を通過	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治4	4.9	1871	
553	6	大洲・新谷藩	1 104	大洲藩、戸籍調査による逃亡者の取扱い方を布告	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治4	4	1871	
553	6	大洲・新谷藩	1 105	新谷藩、庄屋を里長と改称	「新谷藩日誌」	愛媛県立図書館	明治4	6.4	1871	
553	6	大洲・新谷藩	1 106	大洲藩、士族卒の商売・屋敷の処分などにつき布告	大洲藩「御触書」	大洲市 岡田重則氏	明治4	7	1871	士族・卒族の商売、屋敷の処分などにつき布告を出した。
555	6	大洲・新谷藩	1 107	大洲藩、軍務諸規則制定	大洲藩「御触書」	大洲市 岡田重則氏	明治4	7	1871	
555	6	大洲・新谷藩	1 108	加藤泰秋、廃藩に際し主意を告諭	大洲藩「御触書」	大洲市 岡田重則氏	明治4	7	1871	加藤泰秋が大洲藩知事として、廃藩に向かっての自分の主意を述べ、藩民に告諭した。
556	6	大洲・新谷藩	1 109 1	廃藩置県につき大洲県・新谷県設置	大洲藩「御触書」	大洲市 岡田重則氏	明治4	7.14	1871	廃藩置県が実施され、大洲県・新谷県が設置された。
556	6	大洲・新谷藩	1 109 2	廃藩置県につき大洲県・新谷県設置	「新谷藩日誌」	愛媛県立図書館	明治4	7.14	1871	廃藩置県が実施され、大洲県・新谷県が設置された。
556	6	大洲・新谷藩	1 110	廃藩置県により領内の制札等回収	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治4	7.30	1871	
557	6	大洲・新谷藩	1 111	山本大参事、大洲騒動の責任をとり割腹自殺	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治4	8.15	1871	明治四年七月の大洲騒動
557	6	大洲・新谷藩	1 112	大洲県、官員の届出事項等布達	大洲藩「御触書」	大洲市 岡田重則氏	明治4	8	1871	新県発足に伴って大洲県は、官員の届出事項等を布告した。
558	6	大洲・新谷藩	1 113	新谷県、旧藩の役宅・土地処理につき布告	「新谷藩日誌」	愛媛県立図書館	明治4	9.20	1871	新谷県は、旧藩の役宅・土地の処理について布告した。
558	6	大洲・新谷藩	1 114	新谷県、文武奨励を告諭	「新谷藩日誌」	愛媛県立図書館	明治4	9.29	1871	文武奨励を告諭した。
559	6	大洲・新谷藩	1 115	新谷県、戸籍調査実施を布告	「新谷藩日誌」	愛媛県立図書館	明治4	10.5	1871	戸籍調査実施を布告した。
559	6	大洲・新谷藩	1 116	大洲県、民事掛を任命、伝達掛を廃止	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治4	10	1871	民事掛を任命した。

P	章	節	資料番号	出典	所蔵者	年	月日	西暦	資料概観	
560	6	大洲・新谷藩	1 117 1	松山県・宇和島県設置、旧大洲県分割を伝達	「新谷藩日誌」	愛媛県立図書館	明治4	12.5	1871	旧大洲県の県域は、松山・宇和島の両県に分割されることとなった。
560	6	大洲・新谷藩	1 117 2	松山県・宇和島県設置、旧大洲県分割を伝達	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治4	12.5	1871	旧大洲県の県域は、松山・宇和島の両県に分割されることとなった。
560	6	大洲・新谷藩	1 118	廃藩置県により里長組頭などへ心得布達	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治4	12	1871	
561	6	大洲・新谷藩	1 119	旧新谷藩、県治事務引渡しにつき、士卒へ心得を傳達	「新谷藩日誌」	愛媛県立図書館	明治5	3.21	1872	旧大洲県・旧新谷県の県治事務引き渡しに当たって両県が発した法令
562	6	大洲・新谷藩	1 120	旧大洲県、県治事務引渡しにつき、村政事務取扱方を布達	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治5	3.24	1872	旧大洲県・旧新谷県の県治事務引き渡しに当たって両県が発した法令
562	6	大洲・新谷藩	1 121	大洲藩紀	「愛媛県史料 41」	内閣文庫				大洲県の沿革・藩治・戸口・地方官・兵制・軍役・禄制・租法・学校などを記したもの
569	6	大洲・新谷藩	1 122	新谷藩紀	「愛媛県史料 41」	内閣文庫				新谷県の沿革・藩治・戸口・地方官・兵制・軍役・禄制・租法・学校などを記したもの
572	6	大洲・新谷藩	2 123	大洲領・新谷領内郡別人数	「大洲藩記録」第12帙	京都大学文学部	安政5	8.6	1858	大洲・新谷両領内の郡別人数
573	6	大洲・新谷藩	2 124	大洲藩主、長浜船着場修築を嘆願	「大洲藩記録」第13帙	京都大学文学部	安政6	6.29	1859	
573	6	大洲・新谷藩	2 125	大洲藩、物価高騰につき、郡中の難民者に米安売り	「塩屋記録抄」	伊予市教育委員会刊	万延元	6.1	1860	諸物価が高騰したため、窮民を救済するための諸施策が行われた。
574	6	大洲・新谷藩	2 126	大洲藩、郡中町方の細民を救済	「塩屋記録抄」	伊予市教育委員会刊	万延2	2.16	1861	諸物価が高騰したため、窮民を救済するための諸施策が行われた。
575	6	大洲・新谷藩	2 127	新谷藩土ら火薬製造中、被災	「旧新谷藩国事並時勢二開スル事蹟」	大洲市 加藤家「愛媛県編年史」第9号収	文久元	4.5	1861	
575	6	大洲・新谷藩	2 128	幕府外国方、二宮周三(三瀬諸淵)の大洲藩引取り・身元取調べ依頼	「大洲藩記録」第14帙	京都大学文学部	文久元	8.3	1861	
578	6	大洲・新谷藩	2 129	三瀬諸淵、苗字帯刀の廃により追放	「大洲藩記録」第15帙	京都大学文学部	文久2	12.16	1862	
578	6	大洲・新谷藩	2 130	大洲藩、諸職人の工賃を布達	大洲藩「御触書」	大洲市 岡田重則氏	慶応2	5.23	1866	
579	6	大洲・新谷藩	2 131 1	大洲藩、凶慌のため窮民を救済	「平岡村庄屋文書(御触状写帳)」	大洲市立図書館	慶応2	11	1866	諸物価が高騰したため、窮民を救済するための諸施策が行われた。
580	6	大洲・新谷藩	2 131 2	大洲藩、凶慌のため窮民を救済	「大洲家文書」下	伊予史蹟会「愛媛県編年史」第9号収	慶応2	11	1866	諸物価が高騰したため、窮民を救済するための諸施策が行われた。
581	6	大洲・新谷藩	2 132	新谷藩、物価高騰につき暴乱取締り	「久保家文書(御触状写帳)」	喜多郡長浜町 久保純康氏	慶応3	1.25	1867	諸物価が高騰したため、窮民を救済するための諸施策が行われた。
582	6	大洲・新谷藩	2 133	大洲藩、郡中三町の窮民に米安売り	「塩屋記録抄」	伊予市教育委員会刊	慶応3	2.16	1867	諸物価が高騰したため、窮民を救済するための諸施策が行われた。
583	6	大洲・新谷藩	2 134	郡中淡町に神札・鏡餅が降る	「塩屋記録抄」	伊予市教育委員会刊	慶応4	1.8	1868	慶応四年一月郡中淡町に、昨秋より諸国に発生したと同じような神札・鏡餅が降った。同時にええじゃないか踊りもあった。
583	6	大洲・新谷藩	2 135	大洲藩、天保銭等通用につき通達	大洲藩「御触書」	大洲市 岡田重則氏	慶応4	5.17	1868	
583	6	大洲・新谷藩	2 136	新谷藩、神仏分離を布告	「新谷藩日誌」	愛媛県立図書館	明治2	9.7	1869	
584	6	大洲・新谷藩	2 137	大洲藩、高齢者へ養老扶持下賜を伝達	大洲藩「御触書」	大洲市 岡田重則氏	明治2	9	1869	
584	6	大洲・新谷藩	2 138	大洲藩、時節柄につき、諸事節約布令	大洲藩「御触書」	大洲市 岡田重則氏	明治2	11	1869	
585	6	大洲・新谷藩	2 139	大洲藩、村々へ儉約・魚売取り禁止・油株解放などを布告	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治3	2.14	1870	
586	6	大洲・新谷藩	2 140	大洲藩、蠟・楮などの移出入取締りを布令	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治3	3	1870	藩内の特産とされている蠟・楮・紙の生産・流通が維新を境に変化していった。
586	6	大洲・新谷藩	2 141	大洲藩、三都などへの旅行厳禁布令	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治3	4	1870	
587	6	大洲・新谷藩	2 142	大洲藩、魚類取引につき、心得を布告	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治3	4	1870	
588	6	大洲・新谷藩	2 143	新谷藩、領内人口・家数	「新谷藩日誌」	愛媛県立図書館	明治3	5.30	1870	
588	6	大洲・新谷藩	2 144	大洲藩、燭燻売買値段などを通達	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治3	5	1870	藩内の特産とされている蠟・楮・紙の生産・流通が維新を境に変化していった。
589	6	大洲・新谷藩	2 145	大洲藩、藩札引換えにつき布達	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治3	6	1870	大洲藩が藩札の引き換えとその促進につき布達した。
589	6	大洲・新谷藩	2 146	大洲藩、牛馬売買商の翼加・鑑札料布告	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治3	7	1870	
590	6	大洲・新谷藩	2 147	大洲藩、藩札の引換え促進を指示	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治3	7	1870	大洲藩が藩札の引き換えとその促進につき布達した。
590	6	大洲・新谷藩	2 148	大洲藩、海賊船の召捕りを指令	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治3	8.23	1870	
590	6	大洲・新谷藩	2 149	大洲藩、諸職人札銀上納額改正	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治3	8	1870	
591	6	大洲・新谷藩	2 150	大洲藩、困窮の制を再興	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治3	9.15	1870	
591	6	大洲・新谷藩	2 151	大洲藩、藩札交換を新谷へも通達	「新谷藩日誌」	愛媛県立図書館	明治3	9.16	1870	藩札の処理の関係法令が大洲・新谷両藩で公布された。
592	6	大洲・新谷藩	2 152	大洲藩、燭燻の他所売りを許可	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治3	10	1870	藩内の特産とされている蠟・楮・紙の生産・流通が維新を境に変化していった。
592	6	大洲・新谷藩	2 153	大洲藩、一貫目以上の藩札交換指令	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治3	10	1870	藩札の処理の関係法令が大洲・新谷両藩で公布された。
593	6	大洲・新谷藩	2 154	大洲藩、金銭札を通用させ銀札廃止	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治3	10	1870	金銭札の通用、銀札廃止を布告する。
593	6	大洲・新谷藩	2 155	大洲藩、貨幣偽造取締りを告諭	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治3	10	1870	藩札の処理の関係法令が大洲・新谷両藩で公布された。
593	6	大洲・新谷藩	2 156	大洲藩、楮・紙の生産仕法など指示	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治3	11.14	1870	藩内の特産とされている蠟・楮・紙の生産・流通が維新を境に変化していった。
594	6	大洲・新谷藩	2 157	大洲藩、楮・紙の価格を布告	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治3	11.17	1870	藩内の特産とされている蠟・楮・紙の生産・流通が維新を境に変化していった。
595	6	大洲・新谷藩	2 158	大洲藩、芋・綿・縄・漆等の価格を布告	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治3	11	1870	
595	6	大洲・新谷藩	2 159	大洲藩、五百目以下の藩札交換を通達	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治3	11	1870	藩札の処理の関係法令が大洲・新谷両藩で公布された。
596	6	大洲・新谷藩	2 160	大洲藩、制産社取扱品の利潤率を布告	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治3	11	1870	
596	6	大洲・新谷藩	2 161	新谷藩、帰農帰商の士卒へ手当支給を布告	「新谷藩日誌」	愛媛県立図書館	明治3	12.23	1870	帰農帰商の士族、卒族へ手当支給を布告した。
597	6	大洲・新谷藩	2 162	新谷藩、領内へ種痘を奨励	「新谷藩日誌」	愛媛県立図書館	明治4	1.10	1871	新谷藩は種痘を奨励した。
597	6	大洲・新谷藩	2 163	大洲藩、士卒へ宗門証券提出を指示	大洲藩「御触書」	大洲市 岡田重則氏	明治4	1	1871	
597	6	大洲・新谷藩	2 164	大洲藩産物会社、商売仕法を通達	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治4	1	1871	
598	6	大洲・新谷藩	2 165	新谷藩、銀札・銭札の引換えを布令	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治4	3	1871	藩札の処理の関係法令が大洲・新谷両藩で公布された。
598	6	大洲・新谷藩	2 166	大洲藩、管内の旅人取締りを通達	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治4	3	1871	
599	6	大洲・新谷藩	2 167	大洲藩、種痘の徹底を布達	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治4	3	1871	大洲藩が種痘の徹底を図った。
600	6	大洲・新谷藩	2 168	新谷藩、藩学官員規則・生徒規律を布告	「新谷藩日誌」	愛媛県立図書館	明治4	4.14	1871	新谷藩が布告した藩学官員規則・生徒規律
600	6	大洲・新谷藩	2 169	大洲藩、本屋形船の平民使用を許可	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治4	4.17	1871	
601	6	大洲・新谷藩	2 170	大洲藩、種痘希望者皆無につき再調査	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治4	5.27	1871	種痘希望者皆無につき再調査をしている。

P	章	節	資料番号	出典	所蔵者	年	月	日	西暦	資料概観
601	6	大洲・新谷藩	2 171	大洲藩、城門の自由通行許可	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治4	5	1871	
601	6	大洲・新谷藩	2 172	新谷藩、漢方医へ蘭洋医転向を奨励	「新谷藩日誌」	愛媛県立図書館	明治4	6.22	1871	新谷藩は、漢方医へ蘭洋医転向を奨励した。
602	6	大洲・新谷藩	2 173	大洲藩、藩札交換につき再度布告	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治4	6	1871	藩札の処理の関係法令が大洲・新谷両藩で公布された。
602	6	大洲・新谷藩	2 174	新谷藩、医療館建設、医寮定則制定	「新谷藩日誌」	愛媛県立図書館	明治4	7.2	1871	医療館建設・医寮定則を制定した。
603	6	大洲・新谷藩	2 175	新谷県、医業取締役任命	「新谷藩日誌」	愛媛県立図書館	明治4	7	1871	新谷県は医業取締役を任命した。
603	6	大洲・新谷藩	2 176	大洲藩、平民に乗馬を許可	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治4	7	1871	
603	6	大洲・新谷藩	2 177	大洲藩、士卒へ内職用竹木・郷居住宅用材を払下げ	大洲藩「御触書」	大洲市 岡田重則氏	明治4	7	1871	士卒・卒族へ内職用竹木・郷居住宅用材を払い下げている。
604	6	大洲・新谷藩	2 178	新谷県、西洋医術への流言蜚語を戒め	「新谷藩日誌」	愛媛県立図書館	明治4	8.3	1871	西洋医術への流言蜚語を戒めた。
604	6	大洲・新谷藩	2 179	大洲県、諸産物売買仕法・狩猟許可地など通達	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治4	8	1871	
605	6	大洲・新谷藩	2 180	大洲県、肱川の渡船費を増額	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治4	10	1871	
605	6	大洲・新谷藩	2 181	元大洲県、檜持・紙漉へ産品納入仕法・価格などを指示	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治4	11.23	1871	藩内の産物とされている蠟・楮・紙の生産・流通が維新を境に変化していった。
606	6	大洲・新谷藩	2 182	元大洲県内子紙役所、紙価格を布告	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治4	11.23	1871	藩内の産物とされている蠟・楮・紙の生産・流通が維新を境に変化していった。
607	6	大洲・新谷藩	2 183	元大洲県、蚕種製造者免許につき布告伝達	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治5	3.15	1872	新しく蚕種製造者免許についての布告が出された。
607	6	大洲・新谷藩	2 184	宇和島県、産物移出自由・小物成銀納化など布告	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治5	4.18	1872	
608	6	大洲・新谷藩	2 185	旧新谷県内、各区区長氏名告示	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治5	4	1872	
608	6	大洲・新谷藩	2 186	宇和島県、旧藩専売品の自由売買を許可	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治5	5	1872	
609	6	大洲・新谷藩	2 187	旧大洲・新谷県に区制実施	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治5	5	1872	
610	6	大洲・新谷藩	2 188	太陽暦採用につき、神山県通達	大洲藩「御触書」	大洲市 岡田重則氏	明治5	11.21	1872	
610	6	大洲・新谷藩	3 189 1	地震続発につき大洲・新谷領内被害	「加藤家年譜」	大洲市 加藤家「愛媛県編年史」第9号収	嘉永7	11.3	1854	安政大地震の被害により失費が多く財政難となった。安政年間の震災
611	6	大洲・新谷藩	3 189 2	地震続発につき大洲・新谷領内被害	「塩屋記録抄」	伊予市教育委員会刊	嘉永7	11.3	1854	安政大地震の被害により失費が多く財政難となった。安政年間の震災
611	6	大洲・新谷藩	3 189 3	地震続発につき大洲・新谷領内被害	「大洲藩記録」第11帙	京都大学文学部	嘉永7	11.3	1854	安政大地震の被害により失費が多く財政難となった。安政年間の震災
612	6	大洲・新谷藩	3 190	肱川増水のための大洲城下浸水、田畑被害	「大洲藩記録」第11帙	京都大学文学部	安政3	5.9	1856	安政～文久年間の肱川増水による水害
613	6	大洲・新谷藩	3 191	大洲・新谷両藩、肱川出水時の田畑損毛高を届出	「大洲藩記録」第11帙	京都大学文学部	安政3	12.24	1856	安政～文久年間の肱川増水による水害
614	6	大洲・新谷藩	3 192 1	大洲領内に大地震、大洲城ほか各所破損	「塩屋記録抄」	伊予市教育委員会刊	安政4	8.25	1857	安政大地震の被害により失費が多く財政難となった。安政年間の震災
614	6	大洲・新谷藩	3 192 2	大洲領内に大地震、大洲城ほか各所破損	「加藤家年譜」	大洲市 加藤家「愛媛県編年史」第9号収	安政4	8.25	1857	安政大地震の被害により失費が多く財政難となった。安政年間の震災
614	6	大洲・新谷藩	3 192 3	大洲領内に大地震、大洲城ほか各所破損	「大洲藩記録」第12帙	京都大学文学部	安政4	8.25	1857	安政大地震の被害により失費が多く財政難となった。安政年間の震災
619	6	大洲・新谷藩	3 193	大洲・新谷両藩、出水による田畑損毛・家屋被害など届出	「大洲藩記録」第12帙	京都大学文学部	安政4	12.9	1857	安政～文久年間の肱川増水による水害
620	6	大洲・新谷藩	3 194	大洲城修復のため、村方より人夫差出しを届出	「郡中諸用控」	伊予安談会「愛媛県編年史」第9号収	安政5	6	1858	安政年間の震災
620	6	大洲・新谷藩	3 195	コレラ大流行につき、予防法など布達	「塩屋記録抄」	伊予市教育委員会刊	安政5	8.23	1858	コレラ・瘧疾流行による疫災
622	6	大洲・新谷藩	3 196 1	コレラ流行、牛鬼による厄除など実施	「塩屋記録抄」	伊予市教育委員会刊	安政6	7	1859	コレラ・瘧疾流行による疫災
622	6	大洲・新谷藩	3 196 2	コレラ流行、牛鬼による厄除など実施	「五百木村永代記録」	喜多郡長浜町 満野公介氏「愛媛県編年史」第9号収	安政6	7	1859	コレラ・瘧疾流行による疫災
622	6	大洲・新谷藩	3 197	大洲・新谷両藩、出水被害を届出	「大洲藩記録」第13帙	京都大学文学部	安政6	10.9	1859	安政～文久年間の肱川増水による水害
624	6	大洲・新谷藩	3 198	大洲藩、安政元年～六年までの地震・出水被害を届出	「大洲藩記録」第13帙	京都大学文学部	安政6	10.24	1859	安政大地震の被害により失費が多く財政難となった。安政～文久年間の肱川増水による水害
626	6	大洲・新谷藩	3 199	大洲領内に瘧疾・コレラ流行	「塩屋記録抄」	伊予市教育委員会刊	文久2	3	1862	コレラ・瘧疾流行による疫災
627	6	大洲・新谷藩	3 200	大洲藩、出水被害を届出	「大洲藩記録」第15帙	京都大学文学部	文久2	9.11	1862	安政～文久年間の肱川増水による水害
628	6	大洲・新谷藩	3 201 1	喜多郡内ノ子村などに打ちこわし発生	「加藤家年譜」下	大洲市 加藤家「愛媛県編年史」第9号収	慶応2	7.15	1866	慶応二年七月の内ノ子村の打ちこわし
629	6	大洲・新谷藩	3 201 2	喜多郡内ノ子村などに打ちこわし発生	「平岡村庄屋文書(御触状写帳)」	大洲市立図書館	慶応2	7.15	1866	慶応二年七月の内ノ子村の打ちこわし
629	6	大洲・新谷藩	3 202	臼杵騒動鎮圧のため、喜多郡・浮穴郡へ出兵、首謀者逮捕	「御触状写帳」	喜多郡長浜町 満野公介氏	明治5	2.11	1872	明治五年二月の臼杵騒動関係
631	7	宇和島藩	1 1	異国船発見者に届出を指令	「藍山公記」	伊達文化保存会	弘化元	9.2	1844	異国船渡来に関する指令や対応策など
631	7	宇和島藩	1 2	伊達宗城、八幡河原で蘭法練兵を観閲	「藍山公記」	伊達文化保存会	弘化2	8.24	1845	異国船渡来に関する指令や対応策など 宗城は八幡河原で蘭法練兵を観閲
631	7	宇和島藩	1 3	大砲追加製造・威遠流入門者増員を指令	「藍山公記」	伊達文化保存会	弘化3	7.7	1846	異国船渡来に関する指令や対応策など
634	7	宇和島藩	1 4	藩内の火薬大砲保有状況を調査	「藍山公記」	伊達文化保存会	弘化3	10.7	1846	
635	7	宇和島藩	1 5	伊東瑞漢(高野長英)、蘭書翻訳御用のため宇和島に滞在	「藍山公記」	伊達文化保存会	嘉永元	4.6	1848	嘉永元年宇和島に来た高野長英に兵書を含む蘭書を翻訳させている。
636	7	宇和島藩	1 6	御荘砲台大砲試験のため藩士出張	「藍山公記」	伊達文化保存会	嘉永3	4.3	1850	異国船渡来に関する指令や対応策など
637	7	宇和島藩	1 7	幕命により領内海岸里数・海底等調査	「藍山公記」	伊達文化保存会	嘉永3	9.7	1850	異国船渡来に関する指令や対応策など
637	7	宇和島藩	1 8	御庄砲台、一三貫目玉砲に増強	「藍山公記」	伊達文化保存会	嘉永5	3.30	1852	異国船渡来に関する指令や対応策など
638	7	宇和島藩	1 9	威遠流大砲鑄造見積り	「藍山公記」	伊達文化保存会	嘉永5	4.17	1852	異国船渡来に関する指令や対応策など
638	7	宇和島藩	1 10	海岸絵図作成遅延を報告	「藍山公記」	伊達文化保存会	嘉永5	5.15	1852	異国船渡来に関する指令や対応策など
639	7	宇和島藩	1 11	領内人口を宗門奉行に報告	「藍山公記」	伊達文化保存会	嘉永5	8.19	1852	
639	7	宇和島藩	1 12	宇和島藩、麻田藩の具足借用願拒絶	「藍山公記」	伊達文化保存会	嘉永6	6.9	1853	異国船渡来に関する指令や対応策など
639	7	宇和島藩	1 13	異国船、内海乗入れ時の防御方を手配	「藍山公記」	伊達文化保存会	嘉永6	6.11	1853	異国船渡来に関する指令や対応策など
641	7	宇和島藩	1 14	吉田藩家老、浦賀の様子を通報	「藍山公記」	伊達文化保存会	嘉永6	6.20	1853	異国船渡来に関する指令や対応策など
642	7	宇和島藩	1 15	伊達宗城、海岸守衛策を重臣に下問	「藍山公記」	伊達文化保存会	嘉永6	7.10	1853	異国船渡来に関する指令や対応策など
644	7	宇和島藩	1 16	異国船防衛のためカノン砲など鑄造	「藍山公記」	伊達文化保存会	嘉永6	7.11	1853	異国船渡来に関する指令や対応策など
645	7	宇和島藩	1 17	伊達宗城、外交政策につき建白	「藍山公記」	伊達文化保存会	嘉永6	8.10	1853	異国船渡来に関する指令や対応策など
650	7	宇和島藩	1 18	米露両国船渡来につき百姓町人心得を通達	「藍山公記」	伊達文化保存会	嘉永6	8.29	1853	異国船渡来に関する指令や対応策など
651	7	宇和島藩	1 19	異国風軍船製造許可を出願	「藍山公記」	伊達文化保存会	嘉永6	10.23	1853	異国風軍艦の製造許可を申請した。

P	章	節	資料番号	出典	所蔵者	年	月	日	西暦	資料概観
652	7	宇和島藩	1 20	村田蔵六、宇和島へ寄留	「藍山公記」	伊達文化保存会	嘉永6	10.27	1853	
652	7	宇和島藩	1 21	オランダ人へ軍艦製造依頼につき伺	「藍山公記」	伊達文化保存会	嘉永6	12.2	1853	オランダ人へ軍艦製造を依頼した。
652	7	宇和島藩	1 22	軍役高人数を通過	「藍山公記」	伊達文化保存会	嘉永7	1.13	1854	軍備充実に関するもの
654	7	宇和島藩	1 23	軍中諸法度通過	「須藤頼明氏所蔵文書」	「愛媛県編年史」第9所収	嘉永7	1.15	1854	軍備充実に関するもの
655	7	宇和島藩	1 24	異国船警固軍の陣営を通過	「藍山公記」	伊達文化保存会	嘉永7	1.17	1854	異国船渡来に関する指令や対応策など
655	7	宇和島藩	1 25	宇和島藩士、ペリー再来見聞を記録	「藍山公記」	伊達文化保存会	嘉永7	3.1	1854	異国船渡来に関する指令や対応策など
661	7	宇和島藩	1 26	大砲製造場移転認可	「藍山公記」	伊達文化保存会	嘉永7	7.10	1854	異国船渡来に関する指令や対応策など
661	7	宇和島藩	1 27	伊達宗城、蒸気船の機関完成を視察	「藍山公記」	伊達文化保存会	嘉永7	閏7.19	1854	村田蔵六に八幡浜出身の嘉蔵と協力して軍艦雛型・蒸気船を建造するよう命じた関係史料
661	7	宇和島藩	1 28	軍艦製造・航法伝習のため、村田蔵六・喜蔵(前原巧山)ら長崎へ出張	「藍山公記」	伊達文化保存会	嘉永7	8.17	1854	村田蔵六に八幡浜出身の嘉蔵と協力して軍艦雛型・蒸気船を建造するよう命じた関係史料
662	7	宇和島藩	1 29	二宮長兵衛、榑崎砲台築造工事請負	「藍山公記」	伊達事務所	安政2	2.2	1855	異国船渡来に関する指令や対応策など
662	7	宇和島藩	1 30	村田蔵六への待遇につき伺	「藍山公記」	伊達事務所	安政2	3	1855	村田蔵六に八幡浜出身の嘉蔵と協力して軍艦雛型・蒸気船を建造するよう命じた関係史料
663	7	宇和島藩	1 31	村田蔵六、藩主に御目見	「藍山公記」	伊達文化保存会	安政2	4.14	1855	村田蔵六に八幡浜出身の嘉蔵と協力して軍艦雛型・蒸気船を建造するよう命じた関係史料
663	7	宇和島藩	1 32	村田蔵六ら製作の軍艦雛形試漕	「藍山公記」	伊達文化保存会	安政2	9.1	1855	村田蔵六に八幡浜出身の嘉蔵と協力して軍艦雛型・蒸気船を建造するよう命じた関係史料
664	7	宇和島藩	1 33	威遠流大砲五門鑄造の経費見積り	「藍山公記」	伊達文化保存会	安政2	9.24	1855	異国船渡来に関する指令や対応策など
665	7	宇和島藩	1 34	軍艦雛形完成につき、功労者表彰	「藍山公記」	伊達文化保存会	安政2	10.7	1855	村田蔵六に八幡浜出身の嘉蔵と協力して軍艦雛型・蒸気船を建造するよう命じた関係史料
666	7	宇和島藩	1 35	1 榑崎砲台落成・榑崎砲台碑文	「藍山公記」	伊達文化保存会	安政3	2.7	1856	異国船渡来に関する指令や対応策など
666	7	宇和島藩	1 35	2 榑崎砲台落成・榑崎砲台碑文	「榑崎碑」	宇和島市榑崎	安政3	2.7	1856	異国船渡来に関する指令や対応策など
666	7	宇和島藩	1 36	蒸気船建造費用追加を出願	「藍山公記」	伊達文化保存会	安政3	5.22	1856	村田蔵六に八幡浜出身の嘉蔵と協力して軍艦雛型・蒸気船を建造するよう命じた関係史料
667	7	宇和島藩	1 37	榑崎砲台据付のカノン砲価格見積り	「藍山公記」	伊達文化保存会	安政3	6.22	1856	異国船渡来に関する指令や対応策など
667	7	宇和島藩	1 38	兵器貯蔵庫新築	「藍山公記」	伊達文化保存会	安政3	9.12	1856	軍備充実に関するもの
667	7	宇和島藩	1 39	幕府本丸普請上納金納付	「藍山公記」	伊達文化保存会	安政3	12.18	1856	
668	7	宇和島藩	1 40	村田蔵六の蕃書調所出仕猶予を出願	「藍山公記」	伊達文化保存会	安政4	3.18	1857	村田蔵六は蕃書調所への出仕を命じられた。
668	7	宇和島藩	1 41	諸砲術流派を威遠流に合一	「藍山公記」	伊達文化保存会	安政4	閏5.26	1857	砲術諸流派の威遠流への統合が行われた。
668	7	宇和島藩	1 42	前後両隊、西洋銃陣法に改正	「藍山公記」	伊達文化保存会	安政4	8.21	1857	軍備充実に関するもの 西洋銃陣法の採用
668	7	宇和島藩	1 43	蒸気器械の製造を開始	「藍山公記」	伊達文化保存会	安政5	5.18	1858	軍備充実に関するもの
668	7	宇和島藩	1 44	沖の島の異国船防備を強化	「藍山公記」	伊達文化保存会	安政5	6.22	1858	異国船渡来に関する指令や対応策など
669	7	宇和島藩	1 45	幕府、宇和島藩の舶来品購入許可	「藍山公記」	伊達文化保存会	安政5	7.23	1858	軍備充実に関するもの
669	7	宇和島藩	1 46	銃隊訓練心得布達	「龍山公記」	伊達文化保存会	安政6	6.27	1858	軍備充実に関するもの
671	7	宇和島藩	1 47	村田蔵六、長州藩に出仕	「藍山公記」	伊達文化保存会	万延元	閏3.25	1860	村田蔵六は万延元年には長州に帰った。
675	7	宇和島藩	1 48	伊達宗城、勅命により上洛	「予州日誌」	伊予史談会	文久2	12.18	1862	宗城上京
676	7	宇和島藩	1 49	御柱組へ、異国船防備用武器下賜	「藍山公記」	伊達文化保存会	文久3	6.16	1863	異国船渡来に関する指令や対応策など
677	7	宇和島藩	1 50	伊達宗城、朝議により幕政参与拜命	「御手留日記」	伊達文化保存会	文久3	12	1863	宗城が朝議参与に任命されて雄藩連合の一翼をになうことになった。
677	7	宇和島藩	1 51	足軽四人で新調組を編成	「藍山公記」	伊達文化保存会	元治元	2.17	1864	軍備充実に関するもの 足軽四人による新調組編成
677	7	宇和島藩	1 52	宇和島藩、江戸三ノ砲台警固拜命	「藍山公記」	伊達文化保存会	元治元	6.11	1864	異国船渡来に関する指令や対応策など
678	7	宇和島藩	1 53	1 第一次長州征伐 長州出陣を諸士に指令	「藍山公記」	伊達文化保存会	元治元	7.29	1864	長州征伐関係史料
678	7	宇和島藩	1 53	2 第一次長州征伐 長州出陣を諸士に指令	「桜田親興日記」	伊予史談会	元治元	7.29	1864	長州征伐関係史料
678	7	宇和島藩	1 53	3 第一次長州征伐 宇和島藩、先鋒より二の手に変更	「藍山公記」	伊達文化保存会	元治元	8.20	1864	長州征伐関係史料
678	7	宇和島藩	1 53	4 第一次長州征伐 長州征討出発、領内伊方浦へ着陣	「桜田親興日記」	伊予史談会	元治元	11.10	1864	長州征伐関係史料
679	7	宇和島藩	1 53	5 第一次長州征伐 長州伏罪につき宇和島領内三机浦にて陣払い	「龍山公記」	伊達文化保存会	元治2	1.7	1865	長州征伐関係史料
679	7	宇和島藩	1 53	6 第一次長州征伐 幕府軍目付へ出陣覚書届出	「龍山公記」	伊達文化保存会	元治2	1.10	1865	長州征伐関係史料
680	7	宇和島藩	1 54	1 第二次長州征伐 長州再征進発につき準備指令	「龍山公記」	伊達文化保存会	慶応元	5.3	1865	長州征伐関係史料
680	7	宇和島藩	1 54	2 第二次長州征伐 随行医師数・武器運送・兵糧などにつき指令	「龍山公記」	伊達文化保存会	慶応元	7.7	1865	長州征伐関係史料
683	7	宇和島藩	1 54	3 第二次長州征伐 三机浦當陣の長州再征軍引揚げ	「龍山公記」	伊達文化保存会	慶応2	8.7	1866	長州征伐関係史料
684	7	宇和島藩	1 55	御荘砲台据付の大砲価格見積り	「龍山公記」	伊達文化保存会	慶応元	5.7	1865	異国船渡来に関する指令や対応策など
684	7	宇和島藩	1 56	長州出陣軍資残金返納の件	「龍山公記」	伊達文化保存会	慶応元	5.22	1865	長州征伐関係史料
685	7	宇和島藩	1 57	山内平太ら陸軍歩兵操練修業のため長崎派遣	「龍山公記」	伊達文化保存会	慶応元	7.7	1865	軍備充実に関するもの
685	7	宇和島藩	1 58	長崎で購入の蒸気船天保録、宇和島に到着	「龍山公記」	伊達文化保存会	慶応2	6.11	1866	慶応二年家老松根図書らが長崎で購入した蒸気船天保録は、俄物の輸出や武器の購入のために利用された。
686	7	宇和島藩	1 59	伊達宗城、蒸気船天保録運転を親聞	「龍山公記」	伊達文化保存会	慶応2	6.17	1866	慶応二年家老松根図書らが長崎で購入した蒸気船天保録は、俄物の輸出や武器の購入のために利用された。
687	7	宇和島藩	1 60	英国公使パークス、宇和島に來航	「龍山公記」	伊達文化保存会	慶応2	6.27	1866	宇和島藩と薩摩藩の親交は継続し、薩摩と親しい英公使パークスの来宇もはじめて実現した。
694	7	宇和島藩	1 61	伊達宗城・宗徳らパークスと歓談	「ヤング・ジャン」J・R・ブラック著	平凡社東洋文庫	慶応2	6.28	1866	宇和島藩と薩摩藩の親交は継続し、薩摩と親しい英公使パークスの来宇もはじめて実現した。
695	7	宇和島藩	1 62	大超寺奥火薬製造所を拡張	「龍山公記」	伊達文化保存会	慶応2	11.17	1866	軍備充実に関するもの
696	7	宇和島藩	1 63	英国蒸気船、年始挨拶のため來航	「藍山公記」	伊達文化保存会	慶応2	12.1	1866	アーネスト＝サトウや西郷隆盛も相次いで宇和島を訪問している。
698	7	宇和島藩	1 64	宇和島訪問のアーネスト＝サトウ、藩主らと歓談	「一外交官の見た明治維新」上 アーネスト＝サトウ	岩波文庫	慶応2	12.1	1866	アーネスト＝サトウや西郷隆盛も相次いで宇和島を訪問している。
701	7	宇和島藩	1 65	ライフル銃用火薬等増加を出願	「龍山公記」	伊達文化保存会	慶応3	2.2	1867	軍備充実に関するもの
702	7	宇和島藩	1 66	ライフル銃用火薬等増加を通過	「藍山公記」	伊達文化保存会	慶応3	2.22	1867	軍備充実に関するもの

P	章	節	資料番号	出典	所蔵者	年	月	日	西暦	資料概観
702	7	宇和島藩	1 67	西郷隆盛、蒸気船で宇和島へ来航	「藍山公記」	伊達文化保存会	慶応3	2.23	1867	アーネスト＝サトウや西郷隆盛も相次いで宇和島を訪問している。
703	7	宇和島藩	1 68	異国船渡来時の取扱い方を通達	「藍山公記」	伊達文化保存会	慶応3	2.24	1867	異国船渡来に関する指令や対応策など
704	7	宇和島藩	1 69	武器類改良経費見積り	「藍山公記」	伊達文化保存会	慶応3	3.7	1867	軍備充実に関するもの
705	7	宇和島藩	1 70	ケール銃の試射場設置	「藍山公記」	伊達文化保存会	慶応3	4.2	1867	軍備充実に関するもの
705	7	宇和島藩	1 71	伊達宗城ら、兵庫開港・長州処置につき老中へ建言	「予州日誌」5	伊予史談会	慶応3	5.23	1867	宗城は防長への寛大処置と兵庫開港について島津久光・山内容堂・松平慶永と協同歩調をとった。
706	7	宇和島藩	1 72	ライフル銃火薬原料硝石製造費追加	「龍山公記」	伊達文化保存会	慶応3	10.27	1867	軍備充実に関するもの
706	7	宇和島藩	1 73	伊達宗城、議定を拝命	「藍山公記」	伊達文化保存会	慶応3	12.28	1867	宗城議定に任命された。
706	7	宇和島藩	1 74	伊達宗城、朝廷より軍事参謀拜命	「復古外記」伏水口戦記1 所収	伊達文化保存会	慶応4	1.3	1868	宗城軍事参謀に任命された。
707	7	宇和島藩	1 75	伊達宗徳、在京の宇和島藩兵数報告	「伊達宗徳家記」	東京大学史料編纂所	慶応4	1.6	1868	
707	7	宇和島藩	1 76 1	宇和島藩、松山藩追討を出願・許可	「御手留日記」写	東京大学史料編纂所	慶応4	1.13	1868	宇和島藩は松山藩追討を申請して許可され、伊予郡郡中まで出兵した。
707	7	宇和島藩	1 76 2	宇和島藩、松山藩追討を出願・許可	「伊達宗徳家記」	東京大学史料編纂所	慶応4	1.13	1868	宇和島藩は松山藩追討を申請して許可され、伊予郡郡中まで出兵した。
708	7	宇和島藩	1 77 1	松山藩追討につき出兵準備・出兵	明治元年「大控」	伊達文化保存会	慶応4	1.21	1868	宇和島藩は松山藩追討を申請して許可され、伊予郡郡中まで出兵した。
709	7	宇和島藩	1 77 2	松山藩追討につき出兵準備・出兵	「伊達宗徳家記」	東京大学史料編纂所	慶応4	1.27	1868	宇和島藩は松山藩追討を申請して許可され、伊予郡郡中まで出兵した。
709	7	宇和島藩	1 77 3	松山藩追討につき出兵準備・出兵	明治元年「大控」	伊達文化保存会	慶応4	1.28	1868	宇和島藩は松山藩追討を申請して許可され、伊予郡郡中まで出兵した。
711	7	宇和島藩	1 78 1	松山藩追討のため伊予郡郡中に出陣	「復古外記」伏水口戦記4 所収	伊達文化保存会	慶応4	1.27	1868	宇和島藩は松山藩追討を申請して許可され、伊予郡郡中まで出兵した。
711	7	宇和島藩	1 78 2	松山藩追討のため伊予郡郡中に出陣	「桜田親興日誌」	伊予史談会	慶応4	1.27	1868	宇和島藩は松山藩追討を申請して許可され、伊予郡郡中まで出兵した。
711	7	宇和島藩	1 78 3	松山藩追討のため伊予郡郡中に出陣	「塩屋記録抄」	伊予市教育委員会刊	慶応4	1.27	1868	宇和島藩は松山藩追討を申請して許可され、伊予郡郡中まで出兵した。
712	7	宇和島藩	1 79	郡中に滞陣の藩兵、宇和島へ引揚げ	「伊達宗徳家記」	東京大学史料編纂所	慶応4	2.6	1868	宇和島藩は松山藩追討を申請して許可され、伊予郡郡中まで出兵した。
712	7	宇和島藩	1 80	仙台藩帰順説得を伊達宗城へ下命	「伊達家御重書公文書甲28」	伊達文化保存会	慶応4	6.29	1868	宇和島藩の宗家である仙台藩も佐幕派として奥羽越列藩同盟に参加したため、宗城へ説得方が命じられた。
712	7	宇和島藩	1 81	伊達宗城父子、宗家征討に伴い進退伺、不問の沙汰拜命			慶応4	8.4	1868	宇和島藩の宗家である仙台藩も佐幕派として奥羽越列藩同盟に参加したため、宗城へ説得方が命じられた。
714	7	宇和島藩	1 82 1 1	箱館出兵 箱館出兵拜命、兵員・軍船など準備	「宇和島藩願伺届」	愛媛県立図書館	慶応4	9.7	1868	箱館出兵に関する資料
714	7	宇和島藩	1 82 1 2	箱館出兵 箱館出兵拜命、兵員・軍船など準備	「藍山公記」	伊達文化保存会	慶応4	9.7	1868	箱館出兵に関する資料
715	7	宇和島藩	1 82 2	箱館出兵 箱館出兵軍資金借用を出願	「宇和島藩願伺届」	愛媛県立図書館	慶応4	9.23	1868	箱館出兵に関する資料
715	7	宇和島藩	1 82 3	箱館出兵 出兵遅延事情を軍務官へ開申	「宇和島藩願伺届」	愛媛県立図書館	明治元	11.27	1868	箱館出兵に関する資料
717	7	宇和島藩	1 82 4	箱館出兵 箱館出兵の陣容通達	「藍山公記」	伊達文化保存会	慶応4	12.8	1868	箱館出兵に関する資料
719	7	宇和島藩	1 82 5	箱館出兵 箱館出兵遅延につき進退伺を提出	「宇和島藩願伺届」	愛媛県立図書館	明治元	12.12	1868	箱館出兵に関する資料
719	7	宇和島藩	1 82 6	箱館出兵 出兵不始末のため、桜田出雲謹儀届	「宇和島藩願伺届」	愛媛県立図書館	明治2	2.13	1869	箱館出兵に関する資料
720	7	宇和島藩	1 82 7	箱館出兵 箱館出兵遅延事情を刑法官へ届出	「宇和島藩願伺届」	愛媛県立図書館	明治2	2.29	1869	箱館出兵に関する資料
721	7	宇和島藩	1 82 8 1	箱館出兵 箱館出兵遅延につき関係者処分	「宇和島藩願伺届」	愛媛県立図書館	明治2	3.5	1869	箱館出兵に関する資料
722	7	宇和島藩	1 82 8 2	箱館出兵 箱館出兵遅延につき関係者処分	「藍山公記」	伊達文化保存会	明治2	3.5	1869	箱館出兵に関する資料
722	7	宇和島藩	1 82 8 3	箱館出兵 箱館出兵遅延につき関係者処分	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治2	3.5	1869	箱館出兵に関する資料
724	7	宇和島藩	1 82 9	箱館出兵 伊達宗城、宗徳、謹慎解除	「藍山公記」	伊達文化保存会	明治2	3.27	1869	箱館出兵に関する資料
725	7	宇和島藩	1 83	伊達宗城、東京行幸供奉拜命、随行者など人選	「藍山公記」	伊達文化保存会	明治元	8.28	1868	
726	7	宇和島藩	1 84	行幸随行者難渋を申し出、手当増額	「藍山公記」	伊達文化保存会	明治元	9.9	1868	
726	7	宇和島藩	1 85	東京行幸供奉随行者数を届出	「藍山公記」	伊達文化保存会	明治元	9.18	1868	
727	7	宇和島藩	1 86	伊達宗城、議定兼外国官知事拜命	「宇和島藩願伺届」	愛媛県立図書館	明治元	10.20	1868	宗城議定兼外国官知事拜命
727	7	宇和島藩	1 87	伊達宗城、帰藩のため東京出発	「宇和島藩願伺届」	愛媛県立図書館	明治元	11.13	1868	
727	7	宇和島藩	1 88 1	東京鉄砲洲外人居住地警備強化指令につき藩兵上京	「宇和島藩願伺届」	愛媛県立図書館	明治元	12.9	1868	
728	7	宇和島藩	1 88 2	東京鉄砲洲外人居住地警備強化指令につき藩兵上京	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治2	1.5	1869	
728	7	宇和島藩	1 89	家中渡り村夫の基準改正	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治2	1.12	1869	
729	7	宇和島藩	1 90	築地外人居留地警備の継続を拜命	「宇和島藩願伺届」	愛媛県立図書館	明治2	2.13	1869	
729	7	宇和島藩	1 91	財政難につき面扶持通達と版籍奉還白草稿公開	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治2	2.20	1869	
731	7	宇和島藩	1 92	明治元年藩財政出納明細	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治2	2.25	1869	
732	7	宇和島藩	1 93	藩主内証逼迫につき使用人削減	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治2	4.7	1869	
733	7	宇和島藩	1 94	大西登、政府議事拜命	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治2	4.20	1869	
733	7	宇和島藩	1 95	藩主伊達宗徳、版籍奉還を上表	「公文録 版籍奉還之部」	国立公文書館	明治2	4.25	1869	藩政改革に関するもの 版籍奉還
733	7	宇和島藩	1 96	民部官へ租税録概要を提出	「宇和島藩願伺届」	愛媛県立図書館	明治2	4.27	1869	
734	7	宇和島藩	1 97	蒸気船借入等諸入用	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治2	5.2	1869	
734	7	宇和島藩	1 98	藩治職制改革につき役席・役名等改定	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治2	5.2	1869	藩政改革に関するもの 藩治職制改革
737	7	宇和島藩	1 99	藩治職制改革を届出	「宇和島藩願伺届」	愛媛県立図書館	明治2	5.13	1869	
738	7	宇和島藩	1 100	伊達宗城、議定職免官	「宇和島藩願伺届」	愛媛県立図書館	明治2	5.16	1869	宗城議定職免官
739	7	宇和島藩	1 101	行政官より版籍取調べ報告を指令	「宇和島藩願伺届」	愛媛県立図書館	明治2	5.19	1869	
739	7	宇和島藩	1 102	東京の旧藩邸など下賜の件・伊達宗城外国官知事辞職願ほか伝達	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治2	5.22	1869	
740	7	宇和島藩	1 103	版籍取調べ、郷村高辻帳・租税録・人数高帳を提出	「宇和島藩願伺届」	愛媛県立図書館	明治2	5.25	1869	
746	7	宇和島藩	1 104	伊達宗徳に知藩事就任下問	「宇和島藩願伺届」	愛媛県立図書館	明治2	5.28	1869	

P	章	節	資料番号	出典	所蔵者	年	月	日	西暦	資料概観
747	7	宇和島藩	1 105	御金方・御蔵方・紙会所など統合	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治2	5.29	1869	藩政改革に関するもの 諸役所の統廃合
747	7	宇和島藩	1 106	伊達宗徳、宇和島藩知事拜命	「宇和島藩願伺届」	愛媛県立図書館	明治2	6.18	1869	
747	7	宇和島藩	1 107	面扶持実施基準伺	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治2	7.2	1869	
750	7	宇和島藩	1 108	面扶持実施中止、給人切扶を支給	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治2	8.17	1869	
750	7	宇和島藩	1 109	藩庁幹部官吏任命および職掌	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治2	8.24	1869	
752	7	宇和島藩	1 110	伊達宗城、民部卿兼大蔵卿拜命	「宇和島藩願伺届」	愛媛県立図書館	明治2	9.14	1869	宗城民部卿兼大蔵卿拜命
752	7	宇和島藩	1 111	藩政と藩主家政の区別につき布達	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治2	9.16	1869	
752	7	宇和島藩	1 112	藩庁幹部職員任命につき届出	「宇和島藩願伺届」	愛媛県立図書館	明治2	10.2	1869	
753	7	宇和島藩	1 113	吉田藩知事若年につき内政関与伺出	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治2	10.9	1869	
753	7	宇和島藩	1 114	大参事・少参事等の役禄を規定	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治2	10.12	1869	
753	7	宇和島藩	1 115	伊達宗城へ千五百石終身下賜	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治2	10.19	1869	宗城終身禄一五〇〇石下賜
754	7	宇和島藩	1 116	士卒の給禄・等級改定	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治2	12.23	1869	藩政改革に関するもの 士卒の給禄等級改定
757	7	宇和島藩	1 117	軍艦・蒸気商船など所有なきことを弁官へ届出	「宇和島藩願伺届」	愛媛県立図書館	明治3	2.2	1870	
757	7	宇和島藩	1 118	松根図書・桜田出雲の蟄居免除嘆願	「宇和島藩願伺届」	愛媛県立図書館	明治3	2.7	1870	蟄居を命じられた松根図書・桜田出雲の免罪嘆願
757	7	宇和島藩	1 119	兵隊の断髪自由を通告	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治3	3.8	1870	
758	7	宇和島藩	1 120	伊達宗紀・宗城・宗徳履歴明細届	「宇和島藩願伺届」	愛媛県立図書館	明治3	3.12	1870	
759	7	宇和島藩	1 121	石高・人口・常備兵員・砲数など届出	「宇和島藩願伺届」	愛媛県立図書館	明治3	4.27	1870	
760	7	宇和島藩	1 122	民政局より庄屋無役地調査を指令	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治3	5.3	1870	
761	7	宇和島藩	1 123	国内巡覧中のドイツ艦、宇和島寄港	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治3	5.6	1870	
762	7	宇和島藩	1 124	伊達宗城、大蔵卿免官	「宇和島藩願伺届」	愛媛県立図書館	明治3	7.10	1870	
763	7	宇和島藩	1 125	一家一人兵役定法廃止の通告	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治3	7.24	1870	
763	7	宇和島藩	1 126	士族・卒族兵役心得通告	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治3	8.10	1870	
763	7	宇和島藩	1 127	藩治職制改正布達	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治3	9.3	1870	
765	7	宇和島藩	1 128	大参事上甲貞一、病氣につき辞職願	「宇和島藩願伺届」	愛媛県立図書館	明治3	9.13	1870	
766	7	宇和島藩	1 129	松根図書・桜田出雲の免罪措置届出	「宇和島藩願伺届」	愛媛県立図書館	明治3	9.13	1870	蟄居を命じられた松根図書・桜田出雲の免罪嘆願
766	7	宇和島藩	1 130	藩治職制再改正につき諸則改定	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治3	11.7	1870	
768	7	宇和島藩	1 131	藩庁幹部職員人事を弁官へ届出	「宇和島藩願伺届」	愛媛県立図書館	明治3	11.11	1870	
769	7	宇和島藩	1 132	宇和島城外郭建築物取壊し出願等	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治3	11.14	1870	
769	7	宇和島藩	1 133	藩吏出張時の供連れ人数・道中手当など規定	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治3	11.14	1870	
771	7	宇和島藩	1 134	士族へ諸事心得の通告	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治3	11.24	1870	
772	7	宇和島藩	1 135	非役無勤者俸禄削減など布令	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治3	12.8	1870	
775	7	宇和島藩	1 136	常備兵・予備兵解隊の通告	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治3	12.15	1870	
775	7	宇和島藩	1 137	官俸給高の通告	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治3	12.18	1870	
776	7	宇和島藩	1 138	庄屋の郷中支配・役料改正布令	「宇和島藩改革留」	愛媛県立図書館	明治3	12.18	1870	
778	7	宇和島藩	1 139	英国士官来藩款待につき謝辞	「宇和島藩願伺届」	愛媛県立図書館	明治3	12.25	1870	
778	7	宇和島藩	1 140	藩治職制改正を届出	「宇和島藩願伺届」	愛媛県立図書館	明治4	2.15	1871	
780	7	宇和島藩	1 141	大浦・山田組・山奥組等の区画再編通告	「宇和島藩改革留」	愛媛県立図書館	明治4	3	1871	
780	7	宇和島藩	1 142	伊達宗城、欽差全権大臣拜命	「宇和島藩願伺届」	愛媛県立図書館	明治4	4.27	1871	宗城欽差全権大臣を拜命して通商条約交渉
780	7	宇和島藩	1 143	藩内諸村合併を届出	「宇和島藩願伺届」	愛媛県立図書館	明治4	4.30	1871	
782	7	宇和島藩	1 144	出張民事掛職掌綱領および心得	「宇和島藩改革留」	愛媛県立図書館	明治4	4	1871	
782	7	宇和島藩	1 145 1	郷中・市中諸制度改正、庄屋・町年寄など廃止を届出 郷中改制	「宇和島藩改革留」	愛媛県立図書館	明治4	6.16	1871	
783	7	宇和島藩	1 145 2	郷中・市中諸制度改正、庄屋・町年寄など廃止を届出 市中改正	「宇和島藩改革留」	愛媛県立図書館	明治4	6.16	1871	
783	7	宇和島藩	1 146	鹿藩置県につき伊達宗徳藩知事免官・上京指令	「宇和島藩願伺届」	愛媛県立図書館	明治4	7.14	1871	
784	7	宇和島藩	1 147	区制実施につき正副戸長任命	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治4	8.28	1871	
786	7	宇和島藩	1 148	伊達宗徳家族、宇和島残留を出願	「宇和島藩願伺届」	愛媛県立図書館	明治4	9.27	1871	
787	7	宇和島藩	1 149 1	差配役廃止・勸農掛設置・庄屋役再置など郷中諸改革留 郷中改革留	「宇和島藩改革留」	愛媛県立図書館	明治4	10.28	1871	藩政改革に関するもの 郷中改革
789	7	宇和島藩	1 149 2 1	差配役廃止・勸農掛設置・庄屋役再置など郷中諸改革留 勸農掛	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治4	10.28	1871	藩政改革に関するもの 郷中改革
789	7	宇和島藩	1 149 2 2	差配役廃止・勸農掛設置・庄屋役再置など郷中諸改革留 勸農掛	「宇和島藩改革留」	愛媛県立図書館	明治4	10.28	1871	藩政改革に関するもの 郷中改革
789	7	宇和島藩	1 149 3	差配役廃止・勸農掛設置・庄屋役再置など郷中諸改革留 庄屋役再置	「宇和島藩改革留」	愛媛県立図書館	明治4	10.28	1871	藩政改革に関するもの 郷中改革
790	7	宇和島藩	1 149 4	差配役廃止・勸農掛設置・庄屋役再置など郷中諸改革留 順席	「宇和島藩改革留」	愛媛県立図書館	明治4	10.28	1871	藩政改革に関するもの 郷中改革
792	7	宇和島藩	1 149 5	差配役廃止・勸農掛設置・庄屋役再置など郷中諸改革留 諸事取り調べ通告	「宇和島藩改革留」	愛媛県立図書館	明治4	10.28	1871	藩政改革に関するもの 郷中改革
792	7	宇和島藩	1 150	宇和島県参事に平岡四郎任命伝達	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治4	11.28	1871	
792	7	宇和島藩	1 151	旧宇和島県第一区～四〇区の職分人数と正副戸長名	「明治五年職分総詳自一区至四十一区 旧宇和島県」	愛媛県立図書館	明治5	2	1872	
802	7	宇和島藩	1 152	宇和島藩紀	「愛媛県史料41」	内閣文庫				
815	7	宇和島藩	2 153	幕府、宇和島藩の銀札通用期限延長許可	「諸用留」	大日本維新史料第1編/4所収	弘化4	3.27	1847	
815	7	宇和島藩	2 154	大野昌三郎、上方へ蘭学修業	「藍山公記」	伊達文化保存会	嘉永2	8.20	1849	大野昌三郎は嘉永元年、高野長英に学び、同二年上方へ蘭学修業に出発した。
816	7	宇和島藩	2 155	伊達宗城、谷快堂の蘭方医修業称美	「藍山公記」	伊達文化保存会	嘉永3	8.9	1850	谷快堂は宗城から蘭方医修業を称美された。

P	章	節	資料番号	出典	所蔵者	年	月	日	西暦	資料概観
816	7	宇和島藩	2 156	大野昌三郎、英語・仏語修業出願	「藍山公記」	伊達文化保存会	嘉永5	8.5	1852	大野昌三郎は英語・仏語の修業を出願した。
817	7	宇和島藩	2 157	藩医谷伏堂ら、種痘医増員を出願	「藍山公記」	伊達文化保存会	嘉永7	3.22	1854	
817	7	宇和島藩	2 158	宇和島藩内開発につき、福岡藩へ石炭掘夫派遣を依頼、承諾	「藍山公記」	伊達文化保存会	嘉永7	5.15	1854	
818	7	宇和島藩	2 159	大野昌三郎、中浜万次郎の下で修業	「藍山公記」	伊達文化保存会	安政2	5.9	1855	大野昌三郎は村田蔵六に師事したのち、安政二年には中浜万次郎にも入門した。
818	7	宇和島藩	2 160	町医清森出願の種痘施術許可	「藍山公記」	伊達文化保存会	安政2	5.27	1855	町医師清森は種痘施術を許可されている。
818	7	宇和島藩	2 161	種痘医に米三俵下賜、種痘所移転	「藍山公記」	伊達文化保存会	安政2	6.7	1855	
818	7	宇和島藩	2 162	病氣治療用としてエレキテルを購入	「藍山公記」	伊達文化保存会	安政3	4.27	1856	
820	7	宇和島藩	2 163	大野昌三郎、軍事洋書翻訳方に就任	「藍山公記」	伊達文化保存会	安政4	3.22	1857	大野昌三郎軍事洋書翻訳方に就任した。
820	7	宇和島藩	2 164	伊達宗城、アメリカ風写真鏡に感心	「藍山公記」	伊達文化保存会	安政4	8.21	1857	
820	7	宇和島藩	2 165	外国奉行、三瀬周三の藩邸引取り依頼	「藍山公記」	伊達文化保存会	文久元	7.29	1861	三瀬周三はシーボルトの通訳を勤めて幕吏に逮捕された。
821	7	宇和島藩	2 166	二宮敬作、長崎で客死	「二宮宮作墓誌銘」長崎市 皓台寺	愛媛県編年史所収	文久2	3.12	1862	
822	7	宇和島藩	2 167	大野昌三郎、楠本伊篤を伴い帰国	「藍山公記」	伊達文化保存会	元治元	7.11	1864	
822	7	宇和島藩	2 168	岡村松鶴の長崎留学蘭医修業許可	「龍山公記」	伊達文化保存会	元治元	12.15	1864	
822	7	宇和島藩	2 169	諸職人日役・貢銭米額を通達	「龍山公記」	伊達文化保存会	慶応元	5.22	1865	
825	7	宇和島藩	2 170	長崎物産方設置につき、船宿設定	「龍山公記」	伊達文化保存会	慶応3	6.7	1867	宇和島藩家老松根図書は長崎貿易に着眼し、蒸気船天保録を購入し、慶応三年には長崎物産方役所を設立した。
825	7	宇和島藩	2 171	長崎へ注文莫大につき、物産方役所会計逼迫	「龍山公記」	伊達文化保存会	慶応3	8.12	1867	輸入の超過が著しく財政当局が悲鳴をあげている。
826	7	宇和島藩	2 172	宇和島・大坂間蒸気飛脚船就航	「龍山公記」	伊達文化保存会	慶応3	9	1867	
826	7	宇和島藩	2 173	宇和島藩内へも浦上切支丹流通通達	明治元年「大控」	伊達文化保存会	慶応4	5.8	1868	
827	7	宇和島藩	2 174	紙役所改革、紙密売罰則強化	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治2	1.12	1869	
828	7	宇和島藩	2 175	藩士渡辺(日置)兵市、英国留学渡航届	「宇和島藩願伺届」	愛媛県立図書館	明治2	3.10	1869	
828	7	宇和島藩	2 176	物産騰貴につき諸運上増徴	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治2	3.17	1869	
829	7	宇和島藩	2 177	船給貸支出明細および廻船運上増徴	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治2	5.2	1869	
830	7	宇和島藩	2 178	山林産物諸運上増徴	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治2	5.7	1869	
830	7	宇和島藩	2 179	蠟燭運上・他所売運上増徴規定	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治2	5.12	1869	
831	7	宇和島藩	2 180	和室祭祀の手踊り俄踊り禁止の通達	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治2	6.7	1869	
831	7	宇和島藩	2 181	戸籍取調べにつき脱籍者調査の通達	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治2	6.17	1869	
832	7	宇和島藩	2 182	諸門番所廃止後の通行につき指令	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治2	7.2	1869	
832	7	宇和島藩	2 183	諸運上の札別規定復活	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治2	7.7	1869	
833	7	宇和島藩	2 184	宇和島藩御用の飛脚賃金	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治2	7.12	1869	
834	7	宇和島藩	2 185	八幡浜郷学校設置許可	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治2	7.22	1869	
835	7	宇和島藩	2 186	文武教場規則制定、教学振起布告	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治2	10.12	1869	明治に入ると教学振興が叫ばれ、明治二年には文武教場規則が制定された。
835	7	宇和島藩	2 187	旅人修行者取扱規則布令	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治2	12.4	1869	
836	7	宇和島藩	2 188	銀札発行高を大蔵省へ届出	「宇和島藩願伺届」	愛媛県立図書館	明治3	2.19	1870	
836	7	宇和島藩	2 189	学校教員職名改称	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治3	2.29	1870	
836	7	宇和島藩	2 190	維新前の銀札製造高を届出	「宇和島藩願伺届」	愛媛県立図書館	明治3	3.29	1870	
837	7	宇和島藩	2 191	窮民救助のため藩札支給	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治3	4.22	1870	
838	7	宇和島藩	2 192	戸籍編成につき管内石高・人員届出	「宇和島藩願伺届」	愛媛県立図書館	明治3	6.18	1870	
839	7	宇和島藩	2 193	復習寮を童学寮と改称	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治3	7.20	1870	
839	7	宇和島藩	2 194	藩内牛馬商、莫加上納	「宇和島藩願伺届」	愛媛県立図書館	明治3	7.27	1870	
839	7	宇和島藩	2 195	駅法改正につき継場里丁数届出	「宇和島藩願伺届」	愛媛県立図書館	明治3	7.30	1870	
841	7	宇和島藩	2 196	藩庁、文武場休業日規定を通達	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治3	8.10	1870	
841	7	宇和島藩	2 197	在郷有志の藩学入校資格を通達	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治3	8.10	1870	明治三年には在郷有志の藩学入校資格が通達された。
841	7	宇和島藩	2 198	博勞心得改定の布達	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治3	10.5	1870	
842	7	宇和島藩	2 199	廻船出入港の概要調査報告	「宇和島藩願伺届」	愛媛県立図書館	明治3	10.28	1870	
844	7	宇和島藩	2 200	皇学寮・医学寮開設の通達	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治3	11.17	1870	
845	7	宇和島藩	2 201	士族帰農開墾規則・休日・文武奨励心得など布達	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治3	12.24	1870	
846	7	宇和島藩	2 202	平民苗字許可・土分郷士格式取扱等廃止布告を伝達	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治3	12.24	1870	
846	7	宇和島藩	2 203	藩内往還規則および継場宿場等届出	「宇和島藩願伺届」	愛媛県立図書館	明治3	12.25	1870	
849	7	宇和島藩	2 204	学校開校の布達	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治4	1.8	1871	学校開校にこぎつける。
849	7	宇和島藩	2 205	英国留學生渡辺兵市帰藩届出	「宇和島藩願伺届」	愛媛県立図書館	明治4	1.18	1871	
849	7	宇和島藩	2 206	家格廃止の通達	「宇和島藩改革留」	愛媛県立図書館	明治4	1.24	1871	
850	7	宇和島藩	2 207	厄介人等の解放・新律綱領適用・帰農士族給米改革等通達	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治4	1.27	1871	
852	7	宇和島藩	2 208	平民の服装細則につき弁官へ伺出	「宇和島藩願伺届」	愛媛県立図書館	明治4	1.27	1871	
852	7	宇和島藩	2 209	各種藩札を大蔵省へ届出	「宇和島藩願伺届」	愛媛県立図書館	明治4	2.19	1871	
853	7	宇和島藩	2 210	郷中医の合力米・帯刀廃止通達	「宇和島藩改革留」	愛媛県立図書館	明治4	2	1871	
853	7	宇和島藩	2 211	村政機構改革、庄屋無役地廃止通達	「宇和島藩改革留」	愛媛県立図書館	明治4	3.10	1871	庶民統制關係資料 村政機構改革・庄屋無役地廃止通達



P	章	節	資料番号	出典	所蔵者	年	月	日	西暦	資料概観
853	7	宇和島藩	2 212	庄屋無役地廃止緩和通達	「宇和島藩改革留」	愛媛県立図書館	明治4	3.13	1871	庶民統制関係資料 庄屋無役地廃止緩和通達
854	7	宇和島藩	2 213	浮浪の徒取締りを通達	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治4	3.15	1871	
854	7	宇和島藩	2 214	平民の学校入学条件通達、八幡浜・宇和両校廃止	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治4	4.25	1871	平民の学校入学条件が周知徹底され、これまで郷学校として運営されてきた八幡浜・宇和両校は廃止された。
855	7	宇和島藩	2 215	高知藩と篠山神社修営につき協定	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治4	6.7	1871	
855	7	宇和島藩	2 216	正副戸長給米規定の通達	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治4	11.29	1871	
855	7	宇和島藩	2 217	土地台帳調整につき勅農掛取計らい心得	「宇和島藩改革留」	愛媛県立図書館	明治4	11	1871	
857	7	宇和島藩	2 218	庄屋役復活・村浦分合の届出	「宇和島藩改革留」	愛媛県立図書館	明治4	11	1871	
858	7	宇和島藩	3 219	宇和郡横林村に瘡毒流行	「藍山公記」	伊達文化保存会	弘化元	7.17	1844	瘡毒・疱瘡に関するもの
858	7	宇和島藩	3 220	宇和郡高串村近村に瘡毒流行	「藍山公記」	伊達文化保存会	嘉永2	3.16	1849	瘡毒・疱瘡に関するもの
858	7	宇和島藩	3 221	瘡毒流行につき種痘施行を通達	「藍山公記」	伊達文化保存会	嘉永5	2.7	1852	瘡毒・疱瘡に関するもの
859	7	宇和島藩	3 222	暴風雨被害状況を報告	「藍山公記」	伊達文化保存会	嘉永5	8.22	1852	
861	7	宇和島藩	3 223	安政の大地震	「藍山公記」	伊達文化保存会	嘉永7	11.5	1854	安政元年から翌二年及び安政四年の大地震の史料
864	7	宇和島藩	3 224	安政の大地震被害状況	「藍山公記」	伊達文化保存会	安政2	3.12	1855	安政元年から翌二年及び安政四年の大地震の史料
865	7	宇和島藩	3 225	安政四年時洪水被害状況を報告	「藍山公記」	伊達文化保存会	安政5	7.28	1858	安政元年から翌二年及び安政四年の大地震の史料
866	7	宇和島藩	3 226	コレラ流行につき防疫法など示達	「藍山公記」	伊達文化保存会	安政5	8.11	1858	安政五年のコレラ流行 わずか一日で死者一六四〇人余りを出したとある。
868	7	宇和島藩	3 227	宇和島領戸島のコレラ流行と防疫	「藍山公記」	伊達文化保存会	安政5	9.11	1858	安政五年のコレラ流行
871	7	宇和島藩	3 228	山奥組凶作につき銀札上納延期出願	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治2	1.12	1869	
871	7	宇和島藩	3 229	平城村・長月村などで草場紛争	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治2	8.12	1869	
872	7	宇和島藩	3 230	凶作につき藩札貸与・大銀納繰延べ	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治3	2.19	1870	
872	7	宇和島藩	3 231 1	野村(奥野郷)騒動 奥野郷農民騒擾につき藩知事出張	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治3	3.27	1870	野村騒動に関するもの
873	7	宇和島藩	3 231 2	野村(奥野郷)騒動 騒擾農民解散、出張の兵隊帰陣	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治3	4.3	1870	野村騒動に関するもの
873	7	宇和島藩	3 231 3	野村(奥野郷)騒動 奥野郷農民騒動一件、民部省へ届出	「宇和島藩願伺届」	愛媛県立図書館	明治3	4.18	1870	野村騒動に関するもの
874	7	宇和島藩	3 231 4	野村(奥野郷)騒動 徒党強訴禁止の説諭	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治3	4.29	1870	野村騒動に関するもの
874	7	宇和島藩	3 231 5	野村(奥野郷)騒動 奥野郷農民騒動一件、弁官へ届出	「宇和島藩願伺届」	愛媛県立図書館	明治3	12.25	1870	野村騒動に関するもの
875	7	宇和島藩	3 232	宇和郡青石郷などにて農民騒擾	「宇和島藩日記」	愛媛県立図書館	明治3	5.2	1870	青石郷で起こった松柏騒動に関するもので、桜田亀六の出動によって解決した。
877	8	吉田藩	1	伊達宗孝、外交政策につき幕府へ答申	「邊蠻堂議」	東京大学史料編纂所	嘉永6	8.10	1853	鎖国策は守りたいが時勢も変わった。ひとまずアメリカ要求の何か条かを許し、後から開国を要求した国々についても、嚴重に法度を守らせて交易を許してはどうか、そのために海岸の武備を充実させることが肝要である。まず温順平和の処置こそ望ましいと上申した。
878	8	吉田藩	2	ペリー来航につき深川などの警固出願	「邊蠻堂議」	東京大学史料編纂所				参勤中の諸大名は江戸湾警固を幕府に願出し、吉田藩主ら江戸城柳の間に詰める小外外様大名は深川壱岸寺と、高輪東禅寺の二か所に出張した。
878	8	吉田藩	3	海岸防衛のため出陣	「奥山諸事日記」	吉田町 芝正一氏	嘉永6	10.19	1853	吉田藩国元の防衛については藩兵を赤・黒の二組に分けて、宇和郡立間村備場に陣出させることになっていた。
878	8	吉田藩	4	大地震被害復旧のため手当など通達	「奥山諸事日記」	吉田町 芝正一氏	嘉永7	11.5	1854	嘉永七年一月に二度、大地震に見舞われ、その被害調査や家屋の取り除き作業、被災民救助の小屋掛けなどが行われた。
879	8	吉田藩	5	大地震被災民を救済	「法華津屋三形回問家文書」	吉田町 朝岡康之助氏	嘉永7	11.12	1854	嘉永七年一月に二度、大地震に見舞われ、その被害調査や家屋の取り除き作業、被災民救助の小屋掛けなどが行われた。
879	8	吉田藩	6	家中席次(安政三年時)	「浦上家文書」	吉田町立図書館	安政3		1856	安政三年に家中席次の発表があり、家老飯淵庄左衛門、熊崎主水・松下求馬以下が任命されていた。
882	8	吉田藩	7	旱魃につき領内にて雨乞い祈禱	「奥山諸事日記」	吉田町 芝正一氏	安政4	6.23	1857	安政四年夏の大旱魃に際しては、恒例によって八幡宮で雨乞い祈禱・千人踊りが行われた。
882	8	吉田藩	8	悪病流行につき空砲打など実施	「奥山諸事日記」	吉田町 芝正一氏	安政6	8.15	1859	安政六年八月の悪病流行に際しては、組中申し合わせて八幡宮へ祈禱に参詣し、宝性院でも祈禱、御先手六組では空砲を打つことなどが許されている。
883	8	吉田藩	9	旗本組・黒組の大頭、更迭	「奥山諸事日記」	吉田町 芝正一氏	文久2	7.19	1862	
883	8	吉田藩	10	幕末の民情	岩城嶋居「雑記」其8	吉田町 岩城昭一氏	文久3		1863	
883	8	吉田藩	11	宇和島藩翼下で長州出兵準備	「奥山諸事日記」	吉田町 芝正一氏	元治元	8.1	1864	幕府の第一回長州征伐における宇和島・吉田両藩の動静を示したもの
884	8	吉田藩	12	長州征伐出陣の水主数および諸入用	「諸軍役諸銀出入帳」	吉田町立図書館	元治2	1.11	1865	幕府の第一回長州征伐における宇和島・吉田両藩の動静を示したもの
885	8	吉田藩	13	家中席次改正(慶応元年時)	「浦上家文書」	吉田町立図書館	慶応元		1865	慶応元年に家中席次の改正があった。九年前の安政三年の席次とは大分変わっており、家老三人が六人となっている。さきの用人の萩野と郷六・船頭の尾田の三人が家老に抜擢されている人事も異例で、藩主宗孝の隠居が近いための配慮であろうと思われる。
888	8	吉田藩	14	飯淵貞幹、家老就任	「奥山諸事日記」	吉田町 芝正一氏	慶応2	11.5	1866	慶応元年に家中席次の改正があった。九年前の安政三年の席次とは大分変わっており、家老三人が六人となっている。さきの用人の萩野と郷六・船頭の尾田の三人が家老に抜擢されている人事も異例で、藩主宗孝の隠居が近いための配慮であろうと思われる。
888	8	吉田藩	15	箱館出兵を拝命・同出兵	「藍山公記」	伊達文化保存会	明治元	9.12	1868	吉田藩は宇和島藩と行を共にし箱館出兵を命じられた。
888	8	吉田藩	16 1	伊達宗敬、版籍奉還・藩知事拝命	「公文録 版籍奉還之部」	国立公文書館	明治2	5.19	1869	宗敬は吉田藩の版籍を奉還し、吉田藩知事に任じられた。
890	8	吉田藩	16 2	伊達宗敬、版籍奉還・藩知事拝命	「吉田藩日記」	愛媛県立図書館	明治2	5.19	1869	宗敬は吉田藩の版籍を奉還し、吉田藩知事に任じられた。
890	8	吉田藩	17	吉田藩民政知事・軍務知事など任命	「吉田藩日記」	愛媛県立図書館	明治2	6.5	1869	新生吉田藩は家老以下の職制を廃し、正副の大参事を置き、知事の補佐とし、明治二年六月五日に民政知事、軍務知事、会計文武知事を任命した。

P	章	節	資料番号	出典	所蔵者	年	月	日	西暦	資料概観
890	8	吉田藩	18	藩治職制改正	「吉田藩監察所日記」「吉田藩日記」	愛媛県立図書館	明治2	6.15	1869	藩治職制を定めた。
894	8	吉田藩	19	衆議所会議定則・会議式	「吉田藩監察所日記」	愛媛県立図書館	明治2	6.15	1869	一連の藩行政制度の改革で注目されるのは、衆議所会議定則と会議式の制定である。
896	8	吉田藩	20	藩士の衣服など諸心得につき布告	「吉田藩日記」	愛媛県立図書館	明治2	6.17	1869	
896	8	吉田藩	21	版籍奉還につき藩重役進退伺	「吉田藩日記」	愛媛県立図書館	明治2	7.21	1869	時流の変化に伴い藩重役から進退伺が出た。
898	8	吉田藩	22	藩職員人材の推挙につき通達	「吉田藩日記」	愛媛県立図書館	明治2	7.23	1869	旧職員中から人材推挙
898	8	吉田藩	23	藩治職制改正、大参事など任命	「吉田藩日記」	愛媛県立図書館	明治2	9.5	1869	
899	8	吉田藩	24	市郷民政局設置・市政懸任命	「吉田藩日記」	愛媛県立図書館	明治2	9.9	1869	
899	8	吉田藩	25	藩職員へ政務建言勉勵を通達	「吉田藩日記」	愛媛県立図書館	明治2	9.13	1869	政務建言勉勵方の通達が出された。
899	8	吉田藩	26	大参事代・権大参事代など公選任命	「吉田藩日記」	愛媛県立図書館	明治2	9.19	1869	大参事、権大参事代の公選任命が行われた。
900	8	吉田藩	27	飯淵縫殿、金陵会議より帰着	「吉田藩日記」	愛媛県立図書館	明治2	10.19	1869	一藩よりもっと多く四国一三藩が相寄って会議を開き、四国の将来について意見を一つにまとめておこうとする金陵会議が、土佐藩の首唱で讃岐琴平で明治二年四月に開かれた。
900	8	吉田藩	28	給禄改革を通達	「吉田藩日記」	愛媛県立図書館	明治2	11.29	1869	
901	8	吉田藩	29	文武館移転の布告	「吉田藩日記」	愛媛県立図書館	明治2	11.30	1869	
901	8	吉田藩	30	藩庁への出仕日などにつき布告	「吉田藩日記」	愛媛県立図書館	明治2	12.7	1869	
902	8	吉田藩	31	藩知事より藩士心得を布令	「吉田藩日記」	愛媛県立図書館	明治2	12.10	1869	
903	8	吉田藩	32	集議所議員公選の布告	「吉田藩日記」	愛媛県立図書館	明治3	2.5	1870	
903	8	吉田藩	33 1	三間騒動 宇和島領野村、騒動激化し、吉田領山奥・川筋郷民屯集開始	「吉田藩日記」	愛媛県立図書館	明治3	3.26	1870	明治三年三月に発生した三間騒動
905	8	吉田藩	33 2	三間騒動 藩庁、騒動鎮撫に苦慮、騒動農民、小倉村・出目村庄屋へ乱暴	「吉田藩日記」	愛媛県立図書館	明治3	4.1	1870	明治三年三月に発生した三間騒動
907	8	吉田藩	33 3	三間騒動 曾根村へ仮民政局設置、藩兵により鎮静化	「吉田藩日記」	愛媛県立図書館	明治3	4.3	1870	明治三年三月に発生した三間騒動
909	8	吉田藩	33 4	三間騒動 騒動農民、権大参事郷六恵左衛門との交渉を要求	「吉田藩日記」	愛媛県立図書館	明治3	4.6	1870	明治三年三月に発生した三間騒動
910	8	吉田藩	33 5	三間騒動 宮野下村三島宮神前にて農民出訴事項に回答	「吉田藩日記」	愛媛県立図書館	明治3	4.11	1870	明治三年三月に発生した三間騒動
916	8	吉田藩	33 6	三間騒動 首謀者逮捕のため、領内に騒動再発	「吉田藩日記」	愛媛県立図書館	明治3	4.20	1870	明治三年三月に発生した三間騒動
918	8	吉田藩	34	職制改革実施、職務内容を規定	「吉田藩日記」	愛媛県立図書館	明治3	4.28	1870	
919	8	吉田藩	35	給禄改正、支給明細の布告	「吉田藩日記」	愛媛県立図書館	明治3	8.2	1870	
921	8	吉田藩	36	藩政改革、改正諸規則など布令	「吉田藩日記」	愛媛県立図書館	明治3	11.12	1870	
923	8	吉田藩	37	修行留学費支給復活の通達	「吉田藩日記」	愛媛県立図書館	明治3	11.18	1870	
923	8	吉田藩	38	禄制改革実施、官禄規則制定	「吉田藩日記」	愛媛県立図書館	明治3	11.30	1870	
925	8	吉田藩	39	社寺御供料など改定布告	「吉田藩日記」	愛媛県立図書館	明治3	12.12	1870	
926	8	吉田藩	40	戸籍法実施・区編成・戸長任命	「吉田藩日記」	愛媛県立図書館	明治4	6.28	1871	戸籍法が実施され区編成、戸長任命等が行われた。
930	8	吉田藩	41	廃藩置県の直書など藩士に伝達	「吉田藩日記」	愛媛県立図書館	明治4	7.27	1871	廃藩置県が断行されたため、士族総出仕の上、伊達宗敬は藩知事免職となる旨、直達があり、また吉田藩士族卒族共に吉田県貴属となることが、月番大参事より伝達された。
930	8	吉田藩	42	吉田県、職制改正を布告	「吉田藩日記」	愛媛県立図書館	明治4	8.3	1871	吉田県の職制改正が布告された。
932	8	吉田藩	43	大洲騒動発生、吉田県内波及を警戒	「吉田藩日記」	愛媛県立図書館	明治4	8.11	1871	
932	8	吉田藩	44	諸改革実施につき領民心得を告諭	「吉田藩日記」	愛媛県立図書館	明治4	8.13	1871	領民へは諸改革実施の中でも動揺しないよう告諭を發した。
933	8	吉田藩	45	民事懸・文武懸の名称変更通達	「吉田藩日記」	愛媛県立図書館	明治4	11.12	1871	
933	8	吉田藩	46	地方役人職掌改革・呼称変更	「吉田藩日記」	愛媛県立図書館	明治4	12.11	1871	地方役人の職掌改革をも実施した。
934	8	吉田藩	47	三間騒動のため所替えの庄屋、掃村許可	「吉田藩日記」	愛媛県立図書館	明治5	2.8	1872	
934	8	吉田藩	48	元吉田県政務引継役人到着	「吉田藩日記」	愛媛県立図書館	明治5	2.30	1872	吉田県は宇和島県に併合され、宇和島県権令間島冬道へ事務を引き継ぐことになった。
934	8	吉田藩	49	吉田藩紀	「愛媛県史料41」	内閣文庫				